平成２５年度事業報告（総括）

平成２５年度は第３次中期経営計画の最終年度として、法人全体の収支均衡を達成するとともに、自立化後の持続可能な安定した経営を目指す第４次中期経営計画の策定に取り組みました。

第３次中期経営計画では、譲渡施設の指定管理料を除いた法人の収支差額が均衡することを目標に事業の取り組みを進めてきました。この約３年間の中で、各施設では、自らの事業を広報・ＰＲし新しい利用者獲得に努めること、利用者満足を高めるサービス・事業を展開すること等を通して、利用者増や稼働率のアップ、利用時間数の増に繋げてまいりました。また、法人として、組織強化と永続的な法人経営を行うために、法人本部の立ち上げ等の組織の改編や、給与制度の見直しと人事考課制度の導入、新規職員採用等を行ってまいりました。

それらの結果として、自立化を控えた本年度に、
譲渡施設の指定管理料を除いた収支差額、約７，０００万円を達成することができました。

２５年度の取り組みとしましては、自立化後の法人経営を見据え、法人本部機能の強化と各施設の自立経営を視野に、本部及び事業部の組織改編と会計事務の施設への委譲を行い、法人の組織強化を図ってまいりました。また、職員間の意識及び情報の共有を図るために、各施設等で事業推進会議を実施しました。これらの新しい体制が法人の経営に十分に機能するべく、今後は更に各施設と法人本部の連携を図るとともに、更なる情報と意識の共有を進め、法人の組織強化に取り組んでまいりたいと考えております。

また、第４次中期経営計画の策定では、これまで指定管理施設の仕様に基づく運営が中心であったため、積極的に捉えてこなかった運営理念や基本方針を、譲渡施設を中心に、新たに利用者の自立支援を目的としたものに定め、その取り組み等を計画に反映させました。さらに、法人経営を持続可能な安定したものとするために、今後５年間の経営目標を事業所ごとの数値目標として定めたところです。

２６年度は、新生事業団の初年度として、第４次中期経営計画で目標に掲げた『持続可能な安定した経営の確立』を目指し、計画を着実に実施するとともに、経営目標の達成に向けて、職員一丸となって努力してまいる所存です。

※２５年度の法人経営状況

	経常収入	経常支出	経常収支差額
法人合計	1,986,255,282	1,769,414,355	216,840,927

※譲渡６施設の 指定管理料を除いた収支	1,839,323,026	1,769,414,355	69,908,671

法　人　本　部

Ⅰ　法人としての取り組み

平成２５年度は第３次中期経営計画の最終年度として、譲渡施設の指定管理料を除いた法人全体の収支均衡を達成するとともに、職員一人ひとりが高い意識を持ち、自立化後の持続可能な安定した経営を目指す第４次中期経営計画の策定を行いました。

また、施設へ会計事務を移譲し自立した施設経営を目指すとともに、自立化を見据えた組織改編として、法人本部（総務部）と事業部（高齢者事業部及び障がい福祉部）に再編し、法人本部機能の強化と事業部の一体的な経営を図りました。

１．２５年度の取り組み

（１）　総務経理課

①　人材の適正配置と有効活用について

・各施設の配置基準と現行の職員数等を聴き取りにより把握し、資格取得状況と照らし合わせ適正な職員配置に努めました。

②　人事考課制度の実施について

・前年度試行した人事考課制度を本格導入し、役職に応じた目標管理等考課を実施しました。

・考課者研修を実施し、考課者による評価に個人差が出ないよう標準化を図りましたが、考課者・被考課者ともに制度運用の理解度が不足している施設が見られました。

③　新規職員採用について

・職員年齢構成の是正のため新規職員採用試験を実施し、７名の職員を採用しました。

④　施設会計支援について

・会計事務の手引きを作成し担当者への会計研修を実施するとともに、自立経営ができるよう個別訪問等により会計処理支援を行いました。

⑤　職員研修について

・理事長自ら各施設に出向き『これからの法人経営について』出前講座を実施するとともに、定期的な考課者研修や会計研修、職員の安全衛生に係るメンタルヘルス等の研修、及びホームページ活用等に係るウェッブ研修を実施しました。

⑥　有期契約職員への人事考課制度の試行について

・人材の育成と確保のため、契約職員に対する人事考課制度導入に向け考課方法・賃金体系の検討を行いました。

（２）　経営企画課

①　第３次中期経営計画の目標達成と第４次中期経営計画の策定について

・『自立化への準備期間』として譲渡施設の指定管理料を除いた収支差額の均衡を目指して取り組んできた第３次中期経営計画は、最終年度でその経営目標を達成することができました。

・第４次中期経営計画は計画策定に係る進捗管理が不十分であったため、策定時期が大きくずれましたが、施設長を中心にやり取りを行い、『持続可能な安定した経営』に向けた計画を策定することができました。

②　事業推進会議の実施について

・経営状況や施設が抱える課題解決へ向けた取組みの共有を図るため、各施設へ出向き２回の事業推進会議を開催しました。

③　営業広報について

・各部、各施設での営業広報活動が中心となり、十分な統括機能が果たせませんでした。

④　指定管理申請について

・希望荘及び、老人福祉センター、介護予防３施設の指定管理申請を行い、希望荘及び老人福祉センターの指定管理を引き続き受託することができましたが、介護予防３施設については選考から漏れる結果となりました。

⑤　自立化に対応した予算編成の策定について

・譲渡施設に新しく発生する建物等の減価償却費を含め収支均衡が図られるよう、第４次中期経営計画に基づき平成２６年度予算編成を行いました。

２．２５年度目標に対する成果

（１）適切な会計管理

一部これまでの慣習による不適切な会計処理が見られたため、全職員に通知しこれまでの会計処理に対する実態調査を行いました。その結果に基づき不適切事例があった職員に対し指導を行い注意を促すとともに、適切な会計処理に対する意識の徹底を図りました。

（２）第３次中期経営計画の目標達成による法人及び施設会計の収支改善

譲渡施設及び指定管理施設等のサービス強化と営業広報の努力が稼働率及び利用時間数の増につながり、自立化の目標としてきた法人の収支均衡を図ることができました。

Ⅱ　運営管理

（１）理事会

開　催　回　数	期　　日	審　　議　　事　　項
第１回理事会	平成 25. 5.28	１．平成 24 年度事業報告及び決算報告について ２．平成 25 年度収入支出補正予算について ３．報告事項 （監査結果報告及び平成 24 年度中期経営計画の目標達成状況について）
第２回理事会	平成 26.1.23	１．第 2 回収入支出補正予算について
第３回理事会	平成 26. 3.25	１．役員の選任同意について ２．平成 25 年度第 3 回収入支出補正予算について ３．第 4 次中期経営計画について ４．平成 26 年度事業計画及び当初予算について ５．定款の一部変更について ６．諸規程の改正等について ７．役員の改選及び新任施設長等の同意について ８．入札及び契約について

（２）評議員会

開　催　回　数	期　　日	審　　議　　事　　項
第１回評議員会	平成 25. 5.28	１．平成 24 年度事業報告及び決算報告について ２．平成 25 年度収入支出補正予算について ３．報告事項 （監査結果報告及び平成 24 年度中期経営計画の目標達成状況について）
第２回評議員会	平成 26.3.25	１．役員の選任同意について ２．平成 25 年度第 3 回収入支出補正予算について ３．第 4 次中期経営計画について ４．平成 26 年度事業計画及び当初予算について ５．定款の一部変更について ６．諸規程の改正等について ７．役員の改選及び新任施設長等の同意について ８．入札及び契約について

（３）監事の監査

期　　日	会　　場	実　施　者	監　　査　　事　　項
平成 25. 5.23	法人本部	重岡監事 大熊監事	１．平成２４年度　会計収支決算 ２・平成２４年度　事業実施状況

（4）指導監査等

区　　分	期　　日	会　　場	実　施　者	監　査　事　項
熊本市 実地指導	平成 25.10. 4	ケアホーム すまいる	市健康福祉子ども局 障がい保健福祉課	1.事業実施状況 2.運営管理状況 3.予算、経理状況 4.利用者の処遇状況
熊本市 指導監査	平成 25.12.20	法人本部	市健康福祉子ども局 指導監査課	1.法人関係
熊本県 書面監査	平成 26.2.25	明生園	県健康福祉部 社会福祉課	1.事業実施状況 2.運営管理状況 3.予算、経理状況 4.入所者の処遇状況
熊本県 書面監査	平成 26.2.28	雁回敬老園	県健康福祉部 社会福祉課	1.事業実施状況 2.運営管理状況 3.予算、経理状況 4.入所者の処遇状況
熊本県 書面監査	平成 26.3.11	明飽苑	県健康福祉部 社会福祉課	1.事業実施状況 2.運営管理状況 3.予算、経理状況 4.入所者の処遇状況

（5）内部経理監査

期　　日	会　　場	実　施　者	監　査　事　項
平成 25.10.7 ～　25.10.23	各　施　設	内部経理監査 担当者	1．各会計予算執行状況・経理状況
平成 26.2.19 ～　26.2.28	各　施　設	内部経理監査 担当者	1．各会計予算執行状況・経理状況

Ⅲ　職員研修

内部研修実施状況

期　　日	研　　修　　名	参加者数
平成 25. 4.1	平成 25 年度新規有期契約職員研修	27 名
平成 25. 5 月～8 月	事業団外施設、事業所体験研修	27 名
平成 25. 6.6，6.20，7.11	平成 25 年度第 1 回人事考課者研修	75 名
平成 25.6.13	事務実務者研修	23 名
平成 24.7.17，8.10，8.29	第 2 回考課者研修	73 名
平成 25. 8. 19	接遇研修	82 名

平成 25.8.22	がん対策研修会	30 名
平成 25.8.26～27	経営経理研修	28 名
平成 25.10.15, 31, 11.12	事務職員研修会	32 名
平成 25.10.16	第 2 回人事考課者研修	73 名
平成 25.11.11	WEB 活用セミナー	15 名
平成 24.11.17	メンタルヘルス管理監督者教育研修	30 名
平成 26.1.27	安全運転研修	11 名
平成 25.2.20	第 4 回考課者研修	73 名

外部研修実施状況

期　　日	研　　修　　名
平成 25.5.9	平成 25 年度社会福祉法人労務研修会
平成 25.7.2～4	平成 25 年度社会福祉法人経営者研修会（経営管理コース）
平成 25. 7.19	平成 25 年度全国社会福祉事業団九州ブロック会議及び研修会
平成 25.8.5	平成 25 年度職場におけるメンタルヘルス対策セミナー
平成 25.8.27～29	平成 25 年度 社会福祉法人経営者研修会（人事管理コース）
平成 25.9.4	平成 25 年度年金委員・健康保険委員実務研修会
平成 25.9.9	平成 25 年度社会福祉法人労務研修会
平成 25.9.24	平成 25 年度健康保険・年金研修
平成 25.10.3～4	平成 25 年度全国社会福祉事業団協議会九州ブロック職員研修会
平成 25.10.7	平成 25 年度社会福祉法人理事長及び法人監事研修会
平成 25.11.11	平成 25 年度社会福祉法人会計実務研修会
平成 25.11.27	夢のみずうみ村視察研修
平成 25.12.17	発達障害者雇用促進セミナー
平成 26.1.29～30	障害者職業生活相談員資格認定講習
平成 26.2.19	労務管理セミナー
平成 26.2.25～26	平成 25 年度老人福祉施設会計事務研修会
平成 26.3.12	育児・介護休業制度等に関する講習会

熊本市立明生園

Ⅰ　施設運営の状況

（1）２５年度の取り組み

①　施設建て替えに伴う個室化と支援体制の確立

ア　26 年 3 月にはすべての工事が完了し、全室個室化しました。また、夜勤者を 2 人配置した勤務体制を試行し、個別支援計画に基づいた安全かつ利用者本位の支援に取り組みました。

②　介護予防への取り組み強化

介護予防に取り組む時間を確保し、毎日の夕方健康体操や歩行を充実させ、利用者の介護度の維持と向上に努めてきました。

また、元気な利用者の方に働きかけ、洗濯物たたみなど園での作業や地域の清掃活動等に参加して頂き、活動に応じてポイントを付与しポイントに応じて特典を付与する「いきいき倶楽部」を創設して活動への意欲につなげ、健康で生きがいのある生活を支援してきました。

③　地域交流の充実

ア　校区社協や自治会、民生委員等と連携し地域ボランティアを募りましたが、生活支援等のボランティアの定着には至らず、更なる働きかけが必要です。

イ　地域の方々からの相談受付等はほとんどないものの要介護高齢者の１人暮らし等地域の課題を探り、地域と協力してその課題解決に努めてきました。

④　地域包括支援センターとの定期的な連携会議を行い、また市町村や関係機関を積極的に訪問し広報活動に努め、地域の潜在的な養護老人ホーム入所対象者の掘り起こしに努めた結果、在籍者数は 99 名から 114 名に増加しました。

⑤　給食業務満足度向上に向けたサービス度を図る

個食対応や行事食・セレクトメニューの充実を図りました。満足度の向上を目指すためにアンケートを実施しました。また、管理栄養士による在宅高齢者に対しての料理教室を法人内他事業所で実施して栄養指導を行いました。

⑥　養護３施設での定期的な連携会議の開催並びに職員研修

ア　養護３施設において連携会議を年 6 回開催し、利用者支援サービスの質の向上、また職員の資質向上等に関し、認知症や精神障がいの方への支援等を検討するため常に連携の強化を図りました。

イ　職員研修

３施設間で交流研修を実施し、認知症高齢者への支援のレベルアップ強化を図りました。

（2）　２５年度の成果目標

・利用者満足度アンケートにおいて２%の増を達成。
　２４年度８９%から２５年度９２%に増加し、達成。
・給食満足度調査において、満足度合が 95 %以上を目指す。
　満足度８７%で未達成。
・平成 25 年度までに要介護者 90%以上の外部介護サービスの利用。
　85%の利用率で未達成。

Ⅱ　利用者の状況

法人内部介護サービス利用人数の推移（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
訪問介護	15	16	14	14	13	14	14	19	18	18	18	17	190
中央デイ	13	13	14	14	14	14	14	12	11	11	11	12	153
西里デイ	21	18	19	19	21	24	24	24	23	23	22	22	260
合 計	49	47	47	47	48	52	52	55	52	52	51	51	603

【日課表】

6:00　8:15　9　10　11　12　13　14　15:30　16　17　18　19　20　21:00

起床　洗面　朝食　介助浴（月水金）　クラブ活動　お口の体操　昼食　一般浴（月水金）　クラブ活動等　おやつ　体操　夕食　自由　就寝

(1) 入退所の状況　　（定員：120 名）

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍者数	99	98	101	104	105	105	105	110	111	111	112	114	114
入　　所	0	4	4	1	2	1	6	2	3	2	2	1	27
退　　所	1	1	1	0	2	1	1	1	3	1	0	1	13

(2) 年齢別（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	55~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100 以上	計	平均年齢
男	1	2	9	9	10	3	3	1	0	38	79.2
女	0	0	9	10	26	17	9	5	0	76	83.9
計	1	2	18	19	36	20	12	6	0	114	82.1

(3) 在所期間（平成 26 年 3 月 31 日現在）

在所期間＼性別	男	女	計	比率（%）
1 年未満	9	18	27	23.7
1 年以上 3 年未満	9	12	21	18.4
3 年以上 5 年未満	5	11	16	14.0
5 年以上 10 年未満	10	26	36	31.6
10 年以上 15 年未満	3	6	9	7.9
15 年以上 20 年未満	0	2	2	1.8
20 年以上	2	1	3	2.6
計	38	76	114	100

(4)日常生活状況（平成 26 年 3 月 31 日現在）

区　分	自　立	一部介助	全介助	合　計
歩　行	108	3	3	114
入　浴	65	43	6	114
食　事	108	6	0	114 （特別食 33）
着脱衣	65	45	4	114
排　泄	68	41	5	114 （紙パンツ 23）

(4) 要介護者と介護サービス利用状況（平成 26 年 3 月 31 日現在）

介護度	人　数	介護サービス利用者		未利用者
		男性	女性	
要介護 5	1	1	0	0
要介護 4	4	1	3	0
要介護 3	6	2	4	0
要介護 2	12	5	7	0
要介護 1	30	10	20	5
要支援 2	4	0	4	0
要支援 1	9	3	6	5
計	66	22	44	10

Ⅲ　年間行事

月	施　設　行　事	明飽園・雁回敬老園との合同行事	食事関係	保健衛生関係	防災関係	地域交流･実習･ボランティア等
4	朝礼・誕生会		食事委員会 セレクトメニュー	感染症対策委員会 害虫消毒	電気設備点検	
5	しょうぶ湯 母の日		食事委員会 セレクトメニュー	害虫消毒	消防設備点検 防災訓練	ヤクルト健康こばなし 塋光保育園交流会 柿原地区町内一斉清掃 熊本支援学校実習
6	父の日 日帰り旅行 七夕飾り	輪投げ大会	お好み喫茶 セレクトメニュー	感染症対策委員会 利用者健康診断 害虫消毒	安全委員会	花園小４年生交流会 城西ひよっとこ愛笑会 塋光保育園七夕飾り付け 崇城大学学生実習 九州中央リハビリテーション学生実習
7	町内納涼盆踊り大会		セレクトメニュー	利用者健康診断 害虫消毒 AED 研修		盆踊りの練習(地域婦人部) 浄土宗青年会ボランティア 花園小４年生交流会 シルバーボランティア
8	慰霊祭		食事委員会 セレクトメニュー	感染症対策委員会 全館消毒	防災訓練（夜間）	崇城大学学生実習 学園大生実習 熊高学生実習 ルーテル大ボランティア実習 琵琶演奏ボランティア
9	飾り馬訪問 花園こども神輿 敬老の集い		お好み喫茶 セレクトメニュー	害虫消毒		町内敬老会参加 花園小４年生交流会 熊本支援学校実習 ルーテル大ボランティア実習 熊本看護学生実習
10	小ｸﾞﾙｰﾌﾟ外出	合同運動会	セレクトメニュー	害虫消毒		塋光保育園運動会参加 熊本看護学校生実習 柿原地区町内一斉清掃 崇城大学学生実習 ルーテル大ボランティア実習
11	小グループ外出		セレクトメニュー 食事委員会	感染症対策委員 インフルエンザ 予防接種 害虫消毒	消防設備点検 避難訓練	熊本看護学校生実習 シルバー人材花園地区除草ボランティア 花園コミセンまつり
12	小グループ外出 忘年会 餅つき ゆず湯 いきいきクラブ感謝の集い		食事委員会 お好み喫茶 セレクトメニュー	救急法研修 害虫消毒	防災対策委員会	熊本看護学校生実習 クリスマスケーキ寄贈 ルーテル大ボランティア実習
1	新年のつどい どんどや		おせち料理 セレクトメニュー 給食アンケート	介護保険関係委員会 感染症対策委員会 害虫消毒 設備点検	設備点検	柿原校区どんどや 熊本医療センター付属看護生実習
2	節分豆まき		食事委員会 セレクトメニュー	健康診断 害虫消毒	総合防災訓練	恵方巻き寄贈 塋光保育園交流会
3	花見 いきいきクラブ感謝の集い		セレクトメニュー	感染症対策委員会 全館消毒 防災訓練		チョンかけごまボランティア

定例行事》

ミーティング(カンファレンス)（毎朝）　　職員会議（毎月）　　運営検討会議（隔月）

朝礼（利用者・職員全員／月１回）　入浴(毎週月・水・金の午前・午後)

誕生会（月初め）　　理容カット（月１回）　針・灸奉仕（月１回程度）

《クラブ活動》

書道（第２木曜日）　リラックス体操（第２・４火曜日）舞踊クラブ（第１・３金曜日）

生花（第２・４火曜日）　紙粘土（第２・３水曜日）　カラオケ（第２・４日曜日）

吟詠（第１・２・３火曜日）　　手芸（第２・４月曜日）

Ⅳ　職員研修

期　　間	場　　所	研　　修　　名
平成 25 年 5 月 24 日	熊本市	空・間・懇研修会（8/9　11/12）
6 月 7 日	熊本市	市栄養管理研修会
6 月 7 日	熊本市	防災講習会
6 月 26 日	熊本市	市老人福祉施設協議会職員研修会
7 月 9 日	熊本市	排泄介護研修会
7 月 11 日	熊本市	調理師研修会
8 月 20 日	熊本市	3 施設合同研修会（認知症研修）
9 月 6 日	熊本市	レジオネラ対策講演会
10 月 3～4 日	熊本市	全国社会福祉事業団九州ブロック職員研修会
10 月 17 日	熊本市	リスクマネジメント研修
11 月 8 日	熊本市	成年後見制度利用促進研修会
11 月 10 月	熊本市	院内感染防止対策に関する講演会
11 月 22 日	熊本市	県老施協養護老人ホーム職員研修会
11 月 27 日	熊本市	社会福祉施設における感染対策研修会
1 月 18 日	熊本市	県老人福祉施設研究大会
2 月 20 日	熊本市	栄養管理・調理師合同研修会
3 月 12 日	山口市	施設見学
3 月 18 日	熊本市	市老施協研修会

熊本市立明飽苑

Ⅰ　施設運営の状況

（1）２5年度の取組み

①介護予防への取組み強化

介護予対策として、昼食前に健康体操・嚥下体操に加え、「わくわくタイム」としてさらにメニューを増やし利用者に積極的に参加してもらうような取り組みを開始しました。

また毎日曜日には、レクリエ―ション活動（スカットボールやカラオケ等）を実施し利用者の余暇活動の充実に努めました。

さらに「夢かなえますプロジェクト」を企画し、母校訪問やお墓詣りなど利用者一人一人の希望に沿ったイベントを実施しました。

②地域交流の充実

地域のネットワークを通して洗濯等の生活支援ボランティアや、童謡・詩吟、25年度からは習字のボランティアも加わり、利用者の余暇活動の支援として活動して頂いています。また近隣の中学校のナイストライの受け入れや保育園児との交流会なども実施しました。

③地域包括支援センター（各ささえりあ）との連携強化

各ささえりあ居宅介護支援事業所など関係機関と常に情報交換し連携強化を図りました。

また、市町村にも、各職種に応じてPRや広報活動を行いました。

さらに、ささえりあ主催の城山校区認知症徘徊者訓練に参加し、協力体制の構築に努めました。

④給食業務満足度向上に向けたサービスの強化

好評のセレクトメニューを毎週１回とり入れ、またバイキングメニューも実施し利用者の楽しみにつなげました。誕生月には各誕生者のリクエストメニューを聞いて、可能な限りメニューに取り入れました。

管理栄養士は、定期的に法人内施設での栄養指導を行いました。

⑤養護３施設での定期的な連携会議の開催並びに職員研修

養護３施設で連携会議を隔月で実施し、自立化に向けての課題の検討を行いました。また支援のレベルアップを目的に、交流研修（明生園において実施）や認知症についての職員研修会を実施しました。

（2）２5年度の成果目標

・要介護度の平均	2.16	（平成２４年度：2.34）
・利用者満足度アンケート	96　%	（平成２４年度：89%）
・給食満足度	97.7%	（平成２４年度：96.0%）
・外部介護サービスの利用	83　%	（平成２４年度：84%）

【日課表】

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
起床	洗面	朝食		健康体操	自主活動	昼食	入浴	介助浴	自由時間	お	や	夕食	自由時間		就寝

起床　　６：００（4月～9月）　　６：３０（10月～3月）

朝食　　８：００

健康体操　１１：２０

昼食　　１２：００

おやつ　　１５：１５～１５：４５

夕食　　１８：００

就寝　　２１：００

（入浴　毎週月曜～金曜の午後）　１３：００～１５：３０

《介助入浴は月､水､金１４：００～１５：３０》

Ⅱ　入所者の状況

(1) 入退所の状況　　（平成 26 年 3 月 31 日現在）
（定員：50 名）

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍者数	50	49	50	50	49	47	47	47	49	49	49	48	584
入　所	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4
退　所	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	2	8

退所の内訳（死亡　4 名　・特養入所 2 名　・療養病床 2 名　）

(2) 年齢別　　（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	55~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	計	平均年齢
男	0	0	2	0	3	2	3	2	0	12 名	85.42 歳
女	0	0	4	5	4	8	9	4	0	34 名	85.54 歳
計	0	0	6	5	7	10	12	6	0	46 名	85.51 歳

(3) 在所期間　　（平成 26 年 3 月 31 日現在）

性別＼在所期間	男	女	計	比率（%）
1 年未満	3	2	5	10
1 年以上　3 年未満	1	9	10	21
3 年以上　5 年未満	1	7	8	17
5 年以上 10 年未満	4	11	15	36
10 年以上 15 年未満	2	2	4	8
15 年以上 20 年未満	0	3	3	6
20 年以上	1	0	1	2
計	12	34	46	100

(4) 日常生活状況　　（平成 26 年 3 月 31 日現在）

区　分	自　立	一部介助	全介助	合　計
歩　行	7	３２	7	４６
入　浴	4	３３	9	４６
食　事	３６	5	5	４６
着脱衣	4	３３	9	４６

排泄	昼間	便所	自分で可	１６	排泄	夜間	便所	自分で可	１３
			介　助	0				介　助	0
		便器	自分で可	１８			便器	自分で可	２０
			介　助	5				介　助	3
		オムツ使用		7			オムツ使用		１０

※入院者 2 名

(5)外部介護サービス利用状況　　（平成 26 年 3 月 31 日現在）

①通所系サービスおよび福祉用具貸与

介護度	サービス内容						
	通所介護または通所リハ(人)						福祉用具貸与（人）
	1 回/週	2 回/週	3 回/週	4 回/週	5 回/週	6 回/週	
要介護５	0	1	0	0	0	1	2
要介護４	0	0	2	0	0	0	2
要介護３	0	1	2	0	0	0	3
要介護２	0	2	4	0	1	0	7
要介護１	0	0	8	0	0	0	8
要支援２	0	2	0	0	0	0	2
要支援１	3	1	0	0	0	0	4
合計（人）	3	7	１６	0	1	1	２８

②訪問系サービス

介護度	サービス内容							
	訪問介護（人）					訪問入浴（人）	訪問リハビリ(人)	
	1 回/週	2 回/週	3 回/週	1 回/日	2 回以上/日	1回以上/週	1 回/週	2 回/週
要介護５	0	0	0	0	2	0	0	0
要介護４	0	0	0	2	0	0	0	0
要介護３	0	1	0	0	0	0	0	0
要介護２	0	3	1	0	0	0	0	0
要介護１	0	3	0	0	0	0	0	0
要支援２	0	1	0	0	0	0	0	0
要支援１	2	1	0	0	0	0	0	0
合計（人）	2	9	1	2	2	0	0	0

③介護タクシー利用者状況（通院介護等）　（人）

要介護５	要介護４	要介護３	要介護２	要介護１	要支援２	要支援１	合計
2	5	0	4	2	0	0	１３

要介護状態　（人）　　（平成 26 年 3 月 31 日現在）

要介護 5	要介護 4	要介護 3	要介護 2	要介護 1	要支援 2	要支援 1	自立	合計
3	3	4	8	１４	4	5	5	４６

Ⅲ　年間行事

月	ホーム行事	食事関係	明生園との合同行事
4	笑・笑・笑う会コンサート	セレクトメニュー	
5	菖蒲湯　日帰り旅行　避難訓練 苑内消毒	セレクトメニュー	
6	小グループ外出　避難訓練 健康診断（1 回目）	誕生会ケーキ　セレクトメニュー	輪投げ大会
7	七夕祭　納涼祭　不在者投票 越前琵琶演奏	七夕メニュー、納涼祭メニュー	

8	慰霊祭　避難訓練	セレクトメニュー	
9	敬老のつどい　月見の会	セレクトメニュー	
10	茶会（お月見会）	誕生会ケーキ　セレクトメニュー	合同運動会
11	健康相談　苑内消毒 インフルエンザ予防接種　琵琶演奏	セレクトメニュー	
12	ゆず湯　餅つき　避難訓練	誕生会ケーキ､クリスマスバイキング　セレクトメニュー	
1	新年祝賀会　新年茶会、初風呂 消火器取扱訓練	おせち料理　鏡開き セレクトメニュー	
2	豆まき　健康診断（2 回目）	セレクトメニュー	
3	ひな祭り茶会、花見　総合防災訓練 健康相談	誕生会ケーキ､ひな祭りメニュー セレクトメニュー	
定　例 行　事	合同ミーティング（給食委員会含む)、誕生会、屋内点検、自主活動（詩吟)、職員会議、 代表者会議 講話（月 1 回)、清掃の日、童謡ボランティア（月 1 回)、鍼灸ボランティア、 書道ボランティア 理容カット（月 2 回） 健康体操（毎日)、健康診断（年 2 回)、予防接種（日本脳炎、インフルエンザ)、 全館消毒（年 2 回）		
その他	実習生～熊本看護学校生、国立病院熊本医療センター付属看護学校生、三和中ナイストライボアランティア～笑・笑・笑会　　飽田東保育園、 寄贈～野原産業、大野商事、市老人クラブ連合会		

Ⅳ　職員研修

期　　日	場　　所	研　　修　　名
6 月 7 日	熊本市	防災講習会(1 名)
6 月 21 日	熊本市	第 1 回福祉職員レクレーション研修（1 名)
8 月 19 日	熊本市	顧客満足を高めるための接遇研修（2 名）
8 月 20 日	熊本市	認知症研修（5 名）
8 月 22 日	熊本市	がん対策研修会（1 名）
9 月 3 日	熊本市	救急法講習会（1 名）
9 月 6 日	熊本市	レジオネラ症防止講習会（1 名）
10 月 21 日	熊本市	感染症対策研修会（1 名）
11 月 1 日	熊本市	熊本市感染症等研修会（1 名）
11 月 27 日	熊本市	熊本市感染症等研修会（1 名）
11 月 10 日	熊本市	院内感染防止対策に関する講演会（2 名）
1 月 17 日	熊本市	メンタルヘルス研修会（2 名）
10 月 18 日～ 3 月 28 日	熊本市	明生園一日施設研修　　（7 名）
1 月 18 日	熊本市	熊本県老人福祉施設研究会　（3 名）
1 月 20 日	山口県	施設見学（夢のみずうみ村）　（1 名)
1 月 20 日	熊本市	接遇研修　（2 名）
1 月 24 日	熊本市	第 3 回熊本県栄養士会福祉事業部研修会(1 名)
2 月 10 日	熊本市	老人福祉施設看護・介護職員研修（1 名）
2 月 20 日	熊本市	管理栄養士・調理員合同研修会　（3 名）
3 月 18 日	熊本市	老人福祉施設協議会職員研修会（4 名）
3 月 19 日	熊本市	熊本市社会福祉施設連合会　　（1 名）
平成２５年度　参加延べ人数　　42 名		

熊本市立雁回敬老園

Ⅰ　施設運営の状況

（１）　25 年度の取り組み

①　介護予防の取り組み強化

基本理念である「笑顔で明るく楽しい施設を目指します！」のスローガンのもと、入所者主体の支援の観点により、日々の健康体操や嚥下体操を実施するなど引き続き生きがいと心身の健康維持を図りました。

また、入所者の要介護状態は年々重度化しており、要介護者に対しては、同事業所内での入浴やデイサービス等の介護保険サービスの利用を勧め、ケアの充実、個別支援に努めました。

②　地域交流の充実

花見、運動会、どんどやに地域の老人会をお招きして開催し、地域に貢献出来る施設を目指しました。また、近くの保育園からも運動会に参加していただき、地域の子供たちと入所者との触れ合いの機会を持ちました。

理容カットや清掃活動のボランティアを受け入れ入所者のサービスを図りました。また、地域の踊りや、びわ演奏などの発表も積極的に受入れ、入所者に楽しんでいただきました。

③　地域包括支援センター等との連携強化

問い合わせがあった近隣の地域包括支援センターには勿論のこと、遠隔の地域包括支援センター、居宅介護支援事業所へ即時訪問し、園の説明を行うなど連帯の強化を図りました。また、各関係機関には積極的なＰＲや広報活動を行いました。定期的に開催される民生・児童委員会への出席、地域包括ケア会議にも出席し関係情報の収集・広報に努めました。

④　個別活動の充実

園での生花・踊り・カラオケをクラブ活動として行うなど入所者間の交流を図りました。

また、輪投げ大会、運動会など明生園・明飽苑と合同行事の開催、芝光苑・松寿園との三施設合同によるペタンク大会、輪投げ大会、スカットボール大会を実施するなど、各施設の入所者間の交流を深めました。

季節行事や社会体験活動（個別旅行）、3 か月に 1 回の誕生会を実施し、入所者が日々楽しく笑顔で生活できるように努めました。

⑤　食事満足の向上に向けたサービス強化

利用者への嗜好調査をもとに、パン食希望の方へパンの提供、セレクトメニューを随時行いました。また、糖尿病や肝臓病、高血圧等の病気に応じた食事の提供、個々の口腔の状態と嗜好を考慮した代替食、キザミ・トロミ食やおかゆを提供し、更なるサービスの強化に努めました。

⑥　養護 3 施設での定例的な連携会議の開催並びに職員研修

隔月で養護 3 施設の定例的な連帯会議を実施。各施設の現状に基づく情報交換、入所者に対する支援サービスの向上等について協議を行いました。また、職員合同研修として認知症研修を実施しました。

（２）25 年度の成果目標

・介護度の平均　　1.39（平成 24 年度：1.55）
・地域の方の来園者数　　年間延べ　160 人
・近隣事業所訪問回数　　年回延べ　28 回
・利用者満足度アンケート　　76.9%（平成 24 年度：89%）
・食事満足度調査　　96.1%（平成 24 年度：91%）

【日課表】

6:00	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21:00
起床・洗面	朝食	検温・検圧 体操・自由	クラブ活動（生花など）		自由 昼食		クラブ活動（踊りなど） 入浴（月・水・金）	検温・検圧 おやつ		自由 夕食				就寝

Ⅱ　利用者の状況

(1) 入退所の状況　　（定員：50 名）

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍者数	42	42	41	40	38	36	35	33	32	32	36	36	443
入　　所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
退　　所	0	1	1	2	2	1	2	1	0	0	0	1	11

(2) 年齢別（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	55~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100 以上	計	平均年齢
男	0	0	0	3	1	2	0	1	0	7	83.0
女	0	1	3	2	7	7	8	0	0	28	84.2
計	0	1	3	5	8	9	8	1	0	35	83.6

(3) 在所期間（平成 26 年 3 月 31 日現在）

在所期間＼性別	男	女	計	比率(%)
1 年未満	2	2	4	11.4
1 年以上 3 年未満	2	5	7	20.0
3 年以上 5 年未満	0	3	3	8.6
5 年以上 10 年未満	1	10	11	31.4
10 年以上 15 年未満	2	5	7	20.0
15 年以上 20 年未満	0	1	1	2.9
20 年以上	0	2	2	5.7
計	7	28	35	100.0

(4) 日常生活状況（平成 26 年 3 月 31 日現在）

区　分	自　立	一部介助	全介助	合　計
歩　行	16	19	0	35
入　浴	10	25	0	35
食　事	33	4	0	37
着脱衣	35	0	0	35
排　泄	20 (紙パンツ 13)	2	0	35 (紙パンツ 13)

(4) 要介護者と介護サービス利用状況（平成 26 年 3 月 31 日現在）

介護度	人　数	介護サービス利用者		未利用者
		男性	女性	
要介護４	0	0	0	0
要介護３	1	0	1	0
要介護２	7	0	7	0
要介護１	15	4	11	0
要支援２	5	0	5	0
要支援１	4	1	3	0
自　立	3	0	0	3
計	35	5	27	3

Ⅲ　年間行事

月	施　設　行　事	施設合同行事	食事関係	保健衛生関係	防災関係	地域交流･実習･ボランティア等
4	花見	スカットボール大会 （芝光苑・松寿園合同）				踊り訪問 ひょっとこ踊り訪問
5	しょうぶ湯 音楽会	ペタンク大会 （芝光苑・松寿園合同）	セレクトメニュー 食生活改善委員会		事故防止対策委員会	
6	社会体験活動　音楽会 アジサイ花見学		セレクトメニュー	感染症対策委員会	総合防災訓練	六殿宮参道清掃 緑のサーテン設置
7	七夕飾り　音楽会	輪投げ大会 （芝光苑・松寿園合同）	セレクトメニュー			不在者投票
8	慰霊祭 音楽会		食生活改善委員会			民生委員訪問
9	社会体験 音楽会	スカットボール大会 （芝光苑・松寿園合同）	セレクトメニュー	感染症対策委員会	事故防止対策委員会	
10	運動会 コスモス見学	運動会 （事業団三養護合同）	月見団子			まこと保育園運動会 びわ演奏訪問
11	音楽会	ペタンク大会 （芝光苑・松寿園合同）	食生活改善委員会			
12	ゆず湯 クリスマス・忘年会	輪投げ大会 （芝光苑・松寿園合同）	年越しそば	感染症対策委員会	総合防災訓練	
1	初風呂・どんどや		おせち弁当 セレクトメニュー		事故防止対策委員会	老人会訪問
2	節分豆まき 社会体験活動		食生活改善委員会 セレクトメニュー 恵方巻き			
3	社会体験活動 花見		お雛様料理 セレクトメニュー	感染症対策委員会		

《定例行事》　全体会（利用者・職員全員／月１回）　ミーティング（カンファレンス）（毎朝）
職員会議（毎週月曜日）
入浴（毎週月・水・金の午後）　介護相談（月１回）　誕生者紹介（月１回）
ショッピング（月２回）誕生会（3 か月に１回集会所にて開催、その他の月は誕生者紹介）
理容カット奉仕（月１回）

《クラブ活動》　踊り（第１・３木曜日）　生花（第２・４火曜日）　カラオケ（月１回）　パステル画（月１回）

《機能訓練活動》　読み語り（月２回）　創作活動（月１回）　ぬり絵（随時）

Ⅳ　職員研修

期　　間	場　　所	研　　修　　名
平成 25 年 6 月	ﾎﾃﾙﾆｭｰｵｰﾀﾆ熊本	熊本市老人福祉施設協議会職員研修会
〃	熊本県庁	不在者投票管理事務研修会
〃	養護老人ﾎｰﾑ芝光苑	三施設職員交流研修会
8 月	熊本県民交流館ﾊﾟﾚｱ	事務長・事務担当者研修会
〃	希望荘	熊本市社会福祉事業団接遇研修会
〃	希望荘	熊本市社会福祉事業団がん対策研修会
〃	熊本市立明生園	養護 3 施設合同認知症研修会
10 月	ﾎﾃﾙ熊本ﾃﾙｻ	全国社会福祉事業団協議会九州ﾌﾞﾛｯｸ職員研修会
〃	ｳｪﾙﾊﾟﾙ熊本	感染対策研修会
〃	福岡第 2 合同庁舎	看護師実習指導者講習会
11 月	熊本市火の君文化ｾﾝﾀｰ	熊本県成年後見人制度利用促進研修会
〃	熊本交通ｾﾝﾀｰ	熊本県老施協老人ﾎｰﾑ職員研修会
〃	ｳｪﾙﾊﾟﾙ熊本	感染対策研修会
12 月	熊本県民交流館ﾊﾟﾚｱ	事務長・事務担当者研修会
1 月	事業団本部	熊本市社会福祉事業団ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ研修会
〃	ﾎﾃﾙ熊本ﾃﾙｻ	熊本県老人福祉施設研究大会
〃	ﾌｰﾄﾞﾊﾟﾙ熊本	熊本県栄養士研修会
〃	事業団本部	安全運転研修会
2 月	ﾎﾃﾙ熊本ﾃﾙｻ	福祉ｻｰﾋﾞｽ苦情解決研修会
3 月	雁回敬老園	施設内研修
〃	ﾒﾙﾊﾟﾙｸ熊本	熊本市老人福祉施設協議会職員研修会
〃	ﾘﾃﾞﾙﾗｲﾄﾎｰﾑ	熊本市老人福祉連絡協議会職種別勉強会

熊本市母子福祉センター

Ⅰ　施設運営状況

指定管理制度の２年目にあたり、熊本市社会福祉事業団の施設としてのセンター機能の認知度向上と、他機関とのネットワーク強化を念頭に置き、以下の項目に取り組みました。

①　アウトリーチ事業を通じた地域の活性化

地域の民生・児童委員や学校関係を通じて情報提供や施設提供を行うと共に、ボランティアによる地域向け行事を実施しました。

②　利用者満足度を高めるサービスの充実

講座・事業ごとのアンケート実施、年度末の技能習得講座受講者へアフターケアを兼ねたアンケート実施により利用者の声を広く取り上げると共に、有識者による年２回の運営委員会において、それぞれ専門的な立場からの有益な助言を受けました。

③　発信力の強化

ホームページやメールマガジン（月３回発信：登録者数1,575件)、各行事・講座毎の公的機関を中心としたセンターの案内だけでなく、館内には、就労や技能習得、子育てに関するものやゆっぴー安心メール等、ひとり親家庭等が必要とする情報を多く掲示し、利用者の便宜を図りました。

④　就労支援の充実

技能習得講座を体系的に整備し、新規講座も開講し、受講生が段階的に資格取得に向けて学べるようにしました。

就労支援は最重点事業と位置付け、求職者登録バンクにより求職者の状況を把握し、求職者の要望等を重視しながら求人情報の提供をアフターケアという形で行いました。

また、行政と連携し「母子自立支援プログラム策定事業」の利用へとつないだ後のアフターケアにも力を入れ、より円滑に就労へ結びつくように支援を行いました。

（　支援状況についてはⅡ－（7）参照　）

Ⅱ　利用状況

1　項目別利用状況（延人数）

項目／年度	相　談	講　座（就労支援・教養）	託　児	来館者 見学者他	情　報提　供	児童健全育成親子ふれあい事　業	自主事業	合計（人）
25年度	596	3,238	687	2,290	3,688	261	3,032	13,792
目標値	360	3,120	600	2,530	3,910	480	2,700	13,700
達成率	165.5%	103.8%	114.5%	90.5%	94.3%	54.4%	112.3%	100.7%

2　事業別実施状況

(1) 相談事業・・・・・・・・・(延　596人)

①各種相談状況及び人数

項　目	法律相談	家庭一般相　談	就職相談	カウンセリング	電話による相談	アフターケ　ア	合　計
人　数	22	104	77	8	61	324	596
割　合	3.7%	17.4%	12.9%	1.3%	10.2%	54.4%	100%

②年齢別相談状況

年齢別	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	不明	合　計
人 数	1	56	192	172	43	1	7	1	123	596
割 合	0.2%	9. 4%	33.2%	28.9%	7.1%	0.2%	1.2%	0.2%	20.6%	100%

(2) 相談内容別人数

項　目	就職 (仕事)	技能 習得	生活 (住宅)	家庭 問題等	金銭 貸借	人間 関係	養育 費等	援助金 施設等	その他	合　計
人　数	397	8	20	72	5	8	12	15	59	596
割　合	66.6%	1.3%	3.4%	12.1%	0.8%	1.3%	2.0%	2.5%	9.9%	100%

(3) 講座等

①　技能習得講座

講　　座　　名	期　間(回数)	曜日	時　　間	時間数	延人数
パソコン基礎	4 月 (全８回)	火～土	18:30～20:30	16	84
パソコン 3 級表計算	4～6 月 (全 22 回)	火木土	18:30～20:30	44	125
パソコン 2 級表計算	6～9 月 (全 33 回)	火木土	18:30～20:30	66	432
パソコン 3 級ワープロ技士	4～6 月 (全 19 回)	水・金	18:30～20:30	38	238
PowerPoint 技能認定初級	9～10 月(全 15 回)	火木土	18:30～20:30	30	174
電子会計実務検定	11～12 月 (全 16 回)	火木土	18:30～20:30	32	156
ﾃﾚｺﾐｭﾆｹｰﾀｰ養成講座	４月 (全 4 回)	土	09:00～16:00	24	33
パーソナルカラー	５月 (全 3 回)	日	14:00～16:00	6	31
コミュニケーション初級	７月　(全 4 回)	水・金	18:30～20:30	8	36
介護職員初任者研修	9～10 月(全 30 回)	火～金	日程により異なる	130	247
マナー検定　初級 上級	8～9 月 (全 5 回) 6～7 月 (全 5 回)	日 日	14:00～16:00 14:00～16:00	10 10	53
日商簿記 3 級	7 月～11 月(全 30 回)	水・金	18:30～20:30	60	297
日商簿記 2 級	11 月～2 月(全 33 回)	水・金	18:30～20:30	66	418
医療事務	12 月～3 月	火木土	18:30～20:30	60	362
合　　計				600	2,686

②　教養講座

講　　座　　名	実施日 (回数)	時　間	時間数	延人数
子ども書道	主に第 1(土) (全 12 回)	10:00～12:00	24	129
子どもピアノ	主に第 4(日) (全 12 回)	09:00～11:00	30	92
子ども珠算	4～9 月　(土) (全 12 回)	14:00～15:30	18	103
フラワーアレンジメント	主に第 3(土) (全 12 回)	14:00～16:00	24	125
ペン習字	9～2 月(日)　(全 12 回)	10:00～12:00	24	117
合　　計			120	566

③　児童健全育成・親子ふれあい講座

講　　座　　名	実施日 (回数)	時　間	時間数	延人数
親子でクッキング	4～2 月　(日) (全６回)	10:00～12:00	12	83
親子お茶・お花教室	5～2 月　(日) (全 9 回))	10:00～12:00	18	40
親子でレクリエーション	5～1 月　(日) (全 5 回)	13:00～14:30	7.5	43
子育て達人のお力拝借	5～1 月　(土) (全 4 回)	10:00～12:00	8	32
パソコンで遊ぼう	6～3 月　(日) (全 4 回)	14:00～16:00	8	32
おもしろ科学実験	6・11 月 (土) (全２回)	10:00～12:00	4	31
わくわく寺子屋	主に毎週火曜日	18:30～19:30	0	0
合　　計			57.5	261

④　自主事業

講　　座　　名	実施日（回数）	時　間	時間数	延人数
スローヨガ（金）	主に第２金（全 12 回）	10:00～11:30	18	87
スローヨガ（土）	主に第２土（全 12 回）	10:00～11:30	18	96
リフレッシュ保育	５月・11 月（全２回）	09:00～16:00	14	1
家計のやりくり術	５月・11 月（全２回）	14:00～16:00	4	3
子育てわいわい茶話会	７月・12 月(全２回)	14:00～16:00	4	24
リクエスト講座	６月・７月（全３回）	10:00～12:00	6	25
単発事業	８月～12 月（全６回）	10:00～12:00 13:00～14:00	6	174
合　　計			70	410

②　自主講座・自主練習

講　　座　　名	実施日（回数）	時　間	時間数	延人数
舞　踊（水）	毎週水曜日（全 48 回）	09:30～11:30	96	142
舞　踊（金）	毎週金曜日（全 45 回）	14:00～17:00	135	168
コーラス	第１・3(木)（全 27 回）	14:00～16:00	54	349
童　謡	第１・3(水)（全 19 回）	14:00～15:30	28.5	160
煎　茶　道（休講）	主に第２(日)（全 12 回）	10:00～12:00	0	0
自主練習（PC・医療事務他）	開館日	開館時間中		332
合　　計			313.5	1,151

(4) 保育(託児)状況

区　分	1～2 歳	3～4 歳	5～6 歳	小学 1・2 年	小学 3・4 年	小学 5・6 年	合計
人　数	28	90	228	218	97	26	687
割　合	4.1%	13.1%	33.2%	31.7%	14.1%	3.8%	100%

(5) 図書利用状況

区分	幼児	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中学	高校	大人	小計	図書ｺｰﾅｰ	合計
人数	32	20	18	18	7	24	0	0	0	125	244	743	987

(6) 常設コーナー利用状況

コーナー名	ゆずりっこ	おしゃべりのんびりサロン	合　計
人　数	221	345	566

(7) 就労支援状況

	未就労者数累計 （就労支援講座受講者）	就労者累計	達成率
人数等	50	40	**80%**

	就労バンク 登録者	自立支援 プログラム	就労バンク 就労者
人　数	112	44 （112 名中）	62

Ⅲ　職員研修

月	場　所	研　修　名
4 月	熊本市	新規契約職員研修・管理職研修（事業団内部研修）・職員研修（館内研修）
6 月	熊本市	男女共同参画週間記念講演会 相談業務について①（館内研修）人事考課者研修（事業団内部研修）
7 月	熊本市	事業団内体験実習(事業団内部研修) 相談業務について②（館内研修）
8 月	熊本市	相談業務について③(館内研修) 接遇研修・がん対策研修・会計研修(事業団内研修)
9 月	熊本市	母子生活支援施設九州ブロック研究大会・人権について(館内研修) 熊本市母子寡婦福祉会研修大会
10 月	熊本市	全事協職員研修大会・会計研修（事業団内部研修）・事例検討(館内研修)
11 月	熊本市	事業団 Web 研修(事業団内部研修)・第三者委員研修会 苦情対応について（館内研修）
	合志市	県母子寡婦福祉協会研修大会
12 月	熊本市	就労相談について(館内研修)
1 月	熊本市	メンタルヘルス研修会（事業団内部研修）・相談業務について④（館内研修） ボランティア初任者研修
2 月	熊本市	安心住宅シンポジウム・会計実務者研修会・苦情解決研修会 相談業務について⑤

老 人 福 祉 セ ン タ ー

Ⅰ　施設運営の状況

（1）２５年度の取り組み

①　各種集会等への場所の提供について

◇地域福祉の拠点として各地域の老人会やささえりあ、また、ボランティア等が行う地域会合や健康相談へ定期的に開放し提供しました。また、地域団体等への働きかけ、センターへの活用を独自の手作りチラシにて広報しました。

②　生活身上、健康等の各種相談について

◇介護・健康相談として、法人内居宅介護支援事業所、デイサービスセンター、訪問介護ステーション職員の協力を得て各センターで相談会を実施しました。定期的に実施することで、利用者とのコミュニケーションも深まり、より良い相談環境につながりました。

③　講習会等の開催について

◇法人内専門職員が実施する感染症対策や介護予防に関する講習、関係機関(主に消防署）を利用して、利用者の健康や安全に係る講習会を実施しました。特に AED や避難訓練等・消火器操作等、実技で体得された経験に高い評価をいただきました。

④　趣味講座、レクリエーションの開催について

◇各センターの地域性を生かし、四季折々の多彩な行事の催し。利用者の嗜好性に添った定期的な講座。また、前年を基に更に趣向を凝らした各種大会や発表会等を開催し、利用者同士の交流と生きがいづくりの創造に努めました。

※昨年に続き第３回合同カラオケ大会を実施し、出場者はもとより応援の方々、ご家族様にも来場いただき高い好評を博しました。各センター間の交流の場としても、今後とも継続して参ります。

⑤　高齢者の要望等の把握目的としたアンケートの実施について

◇全センター「利用者アンケート」として施設運営や利用状況に関する利用者様の声を収集しました。今後ともセンターの継続運営の希望が多い中、苦言や要望もあり、迅速に対応。改善の上、その報告も適時掲示しました。より快適に利用ができるよう環境整備等に努めて参りました。

（2）２５年度の成果

①　指定管理モニタリングにおける施設の運営・管理面の指摘事項は特になく、目標のとおり、指摘事項ゼロを達成できました。

②　法人内施設の協力のもと、毎月２回定期的に介護や健康相談を実施することができました。

Ⅱ　主要事業（市指定事業実施状況）

指定事業 ＼ 施設名	１．各種集会等への場所の提供	２．生活、健康等への各種相談	３．高齢者への講習会等の開催	４．趣味講座・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝの開催	５．ｱﾝｹｰﾄの実施
中央老人福祉ｾﾝﾀｰ	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ美容室 無料法律相談	福祉相談 健康相談	高齢者の法律問題 センター利用学習会 交通生活安全講習	手芸教室 パソコン教室 七夕祭り 文化祭 合同ｶﾗｵｹ大会	利用者ｱﾝｹｰﾄ
東老人福祉ｾﾝﾀｰ	ﾍﾙﾊﾟｰﾐｰﾃｨﾝｸﾞ 無料法律相談	介護相談 健康相談 ラジオ体操	実践！かいご 生活安全教室 税に関するセミナー	パソコン教室 囲碁会 ｲｹﾒﾝ･ｸｯｷﾝｸﾞ 歩け歩け会 子ども伝承遊び いきいき元気サロン ボランティア東部劇場 懐かしの映画 東部よかとこ巡り バスハイク 園児との交流 夏まつり ふれあい祭 囲碁大会 合同ｶﾗｵｹ大会	利用者ｱﾝｹｰﾄ

西老人福祉 ｾﾝﾀｰ	花見 町内会踊り練習	介護相談 健康相談	介護保険の話 消防、防災講習	かんたん健康体操 お花見会 囲碁同好会 映画上映会 七夕まつり ふれあいﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ クリスマス会 合同ｶﾗｵｹ大会	利用者ｱﾝｹｰﾄ
南老人福祉 ｾﾝﾀｰ	老人会(楽寿会) 講座代表者会議	生活相談 介護,健康相談	悪徳商法への注意 ノロウィルス等講習	日本民舞 詩吟 カラオケ 書道 文芸 フラダンス 健康体操 絵手紙 ボランティア慰問 （長寿デイへ） ふれあいﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ 合同ｶﾗｵｹ大会 唄と踊りのﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ	利用者ｱﾝｹｰﾄ
北老人福祉 ｾﾝﾀｰ	清水遺族会	生活相談 介護,健康相談	消防、防災講習 介護予防講習	地域交流ペタンク大会 園芸教室 大正琴教室 フラダンス交流 囲碁大会 ふれあいﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ 合同ｶﾗｵｹ大会 大正琴発表会 花見	利用者ｱﾝｹｰﾄ
川上老人 福祉ｾﾝﾀｰ	ささえりあ北部	生活相談 介護,健康相談	熱中症対策 救急法講習	囲碁同好会 絵手紙教室 カラオケ会 カラオケ舞踊祭 合同ｶﾗｵｹ大会 健康マージャン 花見の会	利用者ｱﾝｹｰﾄ
河内老人 福祉ｾﾝﾀｰ	俳句会 囲碁会 五月会 ｹﾞｰﾄﾎﾞｰﾙ愛好会 河内老人会 文芸河内編集会 ささえりあ金峰	介護相談 健康相談	食中毒の予防 熱中症予防講習 入浴について ノロウィルス講習	コーラス教室 パソコン教室 銭太鼓 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ慰問 （長寿デイへ） ｶﾗｵｹﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ 合同ｶﾗｵｹ大会	利用者ｱﾝｹｰﾄ
天明老人 福祉ｾﾝﾀｰ	身障者会議	生活相談 介護,健康相談 老人会から利用相談	救急法講習 認知症予防講習 感染症予防	囲碁会 健康ダンス 七夕ｶﾗｵｹ大会 音楽会 パソコン教室 琵琶演奏会 童謡コンサート 長寿デイ等見学会 合同ｶﾗｵｹ大会 ひな祭りｶﾗｵｹ大会	利用者ｱﾝｹｰﾄ
西里老人 福祉ｾﾝﾀｰ	講座代表者会	生活相談 介護,健康相談	転倒予防教室 高齢者の口腔ケア	健康体操 歌謡教室 懐メロ愛好会 謡曲（観世流） つまみ絵 新舞踊 カラオケ ペン習字 西里ふれあい祭 合同ｶﾗｵｹ大会 新春の集い	利用者ｱﾝｹｰﾄ

Ⅲ　利用状況

１．年度別施設利用状況　　（単位：人）

施設名	中　央	東	西	南	北	川　上	河　内	天　明	西　里	合　計
21 年度	23,629	17,786	13,414	7,948	15,604	22,196	14,863	6,712	10,234	132,386
22 年度	19,737	16,871	13,375	8,164	13,671	22,496	12,968	5,743	10,129	123,154
23 年度	19,217	17,691	11,669	7,107	12,695	23,201	12,537	6,361	9,547	120,025
24 年度	18,454	17,943	11,456	7,367	14,805	24,064	13,644	5,019	9,334	122,086
25 年度	17,307	18,775	9,353	7,003	16,854	21,609	12,060	3,831	9,171	115,963

２．月別施設利用状況　　（単位：人）

施設名	中　央	東	西	南	北	川　上	河　内	天　明	西　里	合　計
4月	1,551	1,560	924	593	1,477	2,264	1,269	389	811	10,838
5月	1,498	1,525	900	567	1,365	1,968	1,045	361	772	10,001
6月	1,541	1,540	731	604	1,356	1,948	1,005	367	790	9,882
7月	1,583	1,593	807	629	1,504	1,953	1,062	356	725	10,212
8月	1,521	1,649	793	576	1,520	1,918	1,093	293	685	10,048
9月	1,428	1,475	776	506	1,335	1,877	830	307	676	9,210
10 月	1,513	1,632	942	633	1,633	2,128	1,028	354	797	10,660
11 月	1,440	1,787	803	793	1,439	1,236	972	351	798	9,619
12 月	1,179	1,463	679	495	1,271	1,466	840	223	736	8,352
1月	1,334	1,509	635	504	1,265	1,434	893	226	733	8,533
2月	1,330	1,481	689	525	1,254	1,639	959	223	793	8,893
3月	1,389	1,561	674	578	1,435	1,778	1,064	381	855	9,715
合　計	17,307	18,775	9,353	7,003	16,854	21,609	12,060	3,831	9,171	115,963
開館日数	292 日	292 日	292 日	292 日	292 日	292 日	292 日	292 日	292 日	2,628 日
1 日平均	59 人	64 人	32 人	24 人	58 人	74 人	41 人	13 人	31 人	44 人

３．月別浴場利用状況　　（単位：人）

施設名	中　央	東	西	南	北	川　上	河　内	天　明	西　里	合　計
4月	317	459	204	134	112	2,179	1,154	258	226	5,043
5月	261	405	175	101	102	1,182	1,028	246	215	3,715
6月	277	399	177	124	99	1,860	981	258	227	4,402
7月	244	431	196	127	98	1,843	1,013	250	180	4,382
8月	251	387	169	114	98	1,834	996	205	156	4,210
9月	244	370	152	91	71	1,774	781	218	168	3,869
10 月	263	439	158	123	92	2,017	965	234	223	4,514
11 月	266	432	162	122	108	※873	955	228	239	3,385
12 月	237	425	159	134	91	1,396	802	24	241	3,509
1月	257	453	148	136	89	1,306	884	※0	224	3,497
2月	245	501	194	134	107	1,525	932	※0	221	3,859
3月	264	485	170	163	101	1,616	1,034	232	255	4,320
合　計	3,126	5,186	2,064	1,503	1,168	19,405	11,525	2,153	2,575	48,705
利用料	浴場利用者数　×100円									

※天明老人・・・浴室改修工事の為入浴サービスが休止したもの

※川上老人・・・温泉がでなくなり上水道使用による入浴サービスとなる

Ⅳ　生きがいと創造の事業

講座名	曜　日(原則)	時　　間	実施回数	場　　所
手　芸	第1･3火	10:00～12:00	24回	中央老人福祉センター
園　芸	第2･4金	9:30～11:30	24回	北老人福祉センター

介護予防施設
（お達者文化会館・南部万年青会館・東部はつらつ交流会館）

Ⅰ　施設運営の状況

（１）２５年度の取り組み

①健康増進及び生きがいづくりに係る活動支援及び広報活動について

◇　学習講座・体操講座に於いて、特に自主講座に関しては、広報活動に力を入れ、ポスター等の掲示やホームページ上での定期的な案内等を通して、利用の促進を図りました。

◇　南部万年青会館の料理教室では、年１２回の開催に対し、３４２名（月平均２９名）の受講があり、特に魚を使った料理に人気がありました。

②　介護知識、介護方法等の普及について

◇　法人が運営する居宅介護支援事業所・デイサービスセンター・訪問介護事業所等との連携を強化し、介護や健康等についての相談会を実施し、皆様の健康増進とより豊かな暮らしを支援することで、要介護状態となることを予防し、参加者の介護に関する理解をより一層深める事に繋がりました。

◇　近隣の地域包括支援センターや関係機関との連携を密にし、各種相談体制の強化を図り一層の相互理解を図ることが出来ました。

③　ボランティア活動の促進について

◇　本年度〝手話教室・手話ダンス教室等〟を３施設共通して開催しました。

◇　法人が運営する施設等で行うボランティア教室を利用して、ボランティアへの知識や経験を深め、そのグループや地域でのボランティア活動を支援しました。

◇　施設内掲示やホームページ等を利用して、ボランティアに関する情報を公開することで、潜在的なニーズを掘り起こし、情報の共有化を図りました。

④　地域交流及び世代間交流の推進について

◇　文化祭や各種イベントを実施し、各講座間との交流や地域との交流、更には世代間の交流として、園児とのふれあいも深まった笑顔あふれる貴重な交流会でした。

◇　各施設において環境ボランティア教室に取り組み、地域の景観向上や地球環境保護についての知識や身近な環境活動の推進等、進めて参りました。具体的には花壇作りや建物周辺の清掃。エコ教室の実践により、地域社会にとけ込み、貢献することで、やり甲斐や生き甲斐の実感できた取り組みとなりました。

⑤　健康遊歩道を使用する事業について

地域交流セミナーの一環として健康増進の活動を実施して参りました。専任講師による〝素足で歩行〟しながらの足つぼ健康法の体験等、大変好評でした。

⑥　利用者アンケートの活用について

施設運営や利用状況に関するアンケートを実施しました。広々としたスペース・居心地の良さ・楽しく勉強出来ている声。一方、清掃や駐車スペースの要望有り。即是正した点や、改善へ向けての取り組みで、より快適に利用ができるよう環境整備等につなげました。

⑦　自主事業の実施について

恒例のイベント事業に位置づけされた「合同カラオケ大会」を、本年度もさらに介護予防３施設も参加頂きました。応援する家族の参加もあり、利用者の生きがいづくりや施設間交流の場となり大盛況でした。

（２）２５年度の成果

①　指定管理モニタリングにおける施設の運営・管理面の指摘事項は特になく、目標のとおり、指摘事項ゼロを達成できました。

②　法人内施設の協力のもと、目標のとおり、定期的に介護や健康相談を実施することができました。

Ⅱ　事業概要

１．平成２５年度　多目的ホール等利用状況　（単位：人）

月	お達者文化会館	南部万年青会館	東部はつらつ交流会館
4月	１，０４５	１，１０７	１，１６２
5月	１，０５４	１，２６６	１，２５３
6月	１，０９１	１，１１０	１，２７６
7月	１，０６３	１，４８８	１，１４９
8月	１，００４	１，０８５	１，２２０
9月	１，０２８	１，３１５	１，４３６
１０月	１，１９１	３，３２０	１，３４４
１１月	１，１８８	１，１１０	１，２２９
１２月	９０７	９９１	９６４
1月	９１４	８０１	９５８
2月	９５６	１，２３９	１，０８６
3月	１，１８９	１，２８３	９８２
合　計	１２，６３０	１６，１１５	１４，０５９

２．年度別多目的ホール等利用推移　（単位；人）

施設名	２２年度	２３年度	２４年度	２５年度
お達者文化会館	１３，４８０	１０，８８３	１１，６３９	１２，６３０
南部万年青会館	１５，８６７	１６，１６４	１５，０５１	１６，１１５
東部はつらつ交流会館	１３，１１６	１３，７５４	１３，７０６	１４，０５９

３．市指定事業実施状況

市指定事業	お達者文化会館	南部万年青会館	東部はつらつ 交流会館
１．学習講座	気功法 生活健康法 書道	フラワーデザイン ビーズアクセサリー 英会話・ 書道・民謡 着物着付けとマナー 手描き染め	足ツボ健康法 フラワーアレンジメント教室
２．体操教室	民族舞踊 健康ｴｱﾛﾋﾞｸｽ 健康体操 太極拳・ﾖｶﾞ	フラダンス 太極拳・ﾖｶﾞ 健康ダンス 社交ダンス	初めてのヨガ フラダンス・太極拳 寝たきり予防体操 花架拳・3B 体操
３．料理教室		料理教室	
４．各種相談事業	健康相談	行政相談	健康相談 介護相談
５．講演会	高齢者健康法	こうのとりのゆりかご　田尻看護部長	地域交流セミナー
６．実習講座	救急法講座	茶道、華道実習会 AED 取扱講習 正月生花づくり教室 魚料理教室	郷土芸能、民謡・尺八 救急法講座・ｵｶﾘﾅ カラオケ教室 フラワーアレジメント
７．介護ボランティア教室		川尻いきいきサロン	口腔ケア・健康相談
８．点字・手話教室	手話講座	手話教室	手話ダンス
９．文化祭	活動グループ発表展示	学習発表会	あきつ文化のつどい ハンドベルコンサート
10．各種イベント	みんなで歌いましょう 合同カラオケ大会	合同カラオケ大会 クリスマス会 新年会 万年青お別れ演舞会	合同カラオケ大会 サントリービール工場 植物園見学・夏祭り もちつき大会 園児とのクリスマス会
11．環境ボランティア教室	花壇づくり教室	一斉清掃活動 周辺清掃	エコ教室 段ボールコンポスト
12．健康遊歩道を使用する事業	遊歩道ﾚｸﾁｬｰ 足ツボ健康教室		足ツボ健康教室

訪問介護事業所

1．訪問介護事業

（1） H25 年度の取り組み

- 前年度の組織改革で新たに設けた職責のステーション所長も 2 年目に入り、ステーション内のマネジメントに加え、居宅介護支援事業所をはじめとした関係機関への営業・広報活動を継続的に行い、新規のご利用者を獲得してまいりました。
  また、平成 26 年度の自立化にむけて、7 ヶ所の訪問介護ステーションでは引き続き 24 時間年中無休のサービスと良質なサービスの提供を実施し、各拠点で収支均衡のとれた事業運営を行いました。

（2） 営業・広報体制の確立と各事業との連携

- 各エリアにおいて、同法人の居宅介護支援事業所をはじめ、デイサービスや養護老人ホームと連携を図り、チラシを作成した上で計画的に営業、広報活動を実施し、新規のご利用者増を目指しました。
- 24 時間 365 日営業の推進とともに､お急ぎの派遣依頼で担当チームが対応できない場合でも、「即時対応チーム」よりヘルパーを派遣し、迅速かつ柔軟にご利用者のニーズに対応いたしました。
- 花園及び北部訪問介護ステーションでは、認知度を高める為に自治会等の祭りや行事に積極的に協力、参加し地域に根差した事業展開に取り組みました。
- 東部地域においては「実践介護」と題し、ケーブルテレビで介護技術をわかりやすく放映するとともに、訪問介護の広報活動を行いました。
- 営業、広報活動の一環で、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターのケアマネージャーを法人の施設に招き、ヘルパーが調理を行いそれを試食していただく企画「ザ☆ヘルパーランチ」を実施しました。参加されたケアマネージャーからはご好評いただき、新規のご利用者獲得へつながりました。
- 広報誌を年 3 回発行し、居宅介護支援事業所・地域包括支援センターを中心に、医療機関やご利用者へも情報の発信を行ってきました。
- 法人内の養護老人ホームやデイサービス、居宅介護支援事業所等と定期的に会議を開催し、各々の事業の情報を共有化しご利用者のサービス満足度が高まる取り組みを実施してきました。

（3） ヘルパーの確保と研修の強化

- ホームヘルパー2 級の資格は介護職員初任者研修へと変わり、その養成機関として県の指定を受けました。実施方法につきましては、これまでの日中の通学型であったものを、通信課程とし開講時間は夜間に実施しました。その結果、10 名養成し、うち 3 名を採用しました。
- 母子福祉センターで実施された養成研修修了者からは、2 名を採用しました。
- ハローワークや新聞、各養成機関へ求人を行い、ヘルパーの確保に取り組みました。
- 法人のスケールメリットを活かし、他部署の職員からヘルパーを紹介してもらうキャンペーンを実施し、3 名のヘルパーを確保しました。
- 社会情勢や各種の制度の動向などを学習する場として、ヘルパー協議会の研修等に積極的に参加しました。
- 障がい者ネットワーク会議の参加により、障がい者の事業者団体との意見交換や交流を図り質の向上に努めました。

（4） 特定事業所加算取得

- 計画的な研修の実施と、技術指導を目的とした会議を定期的に開催し、加算の取得要件を充たす取り組みを継続いたしました。

（5） 各事業の推進

- 24 時間巡回型ホームヘルプサービスでは滞在型との情報を共有化し、効率的なサービス調整を実施してきました。
- 有料ホームヘルプサービスでは、介護保険制度で非該当になられた方や、制度内では対応できない範囲でも自立支援の観点からサービスを提供しました。

２．訪問入浴事業

- 訪問入浴事業では、居宅介護支援事業所や病院へ出向き営業、広報活動を行いました。また、障がい者の特別支援学校へ出向き保護者の方々に実際の訪問入浴の浴槽をご覧いただき訪問入浴事業の説明を行いました。
- 新規のご利用者数については、前年度程の増加には至りませんでしたが、継続且つ安定したご利用により、延べ回数が増加し実績は向上しています。

３．取り組みについて

	目標	項目	概要
1	営業、広報体制の確立と各事業との連携	訪問介護における営業方針、計画の策定 [実施]	法人外居宅、包括へ利用状況報告を持参し、定期訪問しました。
		定期的な営業結果分析による営業計画の策定 [実施]	実績による営業結果分析を行い、営業強化エリアを設定し、営業計画を修正、策定しました。
		広報紙の定期発行 [実施]	年間３回発行し、利用者・関係機関に配布し、情報の発信を行いました。
		法人内事業との連携 [実施]	居宅介護支援、地域包括、デイサービスとの定期的な連絡会を行ないました。
		高齢者入居施設の利用者の確保 [実施]	法人内養護老人ホームとの定期的な会議を行い訪問介護の新規ご利用者を獲得しました。
2	ヘルパーの確保と研修の強化	パートヘルパーの安定的な確保 [実施]	介護職員初任者研修通信講座を実施しました。ヘルパーキャンペーンを実施しました。
		ヘルパーの質の向上 [実施]	内外の研修会参加により、ヘルパーの資質向上をめざしました。
3	各事業の推進	特定事業所加算取得の実施 [実施]	特定事業所加算取得を実施しました。
		資格取得のバックアップ体制の整備 [実施]	介護福祉士等の資格取得ための助成制度を創設しました。
		研修内容の充実と体制の確立 [実施]	医療関係の研修会、専門性を高める研修等への参加による質の高いサービスを内外にアピールしました。

４．平成２５年度事業実績

（１）訪問介護事業

「年間利用者数等比較」

		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
介護保険	利用者数	8,847	8,524	8,909	9,044	9,369
	利用時間数	125,943	114,793	113,036	97,274	96,518
	収入（千円）	321,514	312,276	312,832	312,993	319,833
障害者総合支援法	利用者数	3,098	2,974	3,024	2,807	2,878
	利用時間数	48,009	43,895	43,039	41,050	40,317
	収入（千円）	103,889	102,197	101,386	95,744	103,759
委託事業	利用者数	204	176	140	100	115
	利用時間数	1,367	1,184	1103	752	845
	収入（千円）	3,547	2,784	2,264	1,470	1,657

有料ホームヘルプ事業	利用者数	857	775	727	1,010	885
	利用時間数	5,507	4,767	3,821	4,787	3,656
	収入（千円）	9,321	9,302	7,966	8,851	6,493
合計	利用者数	13,006	12,449	12,800	12,961	13,247
	利用時間数	180,826	164,639	161,001	143,863	141,336
	収入（千円）	438,271	426,559	424,448	419,061	431,744

前年度は、障がいのサービスが大きく減収し、全体的な収入に影響を与えましたが、本年度は営業、広報活動に加え、日ごろのサービスを通して信頼を築いてきた事が実を結び、前年度以上にご利用者を獲得し、増収を得る事ができました。

介護保険のご利用者も前年度以上に増加し、全体的には約 3%の増収となり好転の傾向にあります。

24 時間巡回型ホームヘルプサービスについては、ご利用されている対象が重度な為お一人あたりのサービス量が多い一方で、入院や廃止となると収入が激減してしまう事があるので、その場合は滞在型と連携を図り、収支均衡のとれた運営を行いました。

（2）「25 年度目標数値の達成度」

	延べ利用時間数
目標値	１５２，６５２
実績	１４１，３３６
増加率（%）	９２．５%

（3）「在席ヘルパーの 5 年間の推移」

	21 年度		22 年度		23 年度		24 年度		25 年度	
	ＰＨ	ＧＨ	ＰＨ	ＧＨ	ＰＨ	ＧＨ	ＰＨ	ＧＨ	ＰＨ	ＧＨ
当初契約者	193	31	176	29	168	21	168	20	176	18
年度内退職者	17	2	5	2	16	6	27	1	25	0
新規採用者	7	1	6	4	16	4	31	1	15	1
年度末契約者	183	30	177	31	168	19	172	20	166	19

＊　ＰＨ：パートヘルパー　　ＧＨ：ガイドヘルパー

（4）訪問入浴介護事業所

「年間利用数比較」

	21 年度		22 年度		23 年度		24 年度		25 年度	
	件　数(件)	回　数（回）	件　数(件)	回　数（回）	件　数(件)	回　数（回）	件　数(件)	回　数（回）	件　数(件)	回　数（回）
介護保険	209	1,096	181	923	169	750	173	904	189	1,111
障害者自立支援	36	215	36	251	35	243	38	264	47	324
合計	245	1,311	217	1,174	204	993	211	1,168	236	1,435

訪問入浴介護は、重度の要介護者やターミナルケアの方々なので、より専門性の高いスキルが求められる中、関わるスタッフがご利用者お一人おひとりのニーズに対応し、QOL を高める取り組みを実践する事でご利用者からの信頼を得てまいりました。

中央在宅福祉センター

Ⅰ　施設運営の状況

１．　平成２５年度の取り組み

（１）　広報活動と地域交流の強化

① 広報誌“わが家”で　中央在宅５事業所（デイ・居宅・訪問介護・訪問入浴・貸館）の取り組みを掲載し　地域の民生委員・自治会・校区社協コミュニティセンター等への配布・町内回覧とともに、包括支援センター・居宅介護支援事業所への利用状況報告の際、配布し広報に努めました。

② “中央在宅デイサービスだより”で行事の報告・紹介や健康衛生面の呼びかけ・防犯面の注意等話題を取り混ぜながら、毎月利用者及びそのご家族に活動状況をお知らせしました。

③ 地域との連携の一環として自治会・民生委員会・校区社協会議等に積極的に出席しました。

④ 地域交流行事の開催と地域行事への積極的参加を行い、地域交流の強化に努めました。

○地域の実行委員会・事業所等と共催し地域交流事業を開催しました。

「中央在宅夏まつり」は地域住民参加型として定着し、地域住民をはじめ 600 名を超える方々の参加があり、盛大なものとなりました。

歳末餅つき大会もデイのご利用者・地域の方々・近隣の保育園児と幅広い層で力を合わせてとり行いました。

老人センターの出前介護相談窓口開催を毎月行いました。行事（カラオケ大会・花見・ゲーム大会など）に参加したり、デイサービス体験会を開催しました。

壺川校区住民主催のいきいきサロンにも毎月参加し、健康保持やゲーム等ささえりあ熊本中央と協賛して行いました。

男子厨房クラブ（年 2 回）を開催し、地域住民の福祉活動及び交流活動の推進を行いました。

○壺川校区ふれあい農園の収穫祭、ふれあい夏祭り準備、地域や小学校行事等に積極的に参加し、地域交流強化に努めました。

（２）　魅力的で特色のある事業展開

① 機能訓練の充実を図りました。

事業団理学療法士の研修を恒常的に施設の看護師をはじめ相談員・介助員が受け、３か月ごとに全利用者の身体機能測定を行い、各々の方々のリハビリメニューカードを作成し、機能訓練の実施に努めました。また日々の記録と評価を各月の利用状況報告に反映し、ケアマネージャーへのフィードバックに活かしました。

② 維持改善率の向上に取り組みました。

希望者の方々への学習療法の実施に加え、全体レクリエーションの際に回想法や音楽療法、言葉遊び等を取り入れ、認知症の維持改善を図りました。

地域交流スペース利用の３Ｂ健康体操教室の方々と馴染みある歌に合わせて、ボール・ベル・ベルターの道具を使用した心身リラックス運動等を行ったり、リラクゼーションマッサージの実施によって利用者の基礎体力の維持や健康づくりを図りました。

通年実施している口腔ケアに加え、来られた際のお茶うがいを冬期だけでなく通年実施することによって日常生活機能の維持・向上を図りＱＯＬを高める取り組みを致しました。

これらの成果として維持改善率 88.4%を達成しました。

③ 満足度調査を実施しました。

アンケートを年 2 回実施し、利用者・家族のニーズ把握改善に努め、ニーズに応じたサービス提供につとめました。

（３）　各関係機関との連携や職員の資質向上につとめました。

① 毎月実施の中央在宅施設運営会議（デイ　包括　居宅　訪問介護）をはじめエリア会議（養護　デイ　訪問介護　居宅　包括）を定期的に実施することで法人内事業所との連携強化につとめるとともに、自治会　民生委員等　３校区社協（壺川　黒髪　碩台）医療機関との連携会議への出席や壺川校区いきいきサロンへの毎月参加など、地域との連携強化にも努めました。

② 職員の資質の向上に向けた毎月の内部研修の開催、外部研修に参加の折は、その後の着実な伝達研修を実施しました。

２．２５年度の成果目標

（1）下記項目に取り組むことで　２５度の稼働率は８４．４％でした。

ア．地域広報誌については　目標の年４回発行しました。

イ．地域交流事業については、下記（2）のとおり実施しました。

ウ．維持改善事業については、目標どおり取り組みました。

エ．介護度の維持改善率は、８８．４％で目標の８０％を達成しました。

オ.25 年度の利用者満足度アンケート(年度２回)は、前年度同様の満足度９０％以上でした。

カ．施設間連絡会を毎月実施しました。

キ．介護福祉士の確保は、目標４０％以上を達成しました。

（2）地域交流事業

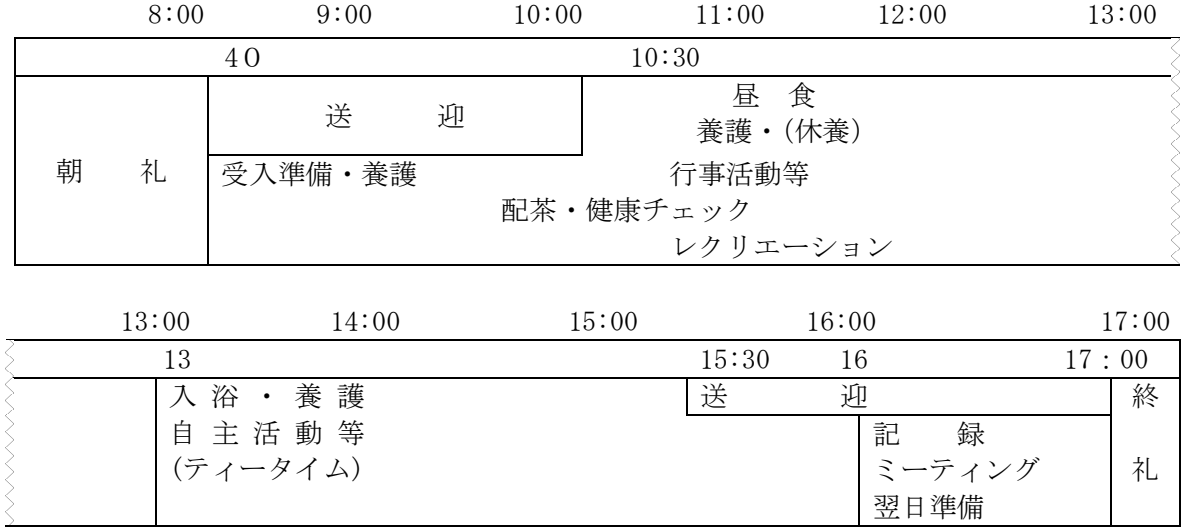
事業名	頻度	取り組み内容
介護・ふくし相談	随時	中央在宅の相談員及び居宅介護支援事業所の介護支援専門員（CM）による介護・ふくし相談を実施（38 件）
出前介護相談	月１回	中央在宅職員による出前介護相談を実施　（37 回）
地域活動実行委員会	３回	地域交流事業開催時（7 月、8 月、9 月実施）
中央在宅夏祭り（主催）	年１回	地域住民参加型の祭り実施(8 月、参加者 600 名）
歳末もちつき大会	年１回	地域住民参加型のもちつき大会実施（12 月）
友愛会保育園運動会	年１回	近隣の保育園の運動会に参加し、地域住民と交流を深めた（9 月）
男子厨房クラブ	年２回	料理教室を通して、住民の福祉活動及び交流活動の推進を行った（６月、３月）
いきいきサロン（壺川校区）	毎月	壺川校区のサロン活動を支援し、6 月と 3 月は中央在宅で開催。
生活安全教室	年１回	自治会・防犯協会と連携し啓発活動に参加(2 月）
まちづくり推進委員会活動支援	年４回	ふれあい農園収穫祭(年 3 回)やふれあい夏祭り、お月見会等に参加（6、8、10、11）
壺川校区高齢者推進委員会	開催時	委員として参加し、企画実施を協働（7 月）
3 校区社協月曜会	年３回	地域のネットワーク作りの推進活動を行った（7 月、11 月、3 月）
壺川小学校行事への参加	年５回	入学・卒業式、運動会、学習発表会等ネットワーク作りの一環として参加（4 月、5 月、10 月、11 月、3 月）
壺川校区コミュニティーセンター文化祭協賛	年１回	文化祭へ協賛し相談窓口を開設（10 月）
介護者教室	年２回	地域住民、デイご利用者家族を対象とし開催（6 月、10 月）
育児サークル活動支援とふれあい交流会	年２回	行事開催時協力と高齢者との世代間交流会を定期的に実施（5 月、9 月）
歳末もちつき交流会	年１回	近隣の保育園を招待し高齢者との世代間交流事業として実施（12 月）
小中学校介護体験	2 回	壺川小、竜南中等近隣の学校の介護体験・交流を実施（7 月、9 月）
障がい者支援・交流会	年２回	視覚障がい者社交ダンスクラブとデイご利用者との交流（8 月、3 月）

（3）貸し館目標利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
多目的ホール	979	1,199	1,289	1,146	968	1,123	1,167	902	1,086	835	439	1,076	12,209
和室	395	300	271	293	225	264	225	311	609	301	182	453	3,829
調理室	7	5	69	0	20	4	4	50	235	0	26	81	501
合計	1,381	1,504	1,629	1,439	1,213	1,391	1,396	1,263	1,930	1,136	647	1,610	16,539

空調工事に伴い 2/3～2/15 の間　貸館が休館となったため、2 月の利用者数が他月の半数となった。

○　デイリープログラム



Ⅱ　主要行事

月	生活行事	給食行事	定例行事	実習・交流・事業等
4	ペットボトルボウリング つつじ狩りドライブ	お花見弁当	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・　友愛会保育園交流会 ・　寺原保育園交流会
5	菖蒲湯 母の日 ゲートボーリング 風船バレー	節句膳	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・　友愛会保育園交流会
6	父の日 運動機能測定		誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・　寺原保育園交流会 ・　介護者教室（口腔ケア） ・　友愛会保育園交流会
7	七夕祭 魚釣り大会	七夕膳 土用うなぎ膳	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・　友愛会保育園交流会
8	夏祭り 甲子園応援		誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・　熊本学園大学社会福祉学部 （ソーシャルワーク実習及び 社会福祉援助技術現場実習） ・　介護体験（熊本大学・熊本学園大学） ・　友愛会保育園交流会
9	敬老祝賀週間 運動機能測定	敬老祝膳	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・　熊本学園大学社会福祉学部 （ソーシャルワーク実習及び ・　社会福祉援助技術現場実習） ・　竜南中ナイストライ（職場体験）
10	大運動会	運動会弁当	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・　介護者教室（口腔ケア） ・　寺原保育園交流会
11	文化週間 ゲーム大会 お菓子作り 防災・避難訓練		誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・　坪井幼稚園交流会 ・　友愛会保育園交流会

12	クリスマス会・忘年会 運動機能測定 ゆず湯 歳末もちつき大会	クリスマス料理 冬至料理 年越しそば	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・　友愛会保育園交流会
1	初詣（護国神社） 中央在宅神社参拝 初笑い	お正月寿料理 七草粥	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・　友愛会保育園交流会
2	節分（豆まき） 観梅		誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	・　友愛会保育園交流会 ・　寺原保育園交流会
3	ひな祭り 防災・避難訓練 運動機能測定 花見	おひなさま膳 お花見弁当	誕生会・体重測定 行事選択 リハ体操	
毎月	誕生会 （３Ｂ健康体操、リラクゼーションマッサージ）	誕生会膳		
隔月				《ボランティア》ﾌﾙｰﾄ演奏、ｵｶﾘﾅ演奏 大正琴、手話ダンス、手品、ギター演奏 社交ダンス　、ひょっとこ、他１０団体

Ⅲ　利用者の状況（平成２５年度）

1　月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
23年度	694	675	655	624	675	657	676	664	642	606	617	684	7,869
24年度	654	708	674	670	670	644	753	698	626	589	598	636	7,943
25年度	698	719	631	712	714	666	651	618	630	595	544	598	7,776

2　介護度別利用状況　（69人）　　（平成２６年３月３１日現在）

要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
15	12	21	11	8	2	0	69

3　居宅別利用状況　（69人）

事業団居宅	リデルホーム	聖母の丘	しょうぶ苑
４１	1	1	1
包括・中央	包括・井芹	包括･清水高平	包括・浄行寺
１７	5	2	1

4　複数回利用状況　（69人）

1　回	2　回	3　回	4　回	5　回	6　回	**計**
22	18	21	5	3	0	69

5　在宅サービス利用状況　（６９人）＊複数回答

中央デイのみ利用	認知症デイ	通所リハ	訪問介護（ﾍﾙﾊﾟｰ）	訪問看護	福祉用具貸　与	短期入所	他のデイと併用	訪問リハ	介護ﾀｸｼｰ
19	0	0	33	0	28	6	5	0	6

Ⅳ　職員研修

4 月 16 日	プライバシー保護について	中央在宅福祉センター
5 月 20 日	機能訓練「ご利用者の観察ポイントについて」	中央在宅福祉センター
6 月 18 日	すぐ現場で使える効果的な介護予防運動	ユースピア熊本
6 月 18 日	高齢者の尊厳と介護倫理	中央在宅福祉センター
8 月 1 日	老人福祉施設通所介護部会研修会	熊本交通センターホテル
9 月 17 日	接遇について	中央在宅福祉センター
10 月 3 日～4 日	全社協九州ブロック職員研修会	熊本テルサ
11 月 7 日	リスクマネジメント研修	損保ｼﾞｬﾊﾟﾝﾋﾞﾙ
11 月 11 日	WEB 活用セミナー	母子福祉センター
11 月 13 日	防災・消防に関する研修	中央在宅福祉センター
11 月 14 日	未曾有の激震・介護保険制度改正	パレア
11 月 19 日	冬期感染症に関する研修	中央在宅福祉センター
11 月 26 日	他事業所視察	夢のみずうみ村
12 月 4 日	他事業所視察	めろん・ふくまる・なじみ・フォレスト熊本
1 月 16 日	通所介護部会セミナー	ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾊｲｱｯﾄ福岡
1 月 22 日	経営者、施設長、管理者対象セミナー	パレア
1 月 27 日	安全運転講習（1/27）	事業団　平成事務所
2 月 5 日	熊本県老人保健施設大会「質の高いサービスとは？－リスクマネジメントの観点から－」	熊本テルサ
2 月 5 日	他事業所視察	夢のみずうみ村
2 月 18 日	介護保険制度改正の開設と対応策	男女共同参画センターはあもにい

Ⅴ　介護度改善状況（69名中）

① 年齢構成

年齢	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～
人数	3	3	7	16	23	14	4	0

② センターにおける介護度の維持・改善状況（　69名中）

利用者の介護度の維持・改善者数	利用者の介護度の維持・改善率
61人	８８．4%

中央居宅介護支援事業所

（1）25 年度の取り組み

①ヘルパーステーションとの連携により、新規利用者獲得に向けて地域老人会等に参加し広報 PR を行い相談件数が増加しました。

北部ヘルパーステーションにおいては担当ケアマネージャーを配置し、ステーションとの協働で営業を行い年間介護予防 2 件、介護 1 件の新規利用者を獲得することができました。

花園ステーションにおいては、明生園入所者の方の生活環境変化に伴う日常生活動作の向上や生活の質の向上を目標に、円滑なサービス利用向上に努めました。

②ケアマネージャーにおいては経験年数毎に段階的な目標を設定し、指導・教育に努め、主任介護支援専門員を１名養成することができました。主任介護支援専門員を中心に、研修計画を立案し居宅介護支援事業所内の資質向上に努めることができました。

③管轄の包括支援センターと協力することや、周辺の包括支援センターとの連携を行うことで、居宅介護支援事業所の認知度がアップし、新規利用者を獲得することができました。

④相談事業については圏域の老人センターと協力し、介護相談会やセミナーを行うことで介護予防事業に貢献することができました。

（2）25 年度の成果目標

①年間介護サービス計画依頼数については下記のとおりです。

①．介護サービス計画依頼数について。

介護サービス計画依頼数状況（２５年４月～２６年３月）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件	**214**	**221**	**224**	**226**	**226**	**235**	**239**	**226**	**223**	**217**	**214**	**210**	**2675**
前年	205	204	215	217	219	221	228	226	218	209	208	215	2585
	＋9	＋17	＋9	＋9	＋7	＋14	＋11	±0	＋5	＋8	＋6	－5	＋90

２．介護予防プラン受託・管理数について

介護予防プラン受託・管理数状況（２５年４月～２６年３月）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件	**23**	**23**	**24**	**24**	**25**	**27**	**27**	**30**	**28**	**27**	**26**	**27**	**311**
前年	22	23	21	23	25	22	24	25	24	25	23	24	281
	＋1	±0	＋3	＋1	±0	＋5	＋3	＋5	＋4	＋2	＋3	＋3	＋30

３．サービス利用状況

平成 26 年 3 月中のサービス利用状況

	サービス内容	今年度	前年度
1	通所介護(ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ)	133	138
2	通所リハビリ(ﾃﾞｲｹｱ)	20	24
3	訪問介護(ﾍﾙﾊﾟｰ)	164	165
4	短期入所	13	16
5	訪問看護(訪問リハ含む)	27	27
6	訪問入浴介護	4	2
7	福祉用具レンタル	107	97
8	福祉用具購入	2	3
9	住宅改修	2	2
合　計		472	474

４．相談事業について

主に寄せられる相談内容としては
① 申請・諸手続きに関すること　②利用できる各種サービスに関すること
③ 介護認定に関すること　　④自己負担金に関すること
⑤ 保険料徴収等に関すること　などがあります。

相談内容も介護保険に関することのみならず家族関係のことや介護ストレスや経済状態など幅広くなっており、介護支援援専門員の専門性が要求されます。また、介護支援専門員のみでは解決できないような内容の相談の場合は、行政や地域包括支援センター、医師や民生委員などそれぞれの専門家による相談することで、一人ひとりにかかる相談時間も増えつつあります。

５．職員研修について

介護支援専門員スキルアップとして介護保険におけるサービス計画作成についてアセスメント能力の向上・対人援助技術向上に努めました。

(1)内部研修
◎毎月の職員会議や、ミーティング時などを利用してのケース検討
◎短時間のワンポイント研修 4 回/開催
◎事例検討会　1 回/月

(2)外部研修

期　日	会議・研修名
平成 25 年 4/6・4/7・4/13	熊本県介護支援専門員基礎研修
平成 25 年 4/19・5/10	第３回主治医と介護専門員の連携セミナー
平成 25 年 9 月 13 日	熊本市事業者協議会ステップアップ研修Ⅰ
平成 25 年 9 月 19 日	熊本市事業者協議会ステップアップ研修Ⅱ
平成 25 年 11 月 14 日	熊本市事業者協議会ステップアップ研修Ⅲ
平成 26 年 1 月 30 日	介護予防ケアマネジメント研修

熊本市長寿の里デイサービスセンター

Ⅰ．施設運営の状況

（1）２５年度の取り組み

①広報活動と地域交流の強化

ア　広報誌の発行とホームページの有効活用強化

・長寿の里通信では、写真を中心に長寿の里の取り組みをわかりやすく掲載し、地域回覧及び関係機関へ配布しました。また、ホームページでは、らくしゅう式機能訓練や活動、介護保険等の最新情報を毎月掲載するなど広報の強化に努めました。

イ　地域交流事業の開催

・「長寿の里夏まつり」では地元城山校区（薬師サポーターズ）等の協力を戴き、近隣保育園の太鼓や中学校の吹奏楽演奏、ボランティアの皆さんとの交流等、地域に根ざした交流事業として開催しました。当日は大雨にもかかわらず、３００名を超える来場者がありました。

・ジュニアボランティア育成事業として、近隣の小学生を対象とした「わくわくサマーキャンプ（１泊２日)」を実施し、９名の参加がありました。

・世代間交流事業として、薬師・半田子供会との連携を図り、お菓子作り教室を通しての交流会を開催しました。

ウ　地域団体との連携

・野中校区や高橋校区等で、予防教室（らくしゅう式機能訓練を中心とした）を開催し、地域との連携強化を図りました。

・広報誌を活用する等積極的にボランティア募集を行うと共にスマイルクラブ登録者の増を図りました。(平成２５年度新規登録：１０）

②魅力的で特色ある事業展開

ア　維持改善率の維持向上の取り組み

・認知症予防、改善の取り組みとして行っている、らくしゅう式機能訓練では、全体での取り組みに加え、希望者には個別対応でのプログラムを作成し、個々にあった取り組みを実施しました。今後は個別データを蓄積し、評価方法を検討します。

イ　利用者ニーズの把握、満足度向上の取り組み

・サークル活動（料理、生花）やヨガ教室、書道教室などを開催し、利用者の自主性を尊重しながら、生きがい作りと利用者相互の交流、親睦を深めました。

・夢叶えるプロジェクトでは、買い物や外食など希望者を募り、３０回実施しました。

③関係事業所との連携強化と職員の資質向上

・居宅、包括への定期訪問や包括主催の「予防教室」協力、地域ケア会議、連絡会参加等により連携強化に努めました。

・他事業所（通所介護）実習を全職員実施し、自立支援に向けたプログラムの見直しを検討しました。

（2）２５年度の成果目標

・２５年度利用率（目標値６０％）　　６０．７％達成

・利用満足度向上（年２回アンケート実施）９０％　　８４．０％未達成

・介護福祉士の安定的確保（介護職員の４０％以上）　４７．０％達成

・介護度改善率（８０％以上）　１００％達成

３．デイリープログラム

<table>
<tr><td>8:30
ラジオ体操
朝礼</td><td>8:45
送　　迎
受け入れ準備・養護・配茶
健康チェック</td><td>10:00
イージーキューブ</td><td>11:00
選択活動
（らくしゅう式機能訓練）
個別リハ・介護予防運動</td><td>12:00
お口の体操</td><td>昼食
養護休養等</td></tr>
</table>

13:00	14:00	14:20	15:00	16:30	17:15

入浴・養護 選択活動等	おやつの時間	選択活動 （らくしゅう式機能訓練）	送　迎 （養護）	反省会	終礼・休息
			ケア記録 翌日準備		

Ⅱ．主要行事

月	生活行事	視察・交流事業等
4	花見	・南部在宅予防教室 ・高橋校区鯉のぼり準備
5	母の日　しょうぶ湯	・河内老人センター交流会
6	父の日	・予防教室高橋はつらつクラブ ・南部在宅はつらつ教室 ・第１回介護者教室 「介護サービス利用までの流れについて」
7	七夕	・ナイストライ（花陵中） ・職業訓練センター介護基礎研修 ・第２回介護者教室「心の癒し・花遊び」
8	夏祭り	・長寿の里夏祭り ・ジュニアボランティア育成事業 「わくわくサマーキャンプ」 ・職業訓練センター介護基礎研修
9	敬老週間	・敬老週間（城山、池上、小島、中島、かおる保育園）交流会 ・ハッピーライフバイオリンボランティア等
１０	大運動会 避難訓練	・ひょっとこ(笑笑・笑う会)ボランティア等 ・第３回介護者教室「介護保険事業について」
１１	体力測定	・歌謡ショー（新さん）等
１２	餅つき　茶話会	・クリスマスコンサート等 ・第４回介護者教室「昔あそび体験」
1	初詣　正月遊び	・加勢川フラダンスボランティア等
2	節分	・天明老人センター交流会 ・介護職員養成現場実習 ・第５回介護者教室「読み聞かせ」 ・第６回介護者教室「ヨガ教室」
3	花見　散策 避難訓練	・オカリナ（ジェラード）ボランティア等

（毎月）童謡ボランティア・洗濯ボランティア・カラオケボランティア
環境美化ボランティア・ヨガボランティア・読み聞かせボランティア
書道ボランティア
（年４回）ピッカリブラザーズ
（毎月）サークル活動（料理・生花・書道・俳句）
野中校区はつらつ教室（らくしゅう式機能訓練実施）西老人センター健康相談
（隔月）薬師サポーターズ会議

Ⅲ．利用者の状況
１．月別利用者数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年度	780	764	738	759	791	791	737	712	813	734	702	926	9，247
H24年度	888	955	929	869	884	867	942	948	874	832	827	910	10，725
H25年度	872	907	906	1020	1008	950	981	996	942	907	840	897	11，226

２．要介護度別利用者数（人）　３月末現在

要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
１１	１５	３１	２５	5	6	5	９８

３．居宅介護支援事業所別利用者数（人）　３月末現在

熊本市社会福祉事業団　長寿の里居宅介護支援事業所	５４	居宅介護支援事業所白藤	1
医療法人社団昌洋会　まごころ居宅介護支援事業所	1	アースサポート熊本	1
三和荘居宅介護支援事業所	3	さくらの苑居宅介護支援事業所	2
地域介護相談センターけあまっぷ城西	2	居宅介護支援事業所　あきた	2
指定居宅介護支援事業所　たさき	1	居宅介護支援事業所ヒルサイドガーデン大樹	1
居宅介護支援事業所せいぶ	1	居宅介護支援事業所　みゆきの里	1
サンライフ長嶺	1	九州記念病院	1
熊本市西１地域包括支援センター　三和	１３	熊本市南２地域包括支援センター　平成	4
熊本市西３地域包括支援センター　花陵	6	熊本市南３地域包括支援センター　熊本南	1
熊本市西５地域包括支援センター　熊本西	1	熊本市南４地域包括支援センター　飽田	1

４.複数回利用状況（人）　３月末現在

週１回	週２回	週３回	週４回	週５回	週６回	計
１６	３２	３６	2	5	7	９８

Ⅳ．職員研修

６月１８日 ～28 日	熊本県認知症介護研修（実践者研修第１回）	熊本県
７月１８日	施設職員のための介護記録の正しい書き方	福祉と介護研究所
７月３０日	内部施設実習（西里デイサービス）	長寿の里
８月１９日	顧客満足度を高めるための接遇研修	三井住友海上火災保険（株）
９月５日	第１回熊本地域リハビリテーション広域支援センター連絡会議	熊本地域リハビリテーション広域支援センター（青磁野病院）
９月６日	レジオネラ汚染の有効な防止策	熊本市保健所生活衛生課
９月１０日	安全運転管理者講習	熊本県公安委員会
９月２４日	内部施設実習（秋津デイサービス）	長寿の里
１０月１７日	認知症利用者のリスクマネジメント	あいおいニッセイ同和損害保険
１０月２１日	平成２５年社会福祉施設における感染対策研修会	熊本市保健所感染症対策課
平成２６年 ２月５日	利用者に喜ばれ効果を出すサービスメニューの提供	介護労働安定センター
２月５日 ～２４日	施設外外部実習「くわのみ荘」	長寿の里
３月６日	時代の先を読む　通所・老健の改革 ～施設改革のためにやるべきこと、 やめること～	介護労働安定センター
３月１８日	生きる支援	熊本県老人福祉施設協議会

Ⅴ．利用者の年齢構成と介護度の維持・改善状況

①年齢構成（９８人中）

年齢	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~
	0	2	9	１５	１８	２５	１８	１０	1

②センターにおける介護度の維持・改善状況（９８人中）

利用者の介護度の維持・改善者数	利用者の介護度の維持・改善率
９８人	１００％

長寿の里居宅介護支援事業所

Ⅰ．事業運営の状況

（1）平成 25 年度の取り組み

① 地域の拠点として地域住民に信頼されるよう努めました。

（ア） 関係事業所（デイ・訪問介護・養護老人ホーム）との連携強化に取り組み、広報・PR 活動を行い、新規利用者獲得に努めました。

（イ） 長寿の里復活プロジェクトに参加し、地域に根ざした事業所を目指しました。

（ウ） 同法人内の老人福祉センター（南・天明・河内）やスーパーマーケット（パディ）での定期相談窓口を毎月開催し、血圧測定や介護保険、認知症に関すること等、各種相談に応じ、『地域の相談所』としての役割を定着させるよう努めました。

② 利用者のニーズに対応した質の高いサービス提供のために外部研修に積極的に参加しました。また、内部研修については、毎月ワンポイント研修や困難ケースの事例検討を行い、情報の共有化や日頃の業務の振り返りを行い職員の質の向上に努めました。

③ 積極的広報活動を行うとともに関係機関との連携強化に努め、利用促進を図りました。

（ア） 効率的に地域包括支援センター・事業所・病院等へ営業を実施し、利用者アップを目指しました。

④ 認定調査の安定運営に努めました。

（ア）専任の統括責任者を配置し、事務局機能を向上させました。

（イ）安定的な認定調査員の人材確保を目指し、定期的かつ継続的な募集活動に取り組みました。

（ウ）調査業務の正確性、迅速性の向上をめざし、現任研修に加え、事業団主催の自主研修を年１回開催し、外部研修会へも年１回参加しました。

（エ）調査員に対しては、１回/２か月程度認定調査員同士の交流の場を設けるとともに、勉強会等を実施し、積極的なサポート体制を図りました。

（2）平成 25 年度の成果

１．居宅介護支援事業所のプラン件数については下記のとおりです。

① 介護サービス計画依頼について

介護サービス計画依頼数状況（２５年４月～２６年３月）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件	116	112	119	114	117	113	115	122	119	118	119	120	1,404
前年	112	106	104	103	100	101	110	112	112	117	116	117	1,310

② 介護予防プラン受託・管理数について

介護予防プラン受託・管理数状況（２５年４月～２６年３月）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件	4	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	3	43
前年	4	2	2	2	4	4	4	3	3	3	3	3	37

③ サービス利用状況

平成２６年３月中のサービス利用状況

	サービス内容	今年度	前年度
1	通所介護（ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ）	71	83
2	通所リハビリ（ﾃﾞｲｹｱ）	10	11
3	訪問介護（ﾍﾙﾊﾟｰ）	78	75
4	短期入所	6	7

5	訪問看護（訪問リハ含む）	4	8
6	訪問入浴介護	2	1
7	福祉用具レンタル	69	68
8	福祉用具購入	0	0
9	住宅改修	0	0
合　　計		240	253

④　相談事業について
　相談内容については、
　①介護保険の窓口に関する事　②ご家族の事　③認知症に関する事　④病気に関する事
　等多岐にわたっており随時対応しました。必要に応じて、包括支援センター等への情報提供を行い情報の共有化を図りました。

⑤介護予防教室・講話件数
　内部（老人福祉センター）　４件以上/月

⑥　職員研修について
　(1)内部研修
　◎全体研修会

期日	テーマ
平成２６年１月２０日	援助専門職としての接遇マナー
平成２６年２月５日	認定調査研修報告会
平成２６年２月１７日	和の郷見学

　◎毎月の職員会議やミーティング時などを利用してのケース検討
　◎短時間のワンポイント研修　１回/月開催

　(2)外部研修

期　日	会議・研修名
平成２５年５月１７日	ケアマネ連絡会　高次脳障害について
平成２５年６月２０日	地域ケア会議
平成２５年７月１１日	居宅包括連絡会議
平成２５年８月２２日	認知症研修ＢＰＳＤ対応研修
平成２５年９月１３日、１９日	熊本市事業者協議会ステップアップ研修
平成２５年１１月２０日、２１日	平成２５年度認定調査員能力向上研修会
平成２６年１月３０日	介護予防ケアマネジメント研修
平成２６年２月１８日	熊本県主任ケアマネ研修フォローアップ研修会
平成２６年３月７日	平成２５年度　日本ケアマネジメント学会・熊本県介護支援専門員協会合同研修会

平成２５年度　要介護認定調査委託業務報告

平成２１年度より、熊本市並びに他市町村から委託を受けた介護保険認定調査訪問業務を行っており、今年度の委託実績は次のとおりです。今年度は熊本市より２，２９５件の委託があり、市外についても増加傾向であり、５２１件の依頼があり随時対応しました。

【Ｈ２５年度】

専任調査員９名　　（２５年４月～２６年３月）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総計
熊本市	197	202	185	207	189	184	198	176	175	180	196	206	2,295
市外	53	45	40	31	49	49	45	33	44	35	48	49	521
合計	250	247	225	238	238	233	243	209	219	215	244	255	2,816

【Ｈ２４年度】

専任調査員９名　　（２４年４月～２５年３月）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総計
熊本市	176	198	211	195	189	202	206	194	177	200	205	205	2,358
市外	33	46	47	47	48	37	35	34	37	29	40	38	471
合計	209	244	258	242	237	239	241	228	214	229	245	243	2,829

熊本市秋津デイサービスセンター

Ⅰ　施設運営の状況

１．２５年度の取り組みについて

（１）広報活動及び地域交流の強化

①広報誌の発行（年４回）

広報誌1,200部を地域に配布し、夏祭りや餅つきの集客や施設のＰＲに効果的でした。
また、ホームページの内容を検討し、利用者や家族、ケアマネが興味を持つよう写真やイベント情報、コメントを掲載し、利用開始につなぐことができました。

②地域交流事業の開催

ア. 地域交流セミナーの開催(年３回)

口腔ケアについて（７月）、中国医療気功整体について（10月）
足つぼ健康法（2月）を利用者や家族、地域の方々に参加して頂き好評でした。

イ. 地域交流イベント（年３回）

夏祭り（8月）、ハンドベルコンサート、餅つき（12月）
地域に定着したイベントになっており、自治会や民生委員、地域住民の方たちにもボランティアとして参加していただき、夏祭りでは約４００名の来場者がありました。

③地域団体との連携・地域イベント等の参加

・ 地域自治会、民生委員会の定例会議に年３回参加し、イベント案内や広報誌の配布をして施設のＰＲに努めました。

（２）魅力あるプログラムの実施

①利用者から選ばれるデイサービスを目指して

・団塊の世代の利用者からも喜ばれるプログラムメニュー作りとカフェコーナーや憩のスペースを作り、新年度に向けて準備しました。
・利用者の自己選択・自己決定によるプログラム実施に向けて、集団レクから選択レクへ移行がスムーズにいくよう研修等により職員の意識を高めました。

②利用者や家族の満足度を高めるための取り組み

・サービス提供時間を利用者や家族の要望に合わせて、短時間（3～5時間）利用から夕食を提供し延長サービスまで対応できるようにし、利用者の定着と新規利用につながるようにしました。
・アンケート調査を年２回実施し、利用者や家族の要望を運営に反映し満足度アップに努めました。

（３）各関係事業所との連携強化

・地域事業所連絡会や研修会等を通して包括・居宅のケアマネに情報の提供をし、信頼関係を深めることができるように努めました。
・関係事業所と利用者の情報を共有し、質の高いサービスが提供できるように努めました。

（４）職員の資質向上

・『夢のみずうみ村』に職員５人を視察研修に派遣し、２７年度の介護保険改正にも対応できる、魅力あるデイサービスの将来像がイメージできるような職員の育成に努めました。
・業務全体の見直しをして、ムダを省いて効率性を高めるため職員全員で取り組みました。

２．２５年度の成果について

・２５年度利用率　74.4％
・地域広報誌の発行　年４回、地域交流事業の開催　年３回、地域交流セミナー　年３回
・維持改善事業の取り組み２５年度３事業以上。介護度の維持改善率79.7％。
・利用者満足度アンケート年２回実施。
・施設間連絡会を年３回実施
・介護福祉士の安定的確保、全職員５０％。

Ⅱ． 活動状況

1.デイリープログラム

8:30		12:00		13:00	14:30	15:00 19:30
	送　　迎 健康チェック、体操、入浴 個別機能訓練Ⅰ・Ⅱ	昼食	口腔ケア	レクレーション 個別機能訓練 Ⅰ・Ⅱ	おやつ	送迎→ 夕食・養護

2． 主要行事

月	生　活　行　事	給　食　行　事	その他
4	お花見、ショッピング 秋津公園散歩		
5	母の日 下江津湖散策	母の日膳	地域交流事業（秋津小交流会）
6	父の日 健康体操教室 夢をかなえましょう(個別外出)	父の日膳	第1回家族介護者教室 避難訓練 ナイストライ受入
7	七夕 カラオケ大会 音楽療法	七夕膳	第1回地域交流セミナー 第2回家族介護者教室 熊本市職業訓練センターヘルパー実習
8	盆踊り大会 夏祭り		地域交流事業（夏祭り） ふれあい事業―家族交流会（夏祭り） 東野中ナイストライ 高校生ワークキャンプ 済々黌勤労学生体験実習 地域交流事業（秋津小交流会） 研修（大学生）
9	敬老のつどい 彼岸花見学 飾りおろし見学	敬老祝い膳	地域交流事業・家族交流会（敬老のつどい） 食事アンケート 満足度調査
１０	スポーツレクリェーション		第2回地域交流セミナー 第3回家族介護者教室 市職業訓練センターヘルパー実習
１１	あきつ文化のつどい 紅葉見学ドライブ		避難訓練
１２	ショッピング 忘年会 クリスマス会 もちつき大会 ルーテル学院ハンドベル演奏会	クリスマス食	地域交流事業（近隣保育園児との交流会・ あきつ児童館交流会・ 東部在宅福祉センター交流会） 市職業訓練センターヘルパー実習
1	初詣 かるた取り大会 新年会	七草がゆ	第4回家族介護者教室
2	節分行事 相撲大会	豆まき膳	第3回地域交流セミナー 第5回介護者教室
3	お楽しみ会 花見ドライブ	雛祭り膳	第6回介護者教室

【毎月実施】　選択活動（書道ボランティア講師参加）、誕生会、フラワーアレンジメント教室
　　ボランティアの受入（日舞・短歌・演奏など）
【個別外出】利用者が希望した場所に職員が付き添い個別に外出する。

Ⅲ.利用者の状況

1　月別利用状況　（人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
２４年度	692	798	809	774	809	734	848	792	747	715	687	747	9152
２５年度	792	803	755	801	777	707	726	722	669	623	631	705	8711

2 介護度別利用状況　　(H26.3.31現在)

要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
11	17	35	21	16	8	6	114

3　居宅別利用状況　（人）（H26.3.31現在）

同法人		地域包括						
秋津居宅	長寿の里	ささえりあ 桜木･秋津	ささえりあ 尾ノ上	ささえりあ 江津湖	ささえりあ 富合	ささえりあ 帯山	宇城市	八代市
58	2	20	2	2	1	1	1	1
他法人居宅								
ふくし大夢	コスモピア	はぁとふる	ﾓﾝｸｰﾙの杜	南の風	ハーモニー	はなもも	ｸﾘｰﾝｺｰﾌﾟ 熊本西	九州記念病院
4	3	2	2	2	1	1	1	1
桜十字	ｼﾙﾊﾞｰﾋﾟｱ さくらぎ	早ﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ	まこと	泉ケ丘	青い鳥	ｼﾙﾊﾞｰﾗｲﾌ	セントケア	ﾘﾃﾞﾙﾎｰﾑ
1	1	1	1	1	1	1	1	1

4　複数回利用状況　（人）（H26.3.31現在）

１　回	２　回	３　回	４　回	５回	６　回	計
31	40	21	9	6	7	114

5　在宅サービス利用　（人）（H26.3.31現在）

秋津デイのみ	秋津デイ利用	通所介護 秋津以外	通所リハ	訪問介護	通院等 乗降介助	訪問看護	訪問入浴	福祉用具 貸与	短期入所
29	85	8	5	28	4	3	0	26	8

※　複数回答

Ⅳ　職員研修

月	研修名	場所
４	平成２５年度新規有機契約職員研修会 発達障がい者当事者講演会	法人本部２階会議室 希望荘
５	「難病という障害について」 生活相談員スキルアップ研修会	希望荘 福岡博多駅

６	認知症介護実践者研修（講義：５日・実習：１日）	天寿園
７		
８		
９	認知症介護実践リーダー研修（講義・演習：10日・外部：4日）	天寿園
１０	平成２５年度全国社会福祉事業団協議会九州ブロック職員研修会	熊本テルサ
１１		
１２		
１	平成２５年度第３１回熊本県老人福祉施設研修大会 メンタルヘルス研修会	熊本テルサ 法人本部２階会議室
２	「夢の湖村」施設見学	山口県　夢の湖村
3	リンパマッサージ研修会	秋津デイサービスセンター 講師：黒川智子氏

*事業団内施設実習研修・・事業団研修計画

*接遇研修　　・・事業団研修計画

Ⅴ.介護度維持・改善状況（平成25年度更新認定者　114　名中）

① 年齢構成

年齢	６５～６９	７０～７４	７５～７９	８０～８４	８５～８９	９０～９４	９５～９９	１００～
	6	9	19	22	29	21	6	2

② センターにおける介護度の維持・改善状況

利用者の介護度の維持・改善数	利用者の介護度の維持・改善率
92人	80.7%

東の里居宅介護支援事業所

Ⅰ．事業運営の状況

（1）２５年度の取り組み

①　効果的な広報活動

秋津デイサービス、東部在宅福祉センターとの共催イベントや広報誌配布により、地域の介護拠点としての認知度アップに努めた結果３４件の新規利用に繋がりました。

②　介護相談・健康相談の実施

東部在宅や憩の家での定期介護相談の他、秋津デイサービスの夏祭り、東部在宅のふれあい祭で介護相談窓口を開き地域にＰＲしました。次年度は広報活動地域の拡大を図るためにも桜木・若葉校区での介護相談窓口の開設を検討します。

③　各関係事業所との連携

東５圏域の包括・居宅介護支援事業所との連携会議（年５回）に参加し、情報交換会や勉強会を通して連携を深めました。

また、個人クリニックの勉強会に参加し医療機関との連携に努めました。

④　職員のスキルアップ

内部研修や外部研修により最新の情報を学び職員のスキルアップを図り、プランに活かし質の高いマネジメントができるようにしました。

（2）２５年度の成果

①　プラン件数について

介護サービス計画依頼、予防サービス受託件数状況（２５年４月～２６年３月）　（件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護	104	98	100	100	99	102	99	100	97	94	95	100	1,188
前年	123	125	120	122	112	108	119	112	108	109	105	110	1,373
予防	13	13	13	13	14	15	14	16	16	16	17	17	177
前年	13	13	12	12	12	11	11	10	12	12	10	9	137

②　サービス利用状況

平成２５年３月中のサービス利用状況

	サービス内容	今年度	前年度
1	通所介護(ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ)	61	71
2	通所リハビリ(ﾃﾞｲｹｱ)	16	12
3	訪問介護(ﾍﾙﾊﾟｰ)	80	82
4	短期入所	9	13
5	訪問看護(訪問リハ含む)	13	11
6	訪問入浴介護	2	2
7	福祉用具レンタル	57	61
8	福祉用具購入	0	1
9	住宅改修	3	1
合　計		241	254

③　相談事業について

・東部在宅福祉センター（介護相談）　　・・・第２水曜日（月１回）
・秋津２町内憩の家（介護・健康相談）　・・・第２．４金曜日（月２回）
・秋津デイ地域交流夏祭り（相談窓口）　・・・８月
・東部在宅ふれあい祭　　（相談窓口）　・・・１１月

相談内容については

①介護保険の手続きについて②ご家族の事③認知症に関する事④病気に関する事等、多岐にわたっており随時対応しました。

④　職員研修について

(1)内部研修

期日	テーマ
平成２５年４月２５日	ホスピタルメント北３東館見学研修
平成２５年７月	ニューライフ白藤、はるうらら
平成２６年２月１０日	夢の湖村（山口）

◎デイとの合同職員会議で、外部研修の伝達研修を実施し、全職員のスキルアップを図る。
◎朝のミーティングや毎月のケアミーティングで随時困難ケースについて現状報告、検討。

(2)外部研修

平成 25 年 4 月 6 日	世界自閉症啓発デーくまもと 2013・認知症をめぐる医療倫理上の課題
平成 25 年 4 月 10 日	認定調査員　新任研修
平成 25 年 4 月 19 日	主治医とケアマネの連携セミナー
平成 25 年 4 月 22 日	定期巡回・随時対応型訪問介護、看護のサービス内容について
平成 25 年 5 月 25 日	今求められる要介護者における最先端口腔ケア
平成 25 年 5 月 30 日	難病という障害について
平成 25 年 9 月 17 日	認定調査員　現任研修
平成 25 年 10 月 23 日	尊厳ある最後を見守るために
平成 25 年 11 月 2 日	看取りの学習会
平成 25 年 11 月 21 日	日本の看取りを考える
平成 25 年 12 月 13 日	超高齢社会を前向きに生きる
平成 26 年 1 月 24 日	鶴田病院がん診療・緩和ケア地域連携研修、ラクシアーレホコル研修
平成 26 年 2 月 17 日	看取り介護実践フォーラム、最先端口腔ケアセミナー
平成 26 年 3 月 7 日	H25年度日本ケアマネジメント学会

＊東5圏域　居宅、包括連絡会　　（5/5,7/24,9/18,11/20,2/26）

＊訪看　わかば　ティータイムミーティング　　（1/22、2/19）

熊本市西里デイサービスセンター

Ⅰ　施設運営の状況

１．２５年度の取り組み

(1)　広報活動及び地域交流・貢献について

①　広報誌を年４回発行し地域の民協例会、自治会・老人会、校区コミュニティセンター等へ配布し、地域での認知度アップを図りました。

②　地域交流事業について

・デイサービスセンターと老人福祉センターの併設のメリットを活かして新年会・カラオケ大会・福祉ふれあい祭等を開催し、地域の方々に向けてのデイ見学を開催しました。

・地域活動（柿原地区いきいきサロン毎月）等に参加し、西里、川上老人福祉センターへは介護相談窓口を設置し、地域への貢献、交流を図りました。

・地域の清掃活動や神社祭の準備など、地域行事に積極的に参加し、地域交流を図りました。また、地域保育園との世代間交流も積極的に展開しました。

③　学校からの実習や福祉体験を受け入れ、地域への貢献・交流を図りました。

(2)　魅力的で特色のある事業展開

①　機能訓練の充実を図りました。

・事業団理学療法士の有効活用により利用者個人に合った機能訓練を実施し、３ヶ月毎に CM へのフィードバックを行いました。また、随時職員に対し機能訓練に関する勉強会を実施し、知識・技術の向上を図りました。

②　くもん学習療法の充実を図りました。

・利用者と積極的にコミュニケーションをとりながら、利用者の心身機能の維持向上に努めました。

③　サービスメニューの見直しをしました。

・利用者のニーズ把握により、脳トレ、パズル、手指訓練等の選択メニューの充実を図り音楽的療法も取り入れるなど、利用者に喜ばれるサービスメニュー提供に努めました。

(3)　各関係事業所との連携や職員の資質向上

・養護・訪問介護・居宅・包括等との連携会議を継続し、西里・北・川上各老人福祉センター、その他地域の関係機関との連携強化を図りました。

・実績配布は管理職（所長）が各事業所を訪問し、内容・利用者の状況・空きなどの情報提供を行いました。

・接遇の徹底、内外の研修会へ参加し研修報告等で他職員への周知を実施することにより、職員全体の質の向上を図りました。

(4)　新報酬改定に伴う対応について

・報酬改定で示されたサービス提供時間区分の見直しを受けて、利用時間を延長する対応を行いました。

2. ２５年度の成果

・　２５年度の利用率７６．８％（目標値７８．０％）。

・　地域広報誌の発行年度４回、地域交流事業の開催年度４回実施。

・　維持改善事業の取組み２４年度３事業以上。介護度の維持改善率８８，９％。
（目標値８０，０％以上）

・　利用者満足度アンケートを年度２回）実施、満足度の向上に繋がりました。

・　施設間連絡会年度５回実施。

・　介護福祉士の確保、全職員の４１％。

３．デイリープログラム

8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
40					
朝　礼	送　迎 受入準備・養護			昼　食 入浴・養護 配茶・健康チェック 個別機能訓練、くもん学習療法 運動器機能向上訓練	

13:00	14:00	15:00	16:00		
	行事活動等 自主活動等 ティータイム 養護		送　迎 ミーティング 翌日準備		終礼

Ⅱ　主要行事

月	生活行事	給食行事	実習・交流・事業等
4	桜見物、買物 つつじ見学　　健康体操		・介護者教室及び地域交流会4/29（高平台６町内老人会、利用者、家族、その他地域、北部消防署&清水消防署より６名）救命法、ＡＥＤの使い方 認知症予防お手玉遊び ・柿原校区いきいきサロン協力参加 37名参加
5	母の日行事 健康体操、体力測定 選択活動（カレンダー作成、バラ園見学、脳トレ）、しょうぶ湯	母の日祝い膳	・ピッカリブラザーズ5/11 ・さつきクラブ5/13 ・柿原校区いきいきサロン協力参加5/22 ・五丁保育園（17名程）5/29 ・介護者教室（転倒予防について）5/31 ・川上老人センター健康相談(10名）5/30
6	父の日行事	父の日祝い膳	・和会（なごむかい）6/6 ・健康体操6/10 ・日舞6/11 ・さつきクラブ6/14 ・手話ダンス6/20 ・柿原校区いきいきサロン協力参加6/23 ・介護者教室（食中毒予防について）6/26 ・川上老人センターにて健康相談(15名）6/30
7	七夕祭 ショッピング		・トーンチャイム演奏（ＹＭＣＡ高校生）7/1 ・さつきクラブ7/15 ・介護者教室（熱中症予防について）7/31
8	夏祭り	夏バテ予防食	・熊本学園大学より実習２名8/7～ （社会福祉援助技術現場実習） ・夏祭りでの老人センター利用者＆五丁保育園園児との交流(園児11名、引率２名、ボランティア２名） ・さつきクラブ8/15 ・報徳保育園児来所、交流8/27 ・ピッカリブラザーズ来所8/28

9	敬老週間 梨狩り	敬老の日祝い膳	
10	運動会	行楽弁当	・介護者教室 （冬場に多い感染症対策について）
11	紅葉狩り（金峰山、県庁前） 利用者作品展示		・西里福祉ふれあい祭11/10 ・さつきクラブ11/19 ・ピッカリブラザーズ来所11/20 ・崇城大学介護実習3名11/18～22
12	クリスマス会(職員寸劇) ゆず湯	クリスマス食	・避難訓練（12/12）消防署立会い ・介護者教室（防災について）12/12 ・さつきクラブ12/13 ・きまぐれーず12/23 ・熊本保健科学大学（地域看護演習に伴う見学）
1	新春の集い （獅子舞、肥後手まりの会） 初詣（護国神社）	おせち	・新春の集い1/8　肥後てまりの会 ・国立病院機構熊本医療センター附属看護学校（老年看護学実習） ・さつきクラブ1/24
2	節分・豆まき 農業公園植木市見学 梅の花見、茶話会	お弁当週間	・国立病院機構熊本医療センター附属看護学校（老年看護学実習） ・報徳保育園2/7 ・ピッカリブラザーズ2/12 ・さつきクラブ2/18
3	ひな祭り、お花見、茶話会 デイサービス利用者や利用者家族、老人センターとの交流会	ひな祭り膳	・避難訓練 ・講座発表会（老人福祉ｾﾝﾀｰ） ・家族介護者教室（高齢者の食事、栄養について） ・さつきクラブ来所
毎月	誕生会・体重測定・機能回復訓練	誕生会食	
随時	保育園交流 家族介護者教室（6回） 老人センター講座生との交流 （カラオケ・舞踊等）		

Ⅲ　利用者の状況（平成25年度）

1　月別利用状況　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24年度	572	593	558	591	617	584	620	603	528	500	519	485	6770
25年度	588	603	565	645	613	612	621	634	598	564	512	538	7093

2　介護度別利用状況　（人）

要支援1	要支援2	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
５	１０	２８	１５	２	５	３	６３

3　居宅別利用状況　（人）

中央居宅	かみふうせん	けあまっぷ城西	熊本機能病院	八景水谷 クリニック	竜　山
４６	１	２	１	１	１
はーと	河本内科小児 科クリニック	ささえりあ 熊本中央	ささえりあ 井芹	ささえりあ 清水・高平	計
１	１	２	５	２	６３

4　複数回利用状況　（人）

１　回	２　回	３　回	４　回	５回以上	計
１０	２２	１９	６	６	６３

5　在宅サービス利用状況　（人）

西里デイ のみ利用	通所介護	通所リハ	生活援助 (ﾍﾙﾊﾟｰ)	身体介護 (ﾍﾙﾊﾟｰ)	訪問看護	訪問リハ	福祉用具 貸　与	ｼｮｰﾄｽﾃｲ
２７	３	１	１２	１２	３	０	１８	３

Ⅳ　職員研修

期　日	研　修　名	場　所
H25.4.24	係長級研修	平成事務局
H25.5.8	「くもん学習療法」新任研修	中央在宅福祉センター
H25.5.22	施設内研修#1「理事長講話」全職員	西里デイ
H25.6.5	施設内研修#2「くもん評価研修」全職員	西里デイ
H25.6.12	施設内研修#3「機能訓練について」全職員	デイルーム （講師：理学療法士　遠藤）
H25.6.17	新人研修(法人内事業所体験研修)	川上老人センター
H25.6.18	認知症緩和ケア理念とタクティールケア 体験セミナー	国際交流会館
H25.	認知症介護実践者研修	天寿園、その他
H25.8.1	機能訓練に関する研修	熊本センターホテル
H25.8.19	接遇研修	希望荘
H25.8.22	がん対策研修会	希望荘
H25	レジオネラ症予防対策講習髙松	ウェルパル熊本
H25 10/3.4	全国社会福祉事業団協議会九州ブロック 職員研修会	熊本テルサ
H25 11/11	WEB研修会	母子福祉センター
H25 11/19	年内に確定する介護保険法改正の行方と 直前対策	くまもと県民交流会館パレア

H25 11/19	記録について	西里デイ
H25 11/26.27	夢のみずうみ村見学	山口県
H25 12/4	他事業所見学(メロン、福丸、なごみ、 フォレスト熊本)	熊本市
H26 1/17	メンタルヘルス研修会	平成本部
H26 1/18	県老人福祉施設研究大会	熊本テルサ
H26 1/20	接遇研修	長寿の里
H26 3/6	第１回在宅医療･介護に関わる多種目連携 研修会 in 北部「発掘！地域の力」	フードパル熊本交流会館多目 的ホール
H26 3/18	「夢のみずうみ村」代表藤原氏講演会	メルパルク

利用者の年齢構成と介護度の維持・改善状況

① 年齢構成（６３人中） 平均年齢（ ８４，０歳）

64以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～
０	２	６	５	１６	２３	９	１	１

（単位：人）

② 介護度の維持・改善状況(６１人中)

利用者の介護度の維持・改善者数	利用者の介護度の維持・改善率
５６人（維持：５１人 改善５人）	８８，９％

熊本市東部在宅福祉センター

（1）２５年度の取り組み

①「熊本市東部在宅福祉センター」の周知活動実施

年３回の広報誌及び毎月の行事カレンダーを発行し、地域の回覧や包括・コミセン等へ配布しました。また、主要行事に際してはポスターも作製し、さらに年２回、広域にポスティングを実施するなど、広く周知活動・広報に努めました。その他、ホームページや市政だよりを周知活動に活用しました。

また、実施事業の一つである『実践！かいご』は、東部地域のケーブルテレビの取材を得て毎月シリーズとして放映され、センター広報の一助となりました。

②各事業（指定事業・自主事業）の基礎作り

事業団及びボランティアの方々の協力を得て、指定事業・自主事業を全て実施することを第一に心がけて取り組みました。またアンケートを実施してそれを事業に反映するなど、次年度に活かすための対応を心がけました。

③地域関係機関との関係強化及び新たな連絡・協力体制の確立

地域住民やセンター利用者及び包括支援センターを中心とした運営委員会（8 名）を設置し隔月（年６回）で実施し、ご意見等を反映させる運営を心がけました。

④事業団内職員の有効活用の方策確立

スケールメリットを活かした事業団職員の活用では、居宅による介護相談や管理栄養士による料理教室及びバスハイク行事のバス及び運転手の活用等組織内職員の有効活用に努めました。

⑤研修

相談員研修や認知症研修及び在宅福祉関係研修を実施し職員の資質向上及び職務遂行の向上を図りました。

（2）２５年度の成果目標

①「熊本市東部在宅福祉センター」の周知活動実施

広報誌の発行年３回、行事カレンダー毎月、主要行事ポスター適時、
広域ポスティング年２回、ホームページの活用毎月、市政だより活用毎月

②各事業（指定事業・自主事業）の基礎作り

（次年度以降も継続可能な企画事業の立案と実施）

事業名	実施回数	内　容　等
何でも介護相談	月２回	２５回３１名 東の里居宅・東部在宅による介護相談
ふれあい相談	毎　日	２２回２２名　東部在宅職員による相談
ふれあい祭	年１回	11/9　２７０名
夏祭り	年１回	8/17　８５名
イケメンクッキング	年６回	事業団栄養士による料理教室　６回　計７１名 4/23 6/25 8/27 10/22 12/18 2/25
おばあちゃんの郷土料理	年６回	事業団栄養士による料理教室　６回　計５８名 5/28 7/23 9/24 11/26 1/28 3/25
元気で体操	毎　日	平均４０名(東老人合同)
健康セミナー	年３回	6/6 食中毒について　10/8 気功について 2/12 足つぼ健康法　３回　計８１名
健康体操	週１回	年 47 回　５２１名
歩け歩け会	年４回	5/22　9/4　12/17　3/5　４回　３３名
あなたもフラガール！	月２回	年 24 回　５３４名
アコーディオン・カラオケ	月１回	年７回　52 名　年度途中で病気のため休講
いきいき元気サロン	月１回	年 12 回　７０名
実践！かいご	月１回	4/18　5/16　6/20　7/18　8/15　9/19　10/17 11/21　12/19　1/10　2/20　3/20 年 12 回　計３３２名

わくわくシニアクラブ	適時	広報、ポスター掲示　窓口での説明
税に関するセミナー	年２回	8/1　1/22　65 名
わさもん IT 講座　NTT 分 CATV 分	年３回 （定員５名） ２回	４月、８月、12 月、２月各４回ずつ　計 16 回 合計 18 回　１４０名
生活安全教室	年３回	8/21　AED と防災について　２９名 12/5　防犯について　２９名 3/6　消防訓練　３０名 年３回　計　８８名
園児と高齢者の ふれあい事業	年２回	8/17　夏祭り　８５名 10/31　ハロウィン　２６名 年２回　１１１名
子供伝承遊び	年３回	5/11　石とりゲーム・香袋作り　１１名 8/17　紙トンボ・ペットボトル工作　８５名 1/11　かごとお雛様作り　１４名 年３回　１１０名
学習交流スペース	適時	夏休み・冬休み実施
ボランティア東部劇場	月１回	4/19　キアロ　オカリナ　１２名 5/17　長生会 ちょんかけ独楽　１５名 6/21　台風のため中止　０名 7/19　花しのぶの会　２１名 8/16　気まぐれーズ　１９名 9/20　スイートポテト　２５名 10/18　桜会日舞　１８名 11/15　寿会日舞　２３名 12/20　ぴっかり兄弟　３４名 1/17　西川流日舞・歌　４０名 2/21　気まぐれーズ　２０名 3/22　肥後てまりの会　６１名 合計 11 回　２８８名
バスハイク	年１回	9/14　熊本農業高校・川尻工芸館　３６名
東部よかとこ巡り	年１回	1/31　スタンプラリー　１５名
リクエスト講座	12 回	料理教室 イケメンクッキング　計６回 5/29　7/24　9/25　11/27　1/29　3/26 おばあちゃんの郷土料理　計６回 4/24　6/26　8/28　10/23　12/25　2/26 合計 12 回　１３４名

③運営委員会の設置状況

構成メンバー

所　属	人　数	メンバー
利用者代表	４人	ｶﾗｵｹ代表、囲碁代表、講座代表２人
地域代表	４人	自治会長、老壮会会長、民生委員 地域包括
施設側	２人	所長、相談員
合　計	10 人	

実施回数

年６回（4/10　6/12　8/14　10/9　12/11　2/12）

④事業団内職員の有効活用

何でも介護相談	月１回	東の里居宅
イケメンクッキング	年６回	事業団栄養士
おばあちゃんの郷土料理	年６回	事業団栄養士
実践！かいご	年６回	東部ヘルパー
バスハイク	年１回	はなぞの学苑バス及び運転手
リクエスト講座	年 12 回	料理教室　事業団栄養士

⑤研修

・相談員各種研修
・認知症各種研修
・その他在宅福祉関係各種研修

期　日	研　修　名	場　所
H25.4.1	事業団組織内研修　　新人研修	平成事務局２階
H25.5.29	H.25 健軍校区地域ケア会議	庄口コミュニティセンター
H25.6.18	認知症緩和ケア、タクティールケア	国際交流会館
H25.8.6	事業団組織内研修　　新人研修	東部はつらつ交流会館
H25.8.19	接遇研修	希望荘
H25.8.22	がん対策研修	希望荘
H25.8.24	H.25 年度福祉レクリエーションセミナー	フードパル熊本
H25.9.6	レジオネラ症防止対策講演会	ウェルパル熊本
H25.9.28	鹿屋体育大学の協力支援　貯筋運動事業	健軍ホール
H25.10.17	認知症利用者のリスクマネジメント講座	熊本市男女共同参画センター
H25.11.27	H.25 社会福祉施設感染症対策研修会	ウェルパル熊本
H26.1.17	メンタルヘルス研修	平成事務局２階
H26.1.27	安全運転講習	平成事務局２階
H26.2.13	介護予防サポーター養成講座	ウェルパル熊本
H26.2.26	介護予防サポーター養成講座	ウェルパル熊本
H26.3.12	介護予防サポーター養成講座	ウェルパル熊本
H26.3.12	山口県　夢のみずうみ村　研修	山口デイサービスセンター
H26.3.20	介護予防サポーター養成講座	ウェルパル熊本

（３）２５年度利用者数

東部在宅利用者数（ボランティア等含む）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	計
多目的ホール	410	405	445	403	810	421	521	672	448	430	465	401	5,831
調理室	26	20	28	50	31	33	39	33	25	24	55	51	415
会議室	405	402	385	385	405	394	459	376	378	397	466	379	4,831
施設外活動	0	70	91	30	267	92	72	120	0	30	206	183	1,161
ボランティア等	113	136	103	118	157	128	138	146	99	104	111	126	1,479
合　計	954	1033	1052	986	1670	1068	1229	1347	950	985	1303	1140	13,717

熊本市南部在宅福祉センター

Ⅰ、施設運営の状況

（1） ２５年度の取り組み

① 熊本市南部在宅福祉センターの周知活動に努めました。

- 広報誌を年４回発行し、南部地区の社協、関係機関に配布するとともに、新たに力合、日吉東、城南校区の自治会にも依頼し、回覧板や公共の掲示板を活用して、広く南部在宅福祉センターの事業内容等の周知を図りました。
- ホームページ、チラシ、市政だより、各社新聞の情報コーナー・ホームページ、町内回覧板等を活用して、事業や講座イベント等の情報を発信しました。また、希望者には e-メール配信をし、きめ細やかに広範囲に広報活動に努めました。
- 地域活動（各種会議参加、行事等参加、老人会、民生委員会）に積極的に参加し、事業や講座、イベント等の紹介をし、周知に努めました。

② 指定事業、自主事業、講座等の確実な立案と実施により、南部在宅福祉センターとしての事業の基礎作りをしました。

- 事業団の人材を活かした、各種事業（バスハイク、介護相談等）を実施しました。
- ボランティアを活用した交流の場として、子ども祭りやふれあい秋まつりなどを開催し、センターを開放して交流を図りました。また、多くの方々の協力により、集まったペットボトルキャップは、世界の子ども達にポリオワクチン約７名分、２７，８㎏を贈る事ができ、感謝状をいただきました。
- 地域の食生活改善推進員さんやリクエストに応じたセンター職員によるおやつ作り、郷土の特色を活かした親しまれる料理教室を実施しました。
- 利用者のニーズを探り、ニーズを反映した事業に努めました。リクエスト講座としてソシアルダンス、アクセサリー教室、プリザーブドフラワーなどを新たに実施しました。

③ 地域関係機関との関係強化及び新たな連絡・協力体制の確立に努めました。

- 運営委員会を年３回実施し連絡・協力体制のもと、意見を反映した事業の運営を心がけました。
- 専門機関や包括支援センター、その他の事業所との良好な関係作りに努めました。
  命のバトン携帯版の南部在宅福祉センターモデルを作り、希望者へカードを作成した。また、いきいきサロンへの協力参加を行いました。

④ 事業団内職員の方策確立を図りました。

- 事業団内事業所との連絡・協力体制のもと、料理教室や高齢者支援等の必要な事業における有効活用を計画的に行いました。（イケメンクッキング、四季の料理、おばあちゃんの料理教室）などの講師依頼をしました。また、（お達者会館、母子センターへの講師派遣）内容についての打ち合わせや連絡を確実に行い、スムーズに有効活用ができるよう努めました。

⑤ 研修による全職員のスキルアップを図りました。

- 接遇を徹底し「心地よい挨拶、丁寧な説明」を心がけ、気持ちよく利用していただけるよう努めました。
- それぞれの職務に必要な研修に参加し、スムーズな職務の遂行、資質の向上を図りました。

（2） ２５年度の成果目標

① 「熊本市南部在宅福祉センター」の周知活動実施

- 広報誌の発行・・・・年４回
  日吉、日吉東、力合、城南校区自治会へ回覧の依頼と当センターで行われる月例会時に広報誌を配布しました。
  また、南区役所、南区役所南部出張所、南部万年青会館に掲示していただきました。
- 事業・講座等紹介のチラシ配布・・適　時
  チラシ、市政だより、各新聞社の情報コーナー・ホームページを活用し、
  事業や講座等の情報を発信しました。
- ホームページ、地域活動での紹介・・随　時
  各種会議参加、行事等参加、老人会、民生委員会に積極的に参加し、
  事業や講座、イベント等の紹介をし、周知に努めました。

Ⅱ事業実施状況

（１）事業実施状況

事業名	実施回数	内　容　等
介護相談	随時	１７件　　６２名
ふれあい相談	随時	１２件　　１３名
子ども祭り	年１回	5/4　計１７１名
ふれあい秋まつり	年１回	１０/２６　　計１８５名
夏祭り（日吉校区）	年１回	7/２８
敬老のつどい（日吉校区）	年１回	１１/１６
イケメンクッキング	年６回	事業団栄養士による料理教室　計４３名 5/24、7/26、9/20、11/22、1/24、3/21
おばあちゃんの料理教室	年２回	６/２８、１２/２８　計１９名
四季の料理	年２回	5/2、１２/２０　計２４名
認知症サポーター養成	年１回	8/２４　　計９４名
みなみ社協長会議	隔月	計６回
子育てネットワーク会議	月１回	計１２回
自治会関係		計２回
生活安全教室	年２回	熊本県警委託デリバリーサポートセンター7/18、西消防署 9/18、計３２名
ボランティア育成研修会	年１回	３/１５、計１５名
いきいきサロン（日吉、力合、城南）	２６回	計５７５名
わさもん IT 講座（ケーブル・光）	年２７回	計１５６名
わさもんIT講座(ケーブルテレビ)	年４回	計５９名
わさもん講座（職員）	随時	５件　計５名
はつらつ教室の開催	年５１回	計７６３名
「歩け歩け会」の支援	年４回	4/16、5/30、9/14、3/29　計７２名
施設外活動（障害者対象）	年１回	果物狩をボウリング大会に変更 1/18 計５０名
寺子屋	随時	１３１回　計５４６回
農業高校での農業体験	年１回	9/１４　計１名
リクエスト講座	年３４回	総合計　５３６名 そばうち体験、プリザーブドフラワー、ポーセラーツ、ブローゴルフ、手作りパン、石けんアート、ひとみおばちゃんの料理教室、おやつを作ろう、メイクアップ教室、アクセサリー教室、ピッカリブラザーズ、合同バスハイク、ちょんかけゴマ、ミニコンサート、童謡・唱歌クラブ
交流支援活動	随時	５０９回　３１７３名

（2）運営委員会

所　　属	人　　数	メンバー
利　用　者	１名	利用者代表
みなみ社会福祉協議会	４名	日吉校区社会福祉協議会代表 日吉東校区社会福祉協議会代表 力合校区社会福祉協議会代表 城南校区社会福祉協議会代表
自治協議会	２名	日吉校区７町内自治会代表 日吉校区自治連合会代表
老人クラブ	１名	日吉校区老人クラブ
民生委員・児童委員協議会	１名	日吉校区民生委員・児童委員代表
実施回数　　３回　7/１９　　１０/１１　　3/２８		

（3）事業団内職員の有効活用

介護相談	年３回	長寿の里デイサービスセンター長、 当センター職員
イケメンクッキング	年６回	事業団栄養士
四季の料理教室	年２回	事業団栄養士
バスハイク	年１回	はなぞの学苑バス及び運転手

（4）研修実績状況

期　日	研　修　名	場　所
4/8	理事長講話	南部在宅福祉センター
5/２７	個人情報保護	南部在宅福祉センター
5/３０	難病という障害について	希望荘
6/5、6/6	防火管理者講習	フードパル
6/１２	ボランティアコーディネーター養成講座	ウェルパルくまもと
6/１７	会計研修	平成事務局
6/２４	会計研修処理	平成事務局
7/4	他事業所研修	長寿の里
7/１１	人事考課	長寿の里
7/２５	ボランティアコーディネーター養成講座	ウェルパルくまもと
8/１９	接遇研修	希望荘
8/２２	がん対策研修会	希望荘
8/２３	ボランティアコーディネーター養成講座	ウェルパルくまもと
8/２６	会計研修	平成事務局
8/２７	会計研修	平成事務局
8/２９	障害者の雇用	平成事務局
9/２５	ボランティアコーディネーター養成講座	第一病院
１０/3	平成２５年度全国社会福祉協議会 九州ブロック職員研修会	熊本テルサ
１０/4		熊本テルサ
１０/１６	人事考課	平成事務局
１１/6	レクレーション研修	フードパル
１１/１１	WEB 活用セミナー	母子福祉センター
１１/２６	平成２５年リスクマネジメント 研修会	熊本県社会福祉 センター
１１/２７		
１２/8	自主参加 認知症新時代（いきいきと暮らすために）	熊本テルサ

１２/８	自主参加 障害者サポーター講座	現代美術館
１/１７	メンタルヘルス研修	平成本部
１/２０	援助専門職者の接遇マナー	長寿の里
１/２１	平成２５年度相談面接技術研修会	熊本県社会福祉センター
１/２２		
２/１３	介護予防サポータースキルアップ講座	ウェルパルくまもと
２/１４	社会福祉法人実務（決算）研修会	テルサ
２/１９	介護予防サポータースキルアップ講座	ウェルパルくまもと
２/２６	介護予防サポータースキルアップ講座	パレア
３/１２	介護予防サポータースキルアップ講座	ウェルパルくまもと
３/２０	介護予防サポータースキルアップ講座	ウェルパルくまもと

（５）利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
多目的ホール1F	712	728	538	607	474	645	586	537	462	477	477	619	6,862
多目的ホール2F	364	343	408	362	403	385	337	419	374	331	399	510	4,635
調 理 室	32	20	24	16	26	68	15	27	59	32	18	36	373
和　室	73	64	54	74	66	82	96	108	164	178	140	201	1,300
施設外活動	48	27	78	118	15	102	37	98	40	70	51	44	728
合　計	1,229	1,182	1,102	1,177	984	1,282	1,071	1,189	1,099	1,088	1,085	1,410	13,898

（６）来訪者及びボランティア数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ボランティア日常	11	3	0	2	19	28	27	0	0	3	1	1	95
ボランティア行事	4	40	15	22	11	15	31	12	9	2	5	9	175
来訪者	46	41	58	75	57	59	48	60	49	27	38	57	615
合　計	61	84	73	99	87	102	106	72	58	32	44	67	885

ささえりあ熊本中央（熊本中央１地域包括センター）

概　要

今年度は、5校区ごとの地域の特色に応じた地域活動をしてネットワークの構築（地域包括ケアの構築）を目指し活動を行いました。わかりやすく、楽しくを心がけ、認知症サポーター養成講座を行ったり、地域の方に参加していただき「地域ネットワークと命のバトン」の寸劇をしたり、各校区の集まりでも包括の役割などの広報活動に力を入れました。

結果、ささえりあの認知度はかなり高まり、大幅な伸びを示しています。

①予防プラン	年間目標2,600件	年間2,794件
②総合相談	年間目標2,000件	4,375件
③介護予防事業	76件（H24）	188件（H25）

相談内容も多岐に渡り、ご本人・ご家族はもとより、民生委員や地域の方々、ケアマネや事業所のほか、医療機関、行政、各種団体（認知症コールセンターや地活等）からの相談も多く寄せられました。内容も複雑多岐に渡っているので、今後は職員の効率的な相談対応能力向上を図ってまいります。
また、地域ケア会議は５校区のうち、２校区未実施でした。個別事例の地域ケア会議等の提案を行いながら５校の地域ケア会議に実施に向けて取り組んでまいります。

１．介護予防ケアマネジメント業務

（１）地域支援事業(介護予防事業に関するケアマネジメント業務)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通所型	運動器(陸上)	9	10	9	9	8	9	7	5	7	6	5	8
	運動器(水中)	4	6	7	9	5	5	3	5	2	4	5	2
	栄養改善	2	2	3	3	3	3	1	1	2	0	0	0
	口腔	2	2	2	2	3	3	3	0	2	0	1	1
合　計		17	20	21	23	19	20	14	11	13	10	11	11
前年度		2	5	0	1	6	7	8	11	6	9	11	10

（２）予防給付に関するケアマネジメント業務

①　利用者数（のべ件数）

	今年度	前年度
要支援１	2,296　人	1,934　人
要支援２	1,444　人	1,611　人
合　計	3,740　人	3,545　人

（平成26年3月31日現在）

②　予防給付対象者数の推移（利用実績）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ささえりあ直営	226	233	236	236	228	240	230	230	234	233	236	232
居宅に委託	78	77	80	78	77	79	77	78	79	81	80	82
合　計	304	310	316	314	305	319	307	308	313	314	316	314
前年度	279	280	288	286	291	298	306	296	302	303	301	299

③　予防給付に関するケアマネジメント業務

●　利用者数（のべ件数）

	件　数	割　合
地域包括センターで作成	2,794　件	74.7%
居宅支援事業者に依頼	946　件	25.3%
合　　計	3,740　件	100.0%
前年度	3,544　件	100.0%

（平成26年3月31日現在）

● 介護予防プランに位置づけられた事業所別利用件数

サービス種別	事業所種別	合計	
		件数	割合
介護予防訪問介護	同一法人	1,012件	52.7%
	同一法人以外	908件	47.3%
	合　計	1,920件	100.0%
介護予防通所介護	同一法人	192件	17.7%
	同一法人以外	891件	82.3%
	合　計	1,083件	100.0%

（平成26年3月31日現在）

※訪問介護は法人内の割合が順調に伸びている。通所介護については横ばい状態が続いている。

● 介護保険関係申請

新規	更新	変更	住宅改修
130　件	251　件	67　件	25　件

（平成26年3月31日現在）

２．総合相談支援及び権利擁護事業

（１）地域におけるネットワーク構築業務

民協例会	壺川（3回）一新（4回）慶徳・五福（1回）城東（4回）
校区社協会議	壺川校区社協総会
自治協議会連合会	城東自治協議会　（2回）
自治会連合会	町内会長宅訪問　一新・城東・五福・慶徳
いきいきサロン	壺川（10回）一新（9回）慶徳（3回）
運営推進協議会	グループホームこせん　６回　グループホーム　五福 4回 小規模多機能居宅　銀座通りハウス　１回
家族介護者教室	壺川（2回）慶徳（1回）城東（1回）一新（3回）
地域ケア会議	慶徳（1回）壺川（1回）一新（1回）
圏域内事業所連携会議	圏域内居宅介護支援事業所研修会　１回
その他	認知症サポーター養成講座、敬老会、ｽﾎﾟｰﾂﾌｪｽﾀ、コミセンまつり 命のバトン委員会、健やかネット、新春の集い等

（平成26年3月31日現在）

（２）総合相談支援・実態把握業務

①　相談件数等

項　　目	相談の形態			
	電　話	来　所	訪　問	合　計
(1)在宅福祉・生活に関すること	232　件	56　件	161　件	449　件
(2)介護保険に関すること	847　件	176　件	1,873　件	2,896　件
(3)保健・医療に関すること	154　件	16　件	109　件	279　件
(4)認知症に関すること	69　件	21　件	20　件	110　件
(5)権利擁護（虐待関連含む）に関すること	79　件	18　件	48　件	145　件
(6)家族問題に関すること	7　件	3　件	13　件	23　件
(7)経済的な問題に関すること	25　件	3　件	16　件	44　件
(8)居住環境に関すること	68　件	13　件	55　件	136　件
(9)在宅高齢者事業に関すること	8　件	3　件	17　件	28　件
(10)地域支援事業に関すること	59　件	10　件	65　件	134　件
(11)その他	74　件	25　件	32　件	131　件
合　　計	1,622　件	344　件	2,409　件	4,375　件

※包括の認知度アップに伴い、相談件数が激増している。
　介護保険に関することはもちろん生活全般に関することなどの相談が、多く寄せられた。

②相談者の内訳

区　分	延件数
本人	1,800 件
配偶者	353 件
子供	522 件
兄弟	56 件
親類	76 件
地域住民	26 件
民生委員	78 件
ケアマネージャー	249 件
事業者・施設等	760 件
その他	208 件
合　　計	4,128 件

③対象者の年齢

区　分	実人数			
	男	女	不明	計
59 歳以下	35 人	13 人	0 人	48 人
60～69 歳	86 人	84 人	0 人	170 人
70～79 歳	152 人	413 人	0 人	565 人
80～89 歳	249 人	930 人	0 人	1,179 人
90 歳以上	74 人	143 人	1 人	218 人
不明	47 人	74 人	18 人	139 人
合　計	643 人	1,657 人	19 人	2,319 人

※ご本人・ご家族の相談が最も多いが、
医療機関や区役所・認知症コールセンター等々の
各種団体からの相談も多くなっています。

④　介護保険に関すること

項　　目	相談の形態			
	電話	来所	訪問	合計
①申請等の手続きに関すること	172 件	43 件	304 件	519 件
②認定内容に関すること	148 件	30 件	355 件	533 件
③サービス内容に関すること	396 件	70 件	864 件	1,330 件
④保険料・利用料に関すること	30 件	8 件	203 件	241 件
⑤その他	186 件	25 件	269 件	480 件
c 計（①～⑤）	932 件	176 件	1,995 件	3,103 件

（3）権利擁護に関すること

項　　目	相談の形態			
	電話	来所	訪問	合計
①成年後見制度に関すること	12 件	5 件	13 件	30 件
②老人福祉施設等への措置に関すること	27 件	3 件	19 件	49 件
③虐待への対応に関すること	16 件	4 件	5 件	25 件
④困難事例への対応に関すること	11 件	3 件	2 件	16 件
⑤消費者被害の防止に関すること	0 件	0 件	0 件	0 件
⑥その他	13 件	3 件	15 件	33 件
c 計（①～⑥）	79 件	18 件	54 件	153 件

（平成 26 年 3 月 31 日現在）

3．包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

（1）地域の介護支援専門員への日常的個別指導

支援困難事例等への個別指導、相談	年間　５７件　（前年度　３２件）

（2）支援困難事例等への指導
　　介護支援専門員の日常業務に関する個別指導、相談

介護支援専門員の日常業務に関する個別指導、相談	年間　８７件　（前年度　１２件）

（3）包括的・継続的なケア体制構築業務
①　関係機関との連携体制作り（圏域内介護サービス事業所連絡会等）
②　サービス担当者会会議開催支援
③　入退院・入退所時の連携、支援

（4）地域における介護支援専門員のネットワーク形成業務
① 相談窓口として随時対応
② 個別事例に対するサービス担当者会議開催支援
③ 介護支援専門員に対する情報支援（居宅連絡会や広報誌発行等）
④ 質の向上のための研修開催

4．職員研修
（1） 内部研修
① 圏域内居宅介護支援事業所研修
（圏域内のケアマネを対象に訪問看護、有料老人ホームについての研修開催）
② メンタルヘルス研修
③ ガン研修
④ セブンミールより宅配サービスについて
⑤ 包括内職員伝達研修 １２回

（2） 外部研修
① 介護予防ケアマネジメントに関する研修
・予防ケアマネジメント研修
・予防ケアマネジメント指導者育成研修
② 総合相談・権利擁護に関する研修
・熊本県高齢者虐待対応研修現任研修
・権利擁護事例研修会
③ 包括的・継続的ケアマネジメントに関する研修
・主任ケアマネジャー研修
・主任ケアマネジャーフォローアップ研修
・包括職員課題別研修
・包括ケア在宅医療推進研修
④ 地域ケア会議に関する研修
・地域ケア会議の運営準備に係る実務者研修
・地域ケア会議開催支援研修
⑤ その他
・認知症サポーター養成講座開催
・キャラバンメイト育成研修
・サロン研修会
・包括連絡協議会実務者研修（年 2 回）
・広域支援センター研修
・一新校区自立支援協議会研修（年 3 回）
・中央区校区社協勉強会
他

5．運営協議会の開催
(1) 運営協議会の開催 4 回開催 （全体会 1 回 地域ケア会議 3 回）

熊本市障害者福祉センター希望荘

１　２５年度の取り組み

（１） 貸し館事業

在宅障がい者及びその家族やボランティアの憩いの場として、また会議や研修、趣味活動の場として、利用者の活動内容も多様化しています。

ニーズに合わせて部屋を選択して利用していただくことで、 利用者数は増加しました。

利用団体数は年々増加し、会議室の稼働率は７９％となっています。

（２） ふれあい事業

○ 夏まつりについて

障がい者とその家族、ボランティアや市民がともに楽しみ、交流と理解を深めるました。

今年も地元民生委員の協力のもと地域の子どもたちをはじめ、たくさんの参加があり、地域の夏まつりとして定着しています。

○ 文化祭について

作品作りを通して、障がい者が生きがいを感じ、技能の向上を図るとともに作品発表の場を設けることで、交流と理解を深めることができました。

作品出品数は、目標の 300 点を大幅に超え、452 点に上りました。

恒例となった障がい者支援施設展示即売会も大変好評でありました。

今年も市役所１階ロビーに最優秀賞、優秀賞の個人作品を展示し、一般市民への理解を深めました。

（３） 学習講座事業

一回当たりの利用率は横ばい傾向となっていますが、自主事業を含め、講座の見直しを図り、単発の講座の参加者は抽選になるほどの人気となっています。

講座に参加されている利用者は大変熱心に取り組まれ、希望荘でのひとときが、充実したものとなっている様子がうかがえました。

（４） ふれあい総合相談事業

障がい者及び家族が抱える悩みなどを気軽に相談できる窓口として、問題の適切かつ迅速な解決を目指しました。

視覚障害の相談員の配置を継続して行い、視覚障がいに特化した相談の充実を図りました。

（「特定非営利活動法人ともにある会」に業務委託）

（５） 福祉バス運行事業

障がい者の社会参加と福祉の増進を目的とした、リフト付きバスの貸し出しを行いました。

当事者が小規模のグループで、定期的に屋外活動を計画され、楽しむことが出来ました。

（６） 自主事業

アンケートで利用者のニーズを出来る限り把握し、バスハイク等の様々な事業を行いました。

今後、学習講座に繋がる取り組みとして、特に力を入れている障がい者スポーツでは「卓球バレー」が定着し、外部チームとの親睦会を行えるまでになりました。

（７）地域活動支援センター事業

昨年度より１９８人の利用者増となり、1日あたりの利用者数は２０．４人で利用率は約８２％となりました。相談支援事業所や居宅介護支援事業所等との連携により、新規利用者の積極的な受入と利用者のニーズに沿ったきめ細やかな対応の蓄積の継続により、利用実績の増加に結びつけることができました。また、在宅障害者（身体・知的・精神）を対象に、自立の促進・生活の質の向上・身体機能の維持向上に寄与するため、入浴、機能訓練、社会適応訓練、創作的訓練など事業を行いました。

２　２５年度の成果

（１）貸館事業　　利用者数は昨年度より８８６人増加し、１日あたりの利用者数の目標である７２人を超え、７８．５人でした。
（２）講座事業　　出席者数は横ばい状態です。自主事業を含め、見直しを図りました。
（３）自主事業　　ホームページ、メール情報局等で情報を配信し、さまざまな事業に繋げました。
（４）地域活動支援センター　　昨年度より１９８人の利用増でしたが、１日あたりの目標利用者数21.2人には及ばず20.4人でした。
（５）適切な施設運営に努めました。

３　利用の状況

（１）貸館事業

【障がい別利用状況】　　（人）

	肢　体	視　覚	聴　覚	知　的	内　部	精　神	ボランティア	その他	合計	利用団体数
23年度	1,293	2,384	630	4,349	344	2,320	1,859	7,834	21,013	1,351
24年度	2,134	2,064	634	4,108	281	3,035	2,332	7,467	22,055	1,569
25年度	1,707	2,181	538	3,808	354	4,052	2,617	7,684	22,941	1,740

（２）ふれあい事業

○　夏まつりについて

【参加者数】

（人）

	肢　体	視　覚	聴　覚	知　的	精　神	すずらん会	ボランティア	その他	合　計
23年度	26	24	27	77	10	12	104	343	623
24年度	46	30	21	35	30	14	118	382	676
25年度	49	23	24	62	26	30	141	309	664

○　文化祭作品展について

【参加者】

（人）

	障がい者	その他	合　計
23年度	288	166	454
24年度	289	190	479
25年度	220	131	351

【出品数内訳】　　（出品者数／出品数）

	身体	知的	精神	団体	合計
23年度	44	12	4	9	69
	151	29	5	275	460
24年度	39	8	5	10	62
	90	40	13	183	326
25年度	32	32	4	13	81
	118	80	8	246	452

（3）学習講座事業

【主催講座】

講座名	開催日	開催時間	在籍者数	定員	開催回数	登録率	1回あたりの平均(人) 25年度	24年度	23年度
絵手紙	偶数月２・奇数月１	13～15時	21	15	18	140%	8.1	7.5	7.7
音楽	第３木曜日	13～15時	19	20	12	95%	11.0	10.1	7.8
絵画	月２回月曜日	13～15時	10	15	24	67%	8.1	7.1	8.6
紙竹細工	偶数月１回	13～15時	11	10	7	110%	5.7	6.1	7.6
さをり	第２・４水曜日	13～15時	6	6	23	100%	5.5	5.0	4.0
３Ｂ体操	第２．４水曜日	13～15時	16	20	23	80%	10.2	9.6	12.7
七宝焼	第１．３月曜日	13～15時	7	20	24	35%	4.1	4.7	4.5
陶芸	第１水曜日	10～12時	9	8	12	113%	6.4	8.3	4.6
パソコン	月２回木・金曜日	13～15時	30	24	72	125%	6.6	6.6	6.1
ペン習字	第２木曜日	13～15時	8	15	12	53%	6.4	7.3	9.3
料理	第２日曜日	10～12時	23	15	11	153%	10.1	11.7	10.5
料理（基礎）	第４日曜日	10～12時	18	15	12	120%	5.5	6.7	9.1
組み紐	第１．３木曜日	13～15時	6	8	12	75%	3.6	3.9	4.5
茶道	第１．３土曜日	10～12時	4	12	10	33%	2.5	3.2	4.0

【ボランティア育成講座】

講座名	開催日	開催時間	在籍者数	定員	開催回数	登録率	1回あたりの平均(人) 25年度	24年度	23年度
視覚障がい者支援	第２．４土曜日	14～16時	3	15	21	20%	2.7	2.9	1.2
手話（初級）	毎週金曜日	10～12時	19	20	23	95%	10.8	10.3	7.1

【自主講座】

講座名	開催日	開催時間	在籍者数	定員	開催回数	登録率	1回あたりの平均(人) 25年度	24年度	23年度
編み物	第２．４ 月曜日	13～15時	8	10	24	80%	4.0	3.5	2.7
華道	第１．３ 土曜日	10～12時	2	10	22	20%	2.0	2.9	3.0
着物着付	第２．４ 月曜日	13～15時	5	20	21	25%	3.4	8.5	7.2
三味線	毎週　　土曜日	10～12時	3	10	30	30%	2.3	2.1	1.8
手話(中級)	毎週　　金曜日	10～12時	14	20	28	70%	9.5	12.5	11.8
手話ダンス	第２．４ 土曜日	13～16時	35	20	24	175%	21.3	14.3	15.9
手話(中級)	第２．４ 土曜日	10～12時	9	20	19	45%	5.4	4.4	3.9
スポーツダンス	第週　　金曜日	13～16時	33	20	45	165%	24.3	26.9	25.0
和裁	第1．2．4木曜日	10～12時	15	16	37	94%	11.5	9.0	8.3
組み紐	毎週　　木曜日	13～15時	5	8	23	63%	3.8	4.5	4.7
茶道	第１．３ 土曜日	10～12時	4	12	11	33%	1.7	3.1	3.2

（4）ふれあい総合相談事業

年度		肢体	視覚	聴覚	知的	内部	精神	発達	その他	合計
23	件　数	15	9	2	81	1	41		34	168
	利用者数	10	6	2	58	1	23		19	109
24	件　数	10	22	7	95	0	49		4	177
	利用者数	7	15	3	55	0	28		4	105
25	件　数	13	7	3	103	0	42	45	2	215
	利用者数	10	4	2	88	0	27	30	2	163

（5）福祉バス運行事業

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
23	団体数	8	6	15	11	11	11	19	15	12	5	16	14	143
	利用者数	162	139	294	241	248	228	420	305	275	112	376	307	3,107
24	団体数	5	5	12	11	11	13	18	14	10	5	18	10	132
	利用者数	120	128	276	227	179	299	401	300	252	104	408	254	2,948
25	団体数	9	10	14	12	9	9	13	18	8	8	14	12	136
	利用者数	198	203	281	293	199	168	288	390	192	191	336	268	3,007

（6）自主事業

ア　バスハイク

第1回	4月 5 日	久木野そば研修センター･高森峠千本桜	参加 23 名
第2回	5月 26 日	ナムコワンダーシティ南熊本（ボウリング）	参加 17 名
第3回	11 月 17 日	ラウンドワン熊本店(ボウリング)	参加 15 名
第4回	1月 11 日	阿蘇神社・かんぽの宿	参加 24 名
第5回	2月 17 日	コッコファーム・JA 植木まつり ミニミニバスハイク	参加 22 名
	10 月 23 日	「放浪の天才画家　山下清展」鑑賞	参加 14 名
	11 月 4 日	〃	参加 18 名

イ　バリアフリー映画鑑賞会　　8月 25 日　　ファインディング・ニモ上映　　参加 56 名

ウ　卓球バレー　　毎月第一水曜日
　　卓球バレー交流会　　1月 25 日

エ　女子力アップメイク講座　　9月 15 日　ベルエベル美容専門学校の方によるメイクレッスン
参加 14 名

オ わくわく料理教室

第1回	6月 30 日	包丁を使わない料理　　参加 10 名
第2回	7月 14 日	誰かのためにつくる～バレンタイン～　　参加 14 名

カ 希望荘カラオケ　　毎週金曜日

キ パソコン短期集中講座　　5～6月／8～9月／1～2月　　参加 各回６名

ク その他の自主事業

アロマDEリラックス　　5月25日(アロマを使った石けんづくり)
肥後ちょんかけごま　　6月22日(ちょんかけごま演目披露・体験)
健康マージャン交流会　　7 月 14 日(熊本市健康マージャン協会の方と交流麻雀)
希望荘夏の演芸 SHOW　　8 月 10 日(あっぱれ座の玉すだれなど演目披露)
希望荘秋の十五夜歌まつり　　9月19日(カラオケ大会 歌唱者８名)
オリジナル☆ハンカチ作成教室　10 月 17 日(環境総合センターの方とハンカチの染色)
秋の着物リメイクファッションショー　11月 9日(リメイク着物のファッションショー&試着)
クイズ DE 脳トレ　　12 月 14 日/ 3 月 1 日(様々なジャンルのクイズ大会)
希望荘童謡コンサート　　1月18日(気まぐれーズによるコンサート)

（7）地域活動支援センター事業

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
23	利用者数	409	358	421	475	494	448	481	423	404	356	414	447	**5,130**
	生活訓練	55	47	62	86	92	92	95	69	63	77	70	73	881
	社会適応訓練	17	17	21	23	24	25	30	48	37	37	37	47	363
	創作的訓練	78	69	99	72	104	75	116	91	93	64	96	77	1,034
	機能訓練	232	211	265	259	243	226	240	213	204	208	219	245	2,765
	相談支援	7	13	10	16	10	13	10	12	6	4	6	11	118
	入浴支援	325	289	335	386	392	337	365	319	315	197	310	331	3,901
24	利用者数	473	450	456	455	529	471	503	509	427	469	472	526	**5,740**
	生活訓練	77	74	82	71	91	81	83	89	77	79	83	73	960
	社会適応訓練	50	39	39	56	62	50	43	61	60	46	36	43	585
	創作的訓練	94	78	109	101	90	94	103	71	81	68	75	70	1,034
	機能訓練	245	267	281	273	324	290	309	290	264	259	280	299	3,381
	相談支援	6	9	2	8	2	6	8	4	9	18	3	5	80
	入浴支援	353	339	331	333	378	331	368	344	315	351	362	410	4,215
25	利用者数	508	449	544	552	540	493	510	468	424	457	455	558	**5,958**
	生活訓練	81	86	83	77	67	66	84	86	60	70	78	75	913
	社会適応訓練	53	64	63	64	52	49	42	59	46	40	38	55	625
	創作的訓練	77	69	83	98	68	76	81	73	73	66	80	73	917
	機能訓練	318	240	308	327	295	277	299	295	278	284	276	318	3,515
	相談支援	4	4	9	2	7	6	11	13	6	4	9	3	78
	入浴支援	370	350	427	421	416	372	376	330	302	331	320	426	4,441

【障がい別利用状況】

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
23	身体	男性	181	156	193	195	192	173	173	169	160	145	165	162	4,248
		女性	160	137	154	196	221	200	220	179	171	155	185	206	
24		男性	172	178	178	195	227	209	204	189	150	152	184	191	4,561
		女性	210	189	191	171	209	188	207	218	178	187	176	208	
25		男性	192	161	190	200	193	195	183	171	146	142	148	170	4,386
		女性	200	177	200	212	209	184	202	186	165	182	166	212	
23	精神	男性	5	4	11	10	13	12	12	11	10	5	3	7	270
		女性	11	13	10	21	14	13	17	14	19	11	11	13	
24		男性	9	6	6	7	14	7	20	19	11	26	17	18	313
		女性	17	12	14	11	10	6	7	7	7	14	19	29	
25		男性	14	11	14	21	14	15	21	15	14	18	23	29	499
		女性	17	25	36	27	31	24	24	14	18	17	21	36	
23	知的	男性	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3	8
		女性	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	
24		男性	3	3	3	4	1	2	3	7	4	7	7	7	56
		女性	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	
25		男性	5	3	9	7	3	5	5	0	0	0	1	9	88
		女性	1	0	8	6	1	2	0	2	6	8	6	1	
23	身体 精神	男性	7	6	10	6	9	9	10	8	8	6	6	9	118
		女性	3	3	1	3	1	2	2	2	2	0	2	3	
24		男性	9	11	10	6	8	8	8	6	9	6	0	0	184
		女性	7	5	8	8	6	7	5	13	13	14	12	5	
25		男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	103
		女性	9	8	8	10	9	6	7	6	9	12	7	12	
23	身体 知的	男性	26	24	27	28	29	26	30	30	22	22	28	30	466
		女性	13	12	12	14	14	9	14	10	11	11	12	12	
24		男性	31	32	30	37	38	30	33	28	31	39	33	42	601
		女性	13	10	13	13	14	12	14	20	21	22	22	23	
25		男性	47	41	44	38	51	37	43	46	40	46	49	56	812
		女性	22	23	26	23	26	24	22	22	20	20	22	24	
23	精神 知的	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	20
		女性	3	3	3	2	1	1	2	0	0	0	0	0	
24		男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
		女性	2	2	3	3	2	2	2	1	2	2	2	2	
25		男性	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	4	5	40
		女性	1	0	2	5	3	1	2	3	2	2	2	3	
25	身体 知的 精神	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
		女性	0	0	7	3	0	0	1	1	4	7	6	1	
23年度合計			409	358	421	475	494	448	481	423	404	356	414	447	5,130
24年度合計			473	450	456	455	529	471	503	509	427	469	472	526	5,740
25年度合計			508	449	544	552	540	493	510	468	424	457	455	558	5,958

熊本市発達障がい者支援センター　みなわ

1　２５年度の取り組み

（1） 相談支援・発達支援・就労支援に係る取り組み

① 当事者支援では、本人・家族の主訴を整理し課題を明確にして今後の方向付けに努めてきました。必要に応じて本人の特性整理を促しつつ、関係機関と連携して支援に当たってきました。

② 機関支援では、小・中学校からの要請に応じた支援が中心であり、事業所は２カ所（ライン工房、西熊本病院、）でしたが、当事者家族及び事業所からは好評でした。

（2） 普及啓発・研修

① 自閉症啓発デー

- 熊本県自閉症協会を含む親の会連絡会に参加されている 4 団体で、熊本県と熊本市の後援名義をとって、4 月 2 日から 6 日までの期間取り組みました。
- ４月１日（月）～6 日（土）発達障がい当事者作品展（ウェルパルエントランス）
- ４月 2 日（火）パレード出発式（ウェルパル大会議室）（約１００名）
  自閉症（発達障がい）について市民へ広く啓発する目的で開催しました。くまモンをはじめ熊本市のキャラクターも一堂に会して自閉症啓発デーパレード出発式を開催しました。熊本県及び熊本市からご挨拶をいただき、当事者による体験作文発表、大会宣言を行い、会場を下通に移してくまモンほかキャラクターも勢揃いして啓発ビラを市民に配布しました。みなわが親の会と連携したことで、今回から熊本県及び熊本市の担当職員、熊本県発達障がい者支援センターわっふるからも参加していただき、県と市と自閉症協会をはじめとした関係親の会が一体となった初めての啓発デーの取り組みができました。
- 4 月 6 日（土）当事者講演会（ウェルパル大会議室）（約１７０名）
  発達障がい当事者の思いに触れ、共に生きる社会のありようを考えるとして、九州ルーテル学院大学の河田先生をコーディネーターに迎えて当事者 2 人と保護者 1 人から思いを語っていただきパネルディスカッションを開催しました。当事者を主体とした初めての取り組みでしたが、会場いっぱいの参加者で『当事者の思いが聴けてよかった』との感想をたくさんいただくことができました。
- 4 月 7 日（日）『家庭教育支援条例』学習会（希望荘ホール）（約 50 名）
  熊本市手をつなぐ育成会が、熊本県が策定した『家庭教育支援条例』について、作成に携わられた県会議員や県事務局担当者を迎えて学習会を開催、みなわも参加して学び合いました。
- 熊本市及び熊本県公立図書館及び熊本市立小・中・高等学校図書館、市内・県内の大型書店に、『自閉症・発達障がい関係図書の特設コーナー設置』を依頼、多くの図書館及び書店の協力を得て 3 月から 4 月上旬までの間、図書コーナーが開設されました。

② 支援者養成講座

ア　高等教育期にかかる支援者対象講座（希望荘ホール）（50 人）
就労等につながる出口機関になりやすい高等教育期にかかる支援者の支援力養成を目的として開催しました。（高校、特別支援学校高等部、大学、専門学校、専修学校等）

イ　就労支援にかかる支援者対象講座（希望荘ホール）（51 名）
発達障がいやその特性を持っている当事者への就労支援にあたる支援者の支援力養成
（公共職業安定所、就労継続支援事業所、移行支援事業所、相談支援事業所、就業・生活支援センター、若者サポートステーション等）

③ パンフレットを関係会議や研修会等で配付し啓発に努めました。また、ホームページでもみなわ通信や研修会の周知等に努めました。また、幼児や小・中学生保護者からは、大人の当事者の過ごし方を知りたいとの要望もあったことから、成人当事者の方々が利用したり働いたりされている職場等を訪問した際の状況をまとめて県自閉症協会の会員誌（2 か月に 1 回発行）に連載で紹介してきました。併せてみなわ通信でも紹介しました。

④ みなわが計画的に主催した研修会として、

ア　「保護者講座」（親の会連絡会研修会 40 人）（7 月 21 日、大江公民館）
講師：緒方よしみ所長（福岡市発達障がい者支援センターゆうゆうセンター所長）

イ　「当事者を囲む会」（当事者及び家族、支援者研修会 30 人）（9 月 24 日、ウェルパル 301/302 会議室）
講師：横山小夜子さん（アスペルガーの自分取扱説明書副代表）

ウ　県・市連携講演会「市民講演会」（青年期の発達障がいについて　250 名）（12 月 8 日、市民会館大会議室）
講師：中邑賢龍氏（東京大学先端科学技術センター教授）

エ　「中小企業家同友会との研修会」（県内各企業・事業所を対象とした発達障がい者の理解啓発研修会　87 名）（2 月 12 日、ウェルパル大会議室）
講師：岩崎浩氏（株　グリーンロジスティクス社長）、原田文子氏（熊本就業・生活支援センター相談支援ワーカー）、田島浄嗣氏（熊本障害者職業センター所長）

⑤ 熊本市教育委員会と共催した事業

ア　特別支援教育セミナー第三分科会（熊本市内の保育所、幼稚園、小・中・高校・特別支援学校の職員、保護者等を対象として、学校・福祉・労働等関係機関の連携について　45 名）
講師：熊本大学愛 Work ジョブコーチ、職員、保護者
（会全体としては 150 人、全体講師は熊本大学准教授　菊池哲平先生）

⑥ 外部からの依頼研修～

期　日	依　頼　先	対　象　者	研 修 内 容	会　　場
4 月 4 日（木）	熊本市	新規採用職員	理解と支援	青年会館
4 月 9 日（火）	麻生田民児協	民生児童委員	理解を深める	あいこう 1 F
5 月 10 日（金）	健軍民児協	民生児童委員	理解と支援	庄口コミセン
6 月 4 日（火）	熊本工業高校	定時担当教職員	理解と支援	熊本工業高校
6 月 5 日（水）	南区ネット	保護者勉強会	就労支援等	江津湖発達医療
6 月 9 日（日）	南区保健子ども課	保護者勉強会	思春期の性	
6 月 14 日（金）	市青少年育成課	育成学童支援員	理解と支援	ウェルパル
6 月 24 日（月）	帯山西小学校	職員研修	特別支援教育	帯山西小学校
6 月 25 日（火）	日吉東民児協	民生児童委員	理解と支援	南部在宅支援セ
6 月 27 日（木）	グリーンコープ	龍田地区委員	理解と支援	清水げんき館
7 月 11 日（木）	県自閉症協会	幼児部会保護者	保護者茶話会	希望荘ホール
7 月 12 日（金）	障害保健福祉課	新規採用職員	S ホット事前指	ウェルパル
7 月 19 日（金）	東区保健子ども課	おひさまクラブ	発育相談	新南部公民館
7 月 20 日（土）	益城町人権同和	保育所幼稚園職	関わりと学び	益城町交流情報
8 月 1 日（木）	市特研東ブロック	支援学級担当者	みなわの役割	アイパル
8 月 30 日（金）	熊本学園大学	障がい学生ボラ	発達障がい	熊本学園大学
9 月 4 日（水）	本荘小学校	職員研修	保護者への伝え方	本荘小学校
9 月 18 日（水）	白川小家庭教育	白川小保護者	理解と支援	希望荘会議室
9 月 19 日（木）	市保育園連盟	園長	子どもの人権	崇城大大会議室
9 月 27 日（金）	家庭裁判所	裁判所職員	障がい者理解	家裁第 1 会議室
10 月 15 日（火）	西区保健子ども課	城西校区子育て	理解と支援	聖母の丘集会所
10 月 30 日（水）	市社会福祉協議会	民生児童委員	理解と支援	市社協会議室
11 月 6 日（水）	西区保健子ども課	城西校区子育て	発達障がい座談会	聖母の丘集会所
11 月 7 日（木）	北区保健子ども課	療育サロン	段階毎の支援機関	北区かがやき館
12 月 15 日（木）	グリーンコープ	福祉活動委員会	DVD 視聴と質疑	希望荘ホール
12 月 11 日（月）	児発セひばり園	保護者学習会	中学との関係	ひばり園
2 月 1 日（土）	シェアハート	本人及び保護者	良い支援とは	希望荘ホール
2 月 14 日（金）	高進研	高校進路指導主事	発達障がいとは	熊本学園大学
2 月 18 日（火）	療育サロン	保護者勉強会	ASD の基礎講座	ウェルパル 101
2 月 28 日（金）	熊本学園大学	障がい学生ボラ	発達障害学生支援	熊本学園大学
2 月 28 日（金）	県手をつなぐ育成会	保護者、支援者	地域で働くために	県総合福祉セ
3 月 17 日（月）	療育サロン	保護者勉強会	ASD の基礎講座	希望荘会議室
10 月 31 日（木）～3 月 20 日（木）	熊本元気っ子クラブ	発達障がい中・高校生	ストレスマネジメントワークショップ 6 回シリーズ	フリーダム仕事センター

以上を開催。課題は継続した支援者養成研修が課題です。

（3） 連絡協議会
年間３回実施し、運営の在り方に関する指導助言を受けることができました。

（4） 法人内の他事業所との関係
法人内に設けられている『障がい者雇用支援委員会』と連携して法人内での取り組みも関心が高まってきています。

（5）25 年度の成果目標
前期２件及び後期３件の就労実現を目標としてきました。しかし、面談を行うケースの一部には、就労継続そのものが体調不良をきたしやすく離職支援が必要なケースも出てきたことから、成果目標として就労件数をあげることの適正さを振り返ることとしました。さらに、みなわは直接的な就職斡旋機関ではないことにもよります。（通常は本人理解の進捗状況を見ながら就業・生活支援センターや障碍者職業センター等につなぎ、さらにはそれらの支援機関による支援を受ける中でハローワークにつながって就労という流れになったケースもあり、そのいずれにもみなわは関わって参りました。）

（6）利用状況
※25 年度は厚労省の指導で８月から報告様式が変更されたため、項目ごとに 24 年度と 25 年度の年度間の比較掲載が困難ですので、前半に 24 年度実績を、後半に 25 年度実績を、7 月までと 8 月以降に分割して掲載します。

[24 年度実績]

Ⅰ－①　相談支援の相談件数

来　所	訪　問	電　話	その他 （メール・ＦＡＸ等）	合　計
643	28	779	52	1502

		熊本市内	熊本市外	合　計
相談支援	実支援人員数	516	33	549
	延べ支援件数	1466	36	**1502**

※1

Ⅰ－②　相談内容（相談支援）

	情報 提供	家庭 生活	健康・ 医療	教育	療育 支援	進路 相談	自立 支援	就労 （本人以外）	その他	合　計
作成件数	236	677	84	270	5	71	5	112	42	1,502
割　合	15.7%	45.1%	5.6%	18.0%	0.3%	4.7%	0.3%	7.5%	2.8%	100%

Ⅰ－③　主たる相談者

	本　人	家　族	学校 関係	施　設	企　業	行　政	医療 機関	その他	合　計
件　数	538	736	64	8	16	89	21	30	1,502

Ⅱ　就労支援の相談件数

		熊本市内	熊本市外	合　計
就労支援	実支援人員数	65	0	65
	延べ支援件数	201	0	**201**

※2

Ⅲ　普及啓発及び研修

	センター主催	センター共催	外部依頼 （講師派遣）	合　計
実施回数	23	3	23	49
延べ参加人数	1,069	125	928	2,122

Ⅳ　関係施設・関係機関等との連携

	連絡協議会	調整会議	機関コンサル (ｽﾀｯﾌ育成)	個別支援 調整会議
実施回数	26	23	22	94
参加団体数	392	73		

※1 と※2 の合計　1703 件が 24 年度の延相談件数である

[25 年度実績]平成 25 年 4 月から平成 25 年 7 月までの報告

Ⅰ－①　相談支援の相談件数

来　所	訪　問	電　話	その他 （メール・ＦＡＸ等）	合　計
318	17	379	45	759

		熊本市内	熊本市外	合　計
相談支援	実支援人員数	336	26	362
	延べ支援件数	729	30	**(A)759**

Ⅰ－②　相談内容（相談支援）

	情報 提供	家庭 生活	健康・ 医療	教育	療育 支援	進路 相談	自立 支援	就労 （本人以外）	その他	合　計
作成件数	101	308	66	153	8	31	2	73	17	**759**
割　合	13.3%	40.6%	8.7%	20.2%	1.1%	4.1%	0.3%	9.6%	2.2%	100%

Ⅰ－③　主たる相談者

	本　人	家　族	学校 関係	施　設	企　業	行　政	医療 機関	その他	合　計
件　数	253	386	29	12	7	53	7	12	759

Ⅱ　就労支援の相談件数

		熊本市内	熊本市外	合　計
就労支援	実支援人員数	45	0	45
	延べ支援件数	68	0	**(B)68**

（注）25 年度の 7 月までの相談延件数は(A)+(B)の 827 件である

Ⅲ　普及啓発及び研修

	センター主催	センター共催	外部依頼 （講師派遣）	合　計
実施回数	1	0	13	14
延べ参加人数	178	0	704	882

Ⅳ　関係施設・関係機関等との連携

	連絡協議会	調整会議	機関コンサル (ｽﾀｯﾌ育成)	個別支援 調整会議
実施回数	12	15	9	45
参加団体数	418	63		

[25 年度実績]厚労省報告様式変更後の 25 年 8 月から 26 年 3 月までの報告

Ⅰ－①　相談支援・発達支援と相談支援・就労支援の実支援数と延支援数

		相談支援・発達支援	相談支援・就労支援	合　計
相談支援	実支援人員数	487	118	605
	延べ支援件数	1060	273	**(C)1333**

Ⅰ－②　相談支援・発達支援の相談方法の内訳

来　所	訪　問	電　話	その他（メール・ＦＡＸ等）	合　計
552	96	362	50	1060

Ⅰ－③　相談支援・就労支援の相談方法の内訳

来　所	訪　問	電　話	その他（メール・ＦＡＸ等）	合　計
121	59	84	9	273

（注）25 年度 8 月以降の相談延件数は 1333 件である
25 年度年間では 827 件＋1333 件の 2160 件である

Ⅱ　事業内容

1　相談支援・発達支援

		実　　績
（1）実支援人数・延支援件数	実支援人数	487 人
	延支援件数	1060 件
（4）相談支援・発達支援に伴う情報共有（調整会議）		60 件
（5）相談支援・発達支援（機関コンサルテーション）		11 件

2　相談支援・就労支援

		実　　績
（1）実支援人数・延支援件数	実支援人数	118 人
	延支援件数	273 件
（2）相談支援・発達支援に伴う情報共有（調整会議）		68 件
（3）相談支援・発達支援（機関コンサルテーション）		3 回
（4）職場拡大のための企業等への啓発活動		0 回

3　地域住民等に対する普及啓発

（1）パンフレット等の作成	7 件
（2）地域住民向け講演会の開催等	0 回

4　関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修

（1）センター主催研修又は共催で企画した研修	実施回数	11 回
	延参加人数	685 人
（2）外部から講師依頼を受けた研修（講師派遣）	実施回数	25 回
	延参加人数	497 人
（3）（（1）及び（2）の再掲）教育関係者との合同研修会	実施回数	6 回
	延参加人数	133 人

5 関係施設・関係機関等の連携

（1）連絡協議会の開催状況	実施回数	5 回
（2）障害者総合福祉法第 89 条協議会等への参加状況	参加回数	18 回
（3）他の協議会への参加状況	参加回数	13 回

熊本市はなぞの学苑

Ⅰ　施設運営の状況

１　２５年度の取り組みについて

（１）　利用者増に取り組みました

・区役所や相談支援事業所等との連携を深めるため、機会を見つけては訪問し、在宅障がい者の現状と意向を把握してきました。

・特別支援学校には、施設見学会や施設体験の呼びかけを行いました。高等部の生徒だけではなく、中学部保護者の見学や中学部生徒の体験もありました。

・新規に支援学校卒業生３名の利用登録がありました。

（２）　きらりさがしを行いました

・作業活動における適正能力の把握はもちろんのこと、それ以外の活動での能力発見に努めました。その中で、男性利用者の動物の絵を商品化することにし、缶バッチとＴシャツを製作し販売しました。

・音楽の好きな方で音楽発表にも取り組みました。ビブレス広場や交流会館ホール・花園小学校で、歌ったり踊ったり演奏したりしました。

（３）　生活介護や就労継続支援Ｂ型で作られた製品を展示販売会や通信販売する計画でしたが、学苑祭や機能病院での常設販売だけになってしまいました。

（４）　地域の敬老会、夏の盆踊り、冬のどんどやなどを通して、地域との交流を深めることができました。また、花園小学校３年生との交流会や夏の施設開放においても交流を深め、障がい者の理解・啓発を図ることができました。

西区役所との連携事業である地域の環境美化活動に取り組み、竹プランター・竹ポットを製作して納品し、地域の街角や公共施設等に設置することができました。

（５）　生活介護でのグループ別の苑外活動では、利用者の希望等を十分に汲み取り、楽しい有意義な活動を実施することができました。さらに、土曜日の合同活動（ＴＳＵＢＡＳＡ）でも、担当者で事前検討を行い楽しい活動を実施することができました。

１階に活動場所を集約することはできませんでしたが、木工作業場の改修工事を行い、車いす利用者が増える次年度はさらに安全な活動ができるように留意していきたいと考えています。

しかし、ボランティアの参加が思うように伸びず、次年度の課題として継続検討していきます。

（６）　就労継続Ｂ型では、年間を通して農作業と受注作業にと取り組むことができました。利用者も見通しを持った活動に取り組むことができ、作業に対する意識や技術等にも向上が見られました。

利用者の様子を見て、農作業から受注作業に移ってもらった方もいます。そのことによって、さらに落ち着いて活動に取り組むことができました。

新たな作業種の検討を行いましたが、現状では、今の活動で精いっぱいのところがあり、次年度の継続検討課題と考えます。

古紙回収については、事業団本部をはじめ各方面の協力を得ることができ、成果を出すことができました。利用者も楽しみにしている活動ですので、さらに充実するように考えていきます。

２　２５年度の成果について

（１）目標の６０名には達しませんでしたが、５９名の登録を得ました。

（２）ボランティアの方にも多く来ていただきましたが、目標の２０名には達しませんでした。

（３）給食サービス委員会を定期的に開き、食事の内容等についても十分検討して提供できましたので、給食満足度９６％を得ることができました。

Ⅱ　入苑者状況

1.　入退苑の状況(25 年度)

月 / 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍者数	58	58	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	686
入　　苑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
退　　苑	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

2．　年齢別 (H.26 年 3 月 31 日現在)

年齢別 / 性別	20歳未満	20～24	25～29	30～39	40歳以上	計
男　　性	3	6	1	8	12	30
女　　性	3	3	4	9	10	29
合　　計	6	9	5	17	22	59

3．障害程度区分 (H.26 年 3 月 31 日現在)

障害程度区分	未判定	1	2	3	4	5	6	計
男　　性	1	1	3	14	7	3	1	30
女　　性	1	1	6	12	4	2	3	29
合　　計	2	2	9	26	11	5	4	59

4．能力別 (H.26 年 3 月 31 日現在)

程度 / 性別	最 重 度	重　　度	中　　度	軽　　度	非該当	計
男　　性	10	10	9	0	1	30
女　　性	8	12	9	0	0	29
合　　計	18	22	18	0	1	59
比率(%)	30.5%	37.3%	30.5%	0%	1.7%	100%

5．　併せ持つ障害の状況　(H.26 年 3 月 31 日現在)

障害 / 性別	脳性麻痺	ダウン症候群	けいれん性疾患	視聴覚障害	自閉的傾向	統合失調症気分障害	身障手帳	服薬中
男　　性	1	5	8	2	11	4	3	19
女　　性	4	6	8	2	6	2	6	19
合　　計	5	11	16	4	17	6	9	38

６．年間の事業内容と実習生受け入れ等

月	事　　業　　内　　容	実習生受入等
4 月	始業式　入苑式　内科検診　保護者会 避難訓練（火災）　苑内研修　地域清掃　煎茶教室 障がい者スポーツ大会熊本県大会（水泳）	見学　　８名 実習生　　０名 ボランティア　１１名
5 月	開苑記念日　家族合同ハイキング　梅ちぎり 保護者会総会 健康活動　個人面談　地域清掃　S0熊本大会販売 「はなぞのだより」発行　避難訓練　煎茶教室 障がい者スポーツ大会熊本県大会（ボウリング）	見学　　９名 実習生　　３名 ボランティア　　５名
6 月	保護者会　グループ別苑外活動　健康活動　音楽活動　　個人面談　避難訓練　地域清掃　煎茶教室 熊本市育成会大会音楽発表会	見学　　１５名 実習生　　２名 大津支援学校　1名 熊本支援学校　1名 ボランティア　　２名
7 月	健康活動　音楽活動　煎茶教室　グループ別苑外活動 避難訓練　施設見学会（支援学校生徒、家族対象） 施設体験受入れ　盆踊り大会　個別面談報告会	見学　　３７名 実習・体験生　　７名 熊本支援学校　2名 ボランティア　　４名
8 月	保護者会　健康活動　音楽活動　煎茶教室　避難訓練 施設体験受け入れ　グループ別苑外活動　害虫駆除 保護者会主催による歯科検診 つばき学園夏祭りに伴う駐車場開放	見学　　３５名 実習生　　５５名 学園大　　４名 済々黌　　34名 九看大　　3名 施設体験　　２名 熊大附属　　1名 松橋西支援学校　1名 ボランティア　　７名
9 月	社会体験活動（国立阿蘇青少年交流の家）　健康活動 音楽活動　煎茶教室　避難訓練　地域清掃 内科検診　グループ別苑外活動	見学　　５１名 実習生　　１２名 社会福祉専門学校 1名 九看大　　3名 熊本支援学校　1名 学園大　　1名 西山中ﾅｲｽﾄﾗｲ　　５名 ボランティア　　７名
10月	保護者会　音楽活動　煎茶教室　地域清掃　避難訓練 はなぞの学苑祭　グループ別苑外活動 花園小学校との交流会　熊本市障がい者大運動会 展示即売会	見学　　８５名 実習生　　６名 熊本支援学校　1名 ボランティア　９５名

11月	音楽活動　煎茶教室　地域清掃　避難訓練　美術館見学 花園小学習発表会参加　内科検診　施設見学会 柿原公民館文化祭　花園コミセン祭 花園小学校３年生交流会　希望荘文化祭作品展示	見学　　４７名 実習生　　２名 菊池支援学校 1名 熊本支援学校1名 ボランティア　　4名
12月	保護者会　音楽活動　煎茶教室　避難訓練　地域清掃 害虫駆除　クリスマスコンサート　調理実習 虐待防止研修会	見学　　１８名 実習生　　３名 ボランティア　１５名
1 月	調理実習　音楽活動　煎茶教室　避難訓練　地域清掃 レントゲン検診　どんどや　　土曜開苑　苑内研修 ハートウイークステージ発表会参加	見学　　５名 実習生　　０名 ボランティア　１１名
2 月	音楽活動　煎茶教室　避難訓練　地域清掃　保護者会 個人面談　調理実習　花園公民館作品展示会 はなぞのだより発行	見学　　５名 実習生　　３名 ボランティア　　6名
3 月	総合消防訓練　音楽活動　煎茶教室　避難訓練　地域清掃 ふれあいのつどい　保護者給食試食会 指定管理者モニタリング　苑内研修　面談報告会	見学　　７名 実習生　　３名 ボランティア　　２名

７．年間の研修等について

月	場　　所	研　　修　　名　　（苑外）	研 修 名（苑内）
4 月			新利用者の状態について （各グループ）
5 月	熊本市	県栄養士研修会	各担当別討議
6 月	熊本市 熊本市 熊本市	てんかん講座 人権研修会	内科検診報告 個人面談 各担当別討議
7 月			個人面談 個人面談報告会 盆踊り実技講習 各担当別討議
8 月	熊本市 熊本市	癌対策研修会 相談援助従事者研修会	各担当別討議 １期まとめ（各委員会、部会）
9 月	熊本市 熊本市	相談支援従事者研修会 ヘルパー講習会	各担当別討議
10 月	佐賀市 熊本市	九州ブロック事業団職員研修会 相談支援従事者研修会	各担当別討議
11 月	熊本市 熊本市 熊本市	リスクマネージメント研修会 感染症研修会 虐待防止研修会	感染症対策および衛生面について 各担当別討議

11 月	熊本市 熊本市 熊本市	障がい者就労セミナー（農業分野） 成年後見制度研修 レクレーション研修会	
12 月	熊本市 熊本市	熊本県サービス管理責任者研修 発達障がい研修会	虐待防止法について ２期まとめ（各委員会・部会）
１ 月	熊本市 熊本市 熊本市 熊本市	熊本県サービス管理責任者研修 安全研修 商品魅了化セミナー メンタルヘルス研修会	各担当別討議　　支援会議
２ 月	熊本市 熊本市 熊本市 熊本市 熊本市	熊本県サービス管理責任者研修 商品開発セミナー 発達障碍者理解啓発研修会 熊大附属特別支援学校公開発表会 就労支援フォーラム	各担当別討議 個人面談 研修報告 社会貢献活動受入れ
３ 月	熊本市 熊本市	事業者説明会 法令研修会	年度まとめ（各委員会・部会） 各担当別討議 個人面談報告会

熊本市平成学園

Ⅰ　施設運営の状況

（1）２５年度の取り組み

①（1）「きらりプロジェクト」の取り組みを進めました。
・外部講師の指導のもと、創作活動においては利用者の個性が十分に発揮された作品の数々を生み出すことができ、鶴屋での展覧会や学園祭での記念タオルの作製など初の取り組みを始め、他様々な社会との関わりを深める活動に取り組むことができました。
・音楽活動グループ「へいせいレインボーズ」は今年も園外のたくさんのステージで発表を行うことができ、利用者の大きな喜びとなりました。
（2）「ヨガ教室」「ウォーキング」など、学園全体で、また、グループ毎に様々な健康活動に取り組みました。「動作法」についての取り組みは２６年度の計画にて、あらためて取り組むこととしました。

② 職員の質の向上を図りました。（介護福祉士３名合格、中途採用者へのマンツーマンによる初任者研修、法人内理学療法士による支援技術の研修、園外各研修の受講等）

③ 「臨時保護者会」や理事長を交えた「意見交換会」など通常の保護者会以外にもコミュニケーションの場を設け、利用者・保護者との密な関係作りに努めました。

④ 施設長による他法人の相談支援事業所の定期的な訪問やサービス管理責任者による相談員との日常的な連携を通じて、利用者の生活の質の向上に努めました。また、グループホームすまいるのバックアップ施設として、すまいるの運営を支えてきました。

⑤ 支援学校への定期的な訪問や進路指導教諭との情報交換を行いました。また、今年度は特に中学部の保護者を中心に「施設見学会」等を実施し、施設情報を発信することに努めました。

⑥ 「へいせい交流サロン」の開催をはじめ、地元「体育大会」などへの積極的な参加を通じ、地域との交流をさらに深めることができました。

⑦ 支援学校における情報交換やグループホームすまいるでの家族会議、また、意見交換会などの実施の中で、様々なご意見をいただきました。第４次中期経営計画への意見の反映や２６年度の施設運営に生かしていくよう努めます。

（2）２５年度の成果

① 新規利用者を２名（在宅１名、支援学校卒業生１名）迎えることができましたが、４名の退園者があり３月末日現在６２名の利用登録状況となっています。

② 従来から力を貸していただいているボランティアに加え、地域の方に交流サロンへの新たな関わりを持っていただく機会を設け、より親しみのある施設作りに努めました。

③ 外注化している給食については、各家庭との連携のもと配慮の必要な利用者への食事の工夫や利用者の特性を考慮した提供場所を工夫し、満足度の向上に努めました。

Ⅱ　入園者状況

1.　入退園の状況（２５年度）　　平成２６年３月３１日現在

月 / 区分	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2	3	計
初日在籍者数	６４	６４	６４	６５	６４	６３	６３	６２	６２	６２	６２	６１	６２
入園	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
退園	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	4

2.　年齢別　　平成２６年３月３１日現在

年齢別／性別	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65 以上	計
男　　性	1	6	5	１５	5	2	0	３４
女　　性	2	１０	3	8	3	1	1	２８
合　　計	3	１６	8	２３	8	3	1	６２

3.　能力別

程度／性別	最 重 度	重　　度	中　　度	軽　　度	計
男　　性	２０	１２	1	1	３４
女　　性	２３	2	3	0	２８
合　　計	４３	１４	4	0	６２
比率(%)	６９％	２３％	６％	２％	１００％

4.　障害程度区分

障害程度区分	未判定	1	2	3	4	5	6	計
男　　性	0	0	5	8	8	9	4	３４
女　　性	0	0	2	3	7	１０	6	２８
合　　計	0	0	7	１１	１５	１９	１０	６２

5.　併せ持つ障害の状況

障害／性別	Ｃ　Ｐ	ダウン症候群	てんかん性疾患	視聴覚障害	自閉的傾向	心因性疾患	その他	服薬中
男　　性	4	5	7	3	１５	2	2	３６
女　　性	4	2	8	1	5	1	4	２６
合　　計	8	7	１５	4	２０	3	6	６２

Ⅲ　年間行事

月	行　　事　　名	定例行事	その他（来園者等）
4	着任式、郵便局展示 ４月保護者会、 ヨガ教室、調理実習、園内 創作活動	誕生会、体重測定 地域清掃、バス洗車	菊池支援学校より 施設見学
5	個別面談、家庭訪問実施、全国水泳競技大会、県美術館見学、保護者会懇談会、 障害者スポーツ大会 「時計台」（広報誌）近隣地区配布 音楽療法、ヨガ 遠足（カントリーパーク）	誕生会、体重測定， 避難訓練 地域清掃、バス洗車	熊本支援学校より 施設見学 体験利用１名
6	個別面談、家庭訪問 ６月保護者会 園外活動（動物園）（コッコファーム） 調理実習 音楽療法 しょうぶの里まつりに参加	誕生会、体重測定 地域清掃、バス洗車	熊本支援学校より 体験２名 熊大付属特別支援学校より現場実習 熊本支援学校より 施設見学

	熊本市手をつなぐ育成会定期大会音楽交流会参加 （平成レインボーズ）		菊池支援学校より 現場実習２名 松橋支援学校より 実習２名
7	家庭訪問、 小島校区４町内夏祭りに参加 希望荘夏祭り参加 ヨガ教室 調理実習	誕生会、体重測定 避難訓練　地域清掃、バス洗車	済生会相談事業所より施設見学 三和中学ナイストライ受入４名 大津支援学校より 施設見学３名 熊本支援学校より 施設見学５名 熊本支援学校より アフターフォロー ２名 熊本支援学校より 施設見学３名
8	平成夏祭り ８月保護者会 創作活動 へいせい交流サロン スペシャルデー（カラオケ） ヨガ教室 園外活動（映画鑑賞）	誕生会、体重測定 地域清掃、バス洗車	大津支援学校より アフターフォロー 一日ボランティア 受入１名 松橋支援学校より 体験１名 黒石原支援学校より施設見学 白坪小学校教諭初任者研修１名 熊本支援学校より 体験２名
9	時計台(広報誌）近隣地区配布 親善スポーツ大会 創作活動、調理実習、ヨガ教室 園外活動（宇土マリーナ） 調理実習	誕生会、体重測定 地域清掃、バス洗車	松橋支援学校へサービス相談会 松橋支援学校より 現場実習１名
10	10 月保護者会 親子旅行（阿蘇） 親子旅行（天草） 小島校区町民体育祭参加 内科健診 熊本市大運動会 調理実習 スペシャルデー（ボウリング） ヨガ	誕生会、体重測定 地域清掃、バス洗車	松橋学校より実習 １名 黒石原支援学校より実習１名 熊本支援学校より 施設見学 菊陽町生活支援センターより来園 熊本支援学校より 実習１名
11	ふれあい祭 ゆうし祭 小島小学校交流会参加 園外活動　（カドリードミニオン）（熊本総合車両所見学）（ショッピング） へいせい交流サロン 調理実習 園内バーベキュー　　創作	誕生会，地域清掃，体重測定，バス洗車	相談支援事業所あおぞら来園
12	12 月保護者会 グループ懇談会	誕生会，地域清掃，体重測定	

	レストランマナー学習 クリスマス会 ハートウィーク参加 園外活動〈城彩苑〉（イオンモール） 小島郵便局展示会 音楽療法　調理実習　ヨガ へいせい交流サロン	バス洗車	
1	園外活動(加藤神社)（健軍神社）（ボーリング）（カラオケ バスドライブ（新港） 県立美術館分館（県美展） 買い物学習 レインボーズ長寿の里へ ヨガ教室、音楽療法、 時計台（広報誌）近隣地区配布	誕生会、体重測定 地域清掃、バス洗車	留学生施設見学５名
2	２月保護者会 鶴屋デパート展示会 園内スポーツレクレーション 調理実習、ヨガ	誕生会、体重測定 地域清掃、バス洗車 避難訓練	保護観察官等５名
3	園外活動（フードパル） オハイエ熊本参加 新入園者利用開始（２名） 宮田農園体験学習 買い物学習 調理実習、音楽療法、	誕生会、体重測定 バス洗車、地域清掃 避難訓練	九看大より教諭来園

Ⅳ　短期宿泊事業

事業／年度	自立生活訓練事業		短　期　保　護		親子短期寮育		昼間一時保護		合　　計	
	人　数	延日数	人　数	延日数	人　数	延日数	人　数	延日数	人　数	延日数
Ｈ　２	48	132	10	32	18	42	4	4	80	210
Ｈ　３	56	168	43	170			1	1	100	339
Ｈ　４	79	232	29	88	9	21	11	11	128	352
Ｈ　５	37	110	36	142			21	21	94	273
Ｈ　６	43	129	21	67			11	11	75	207
Ｈ　７	33	99	23	78			8	8	64	185
Ｈ　８	30	90	13	52			9	9	52	151
Ｈ　９	28	81	36	183			49	49	113	313
Ｈ１０	23	68	39	135			5	5	67	208
Ｈ１１	25	57	29	140			5	5	59	202
Ｈ１２	15	43	39	199			8	8	62	250

Ｈ１３	3	8	28	91			3	3	34	102
Ｈ１４	5	12	34	126			2	2	41	140
Ｈ１５	57	151	35	99			7	7	99	257
Ｈ１６	79	210	18	59			2	3	99	272
Ｈ１７	80	189	9	29			3	8	92	226
Ｈ１８	26	66	10	42			1	1	37	109
Ｈ１９	25	69	4	12					29	81
Ｈ２０	31	92	4	9					35	101
Ｈ２１	19	57	1	2			1	1	21	60
Ｈ２２	15	44							15	44
Ｈ２３	20	59	1	2			1	1	22	62
Ｈ２４	16	48							16	48
Ｈ２５	11	33							11	33

職員研修

月	場　　所	研　　修　　名　　（園外）	研 修 名（園内）
４月		管理職研修（１名）	
５月		新任係長研修（１名）	個別計画検討会
６月		新任職員研修（2 名）てんかん学講座（2 名） 福祉レク研修（1 名） 自閉症及び発達障害の行動と支援（2 名）	
７月	熊本市	モチベーションＵＰ研修会（1 名） 社会福祉法人労務研修(1 名)	支援向上会議 研修報告会
８月	熊本市	施設外研修（１名）　指導的職員研修（1 名） 心理リハビリ事前研修（1 名） 心理リハビリ研修会（1 名）	はなぞの・平成合同研修
９月	熊本市	指導的職員研修（1 名）運営管理職研修（1 名） スーパーバイザー研修（1 名） H24 相談支援従事者初任研修（演習）（1 名）	
１０月	熊本市	全国知的障害福祉関係職員研究大会（2 名） H24 相談支援従事者初任研修（演習）（1 名） 熊本支援学校公開授業研究会（1 名）	第１期支援計画報告会

１１月		福祉施設感染対策研修会（１名）	AED 研修
１２月	熊本市	成年後見制度促進研修（１名）H24 相談支援従事者初任研修（講話）（1 名）施設職員・家族合同研修（1 名）スーパーバイザー研修（1 名）	支援向上会議 研修報告会
１月	熊本市	H24 障害施設支援連絡協議会（1 名） 県知的施設長連絡会（1 名）Ｈ２４福祉法人会計実務研修（2 名）サービス管理者講習（１名）	第２期支援計画報告会
２月	熊本市	サービス管理者研修会参加（1 名） 就労支援研修会（１名）	支援向上会議
３月	熊本市		支援向上会議 研修報告会

ケアホーム　すまいる

１　２５年度の取り組み

①　ケアホームの運営にあたっては､研修などを通して支援者の人権意識の向上を図りました｡また､利用者の自己選択・自己決定、プライバシーを尊重した支援に努めました。

②　利用者が安心して生活できるように、２４時間とぎれのない支援を提供しました。

③　家族の理解･スタッフの支援が重なりあい､連携を深めることで､食事や入浴など共同生活の様々な場面で利用者の力が最大限発揮できるように支援しました。

④　地域の方々の理解と啓発をより一層進めるために､ケアホームでの生活の様子を伝えながら地域の世話役と密接に連携をとることに努めました。

⑤　共同生活の安心･安全を確保するために、防災計画を綿密に立て、防災マニュアルを作成し避難訓練を実施しました。

２　２５年度の成果について

①　スタッフ一同で虐待防止の研修会を実施しました。

②　利用者一人ひとりの支援について共通理解を図り、支援の一貫性に努めました。
一日の平均利用者数・・・２．７人
利用者の一人が手術のため入院したり、療養のため自宅に帰省したりして利用が少なかったため。

③　家庭の協力を得て、食事のカロリー量の配慮を行いました。糖尿病の利用者や肥満予防において効果的な取組となりました。

その他　利用者４人
障害支援区分が支援基準の見直しにより上がりました。
支援区分２・・・１人（２６年度中に見直し予定）
支援区分４・・・１人（２６年度中に見直し予定）
支援区分６・・・２人（見直し済み）

相談支援センターきらり

１　２５年度の取り組み

①　利用者が、地域で自分らしい社会生活や日常生活を送ることができるよう、日中活動に関わるサービスや在宅福祉サービスの利用計画作成を行い、社会の中で持てる力を最大限に発揮できるように環境を整える支援を行いました。

②　支援においては常に利用者に寄り添って、本人の意向を大切にして、利用者の望む生活に向けた支援を行いました。

③　サービス利用計画の作成においては、利用者の個別の教育支援計画など個別の支援ファイルとの継続性を重視し、一貫した途切れることない支援に努めました。

④　行政の担当者や福祉、医療、教育、労働などの関係者との顔の見える連携を大切にし、ネットワークの広まりに努めました。

⑤　在宅の利用者に対しては居宅介護事業所に併設されたメリットを生かし、障がい者を家族に持つ高齢者の家族支援にも包括的でワンストップの支援を行うことができました。

２　２５年度の成果目標

①　毎月平均 23 名の計画相談の新規者を獲得しました。

②　相談員 1 名当たり年間相談許容件数は 93 名を達成しました。

③　事業団訪問介護を利用する居宅介護サービスの受給者に対して、サービス利用計画を 63 名作成しました。

３　２５年度の実績

基本相談件数（延べ）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
相談件数	３６	６０	６２	７２	８８	８９	１０６	１１１	１００	９６	９２	１２６	１０３８
前年	－	－	－	－	－	－	１０	２８	３０	３０	３７	５７	１９２

計画相談件数（延べ）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
プランニング	１１	４	１９	１６	２４	１０	２１	１７	１９	１１	１８	１４	１８４
前年	－	－	－	－	－	－	４	５	０	２	５	２２	３８

モニタリング	２０	２８	２６	１７	２２	２３	１４	１８	１７	２１	１９	１７	２４２
前年	－	－	－	－	－	－	０	０	４	５	７	６	２２